

特116  
549



始





549

法大臣尾崎行雄閣下題字  
法學博士花井卓藏先生序文

加除  
自在  
法規類纂  
完

東京 啓文社法律顧問部藏版





纂類規法除在加自

覽一別類

第七類 商 事	第六類 裁 判、 訴 願	第五類 衛 生、 警 察	第四類 刑 事	第三類 民 事	第二類 地 方 制 度	第一類 帝 國 憲 法、 議 會
第十四類 社 寺	第十三類 賞 恤	第十二類 土 地、 林 野	第十一類 產 業	第十類 學 事 及 試 驗	第九類 軍 事	第八類 租 稅



子116  
549

司法大臣尾崎行雄閣下題字  
法學博士花井卓藏先生序文



加除自在  
法規類纂

完

大正  
4. 11. 23  
内交

東京 啓文社法律顧問部藏版



繁索簡待  
宜

考  






序

萬法の流るる所、直に權義の溝渠を劃す。權義を客觀すれば、即ち萬法なり。萬法を主觀すれば、即ち權義なり。立憲法治の國に於ては、凡ゆる權義は法令を離れて存在すること能はず。而も知らざるの故を以て、免るること能はず。是故に法治國の臣民たるものは、先づ其日常生活の行動を制約する現行の法規を知らざる可からず。法を立つる三章、天下姦せず、盜せざるの時代もありき。然れとも時勢の推移、人文の發展は日に月に益々滋きを加ふ。



從て各人の權義關係愈々密ならんとす。法規蒐輯の書一日もなかる可からざる所以なり。加除自在法規類纂成る。所感を記して序に代ふ。

大正四年秋季

法學博士 花井卓藏識

加除  
法規類纂

編纂例

- 一 本書ハ現行ノ法令ヲ事類ニ隨ヒ編纂シタルモノナリ、但シ未タ施行ニ到ラサル法令ト雖モ既ニ公布セラレタルモノニシテ一般ノ必要ト認ムルモノハ亦之ヲ収録セリ
- 一 本書ハ紙數及定價ニ限リアルヲ以テ特ニ一般ノ知悉ヲ要スルモノト認ムル法令ノミヲ選擇蒐輯セルモノナリ
- 一 法令ノ首ニハ題目ヲ掲グルヲ例トス但シ事項ノ相同シキモノ又ハ主タル法令ニ附隨セシムルヲ便トスルモノハ一題目ノ下ニ併載セルモノアリ
- 一 法令公布ノ様式ハ之ヲ省略シ公布ノ年月日及法令番號ハ題目ノ



次ニ掲ケタリ

- 一 法令中加除改正ニ係ル條項ハ悉ク修正ヲ加ヘ其改正法令ノ年次  
番號ヲ本令番號ノ次ニ掲載ス
- 一 卷首ニ事類總目次表ヲ示シ又各類毎ニ目次及頁數ヲ附シタリ
- 一 本書ノ製本ハ各類毎ニ爪掛ヲ附シテ類別ノ順序ヲ示シ讀者ノ檢  
索ニ便ナラシム
- 一 本書ノ製本ハ特ニ加除自在ノ綴方ヲ用キ法令ノ改廢アル毎ニ加  
除修正ノ便宜ニ資セリ

啓文社法律顧問部

# 第一類

## 帝國憲法議會



第一類 帝國憲法、議會

第一章 帝國憲法……………一

第二章 法 例……………六

第三章 議 院 法……………一〇

第四章 貴族院令……………一八

    貴族院伯子男爵議員選舉規則……………二〇

    貴族院多額納稅者議員互選規則……………二一

    貴族院多額納稅者議院補闕選舉ニ關スル件……………二四

第五章 衆議院議員選舉法……………二四

    衆議院議員選舉法施行令……………四一

加除自在法規類纂

第一類 帝國憲法、議會

第一章 帝國憲法

明治三十二年二月一日

大日本帝國憲法

第一章 天皇

第一條 大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス

第二條 皇位ハ皇室典範ノ定ムル所ニ依リ皇男子孫之ヲ繼承ス

第三條 天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス

第四條 天皇ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ總攬シ此ノ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行フ

第五條 天皇ハ帝國議會ノ協贊ヲ以テ立法權ヲ行フ

第六條 天皇ハ法律ヲ裁可シ其ノ公布及執行ヲ命ス

第七條 天皇ハ帝國議會ヲ召集シ其ノ開會閉會停會及衆議院ノ解散ヲ命ス

第一類 憲法、議會 第一章 帝國憲法

第八條 天皇ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其ノ災厄ヲ

避クル爲緊急ノ必要ニ由リ帝國議會閉會ノ場合ニ

於テ法律ニ代ルヘキ勅令ヲ發ス

此ノ勅令ハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出スヘシ

若議會ニ於テ承諾セザルトキハ政府ハ將來ニ向テ

其ノ效力ヲ失フコトヲ公布スヘシ

第九條 天皇ハ法律ヲ執行スル爲ニ又ハ公共ノ安寧

秩序ヲ保持シ及臣民ノ幸福ヲ増進スル爲ニ必要ナ

ル命令ヲ發シ又ハ發セシム但シ命令ヲ以テ法律ヲ

變更スルコトヲ得ス

第十條 天皇ハ行政各部ノ官制及文武官ノ俸給ヲ定

メ及文武官ヲ任免ス但シ此ノ憲法又ハ他ノ法律ニ

特別ヲ掲ケタルモノハ各々其ノ條項ニ依ル

第十一條 天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス

第十二條 天皇ハ陸海軍ノ編制及常備兵額ヲ定ム

第十三條 天皇ハ戰ヲ宣シ和ヲ講シ及諸般ノ條約ヲ

締結ス

第十四條 天皇ハ戒嚴ヲ宣告ス

戒嚴ノ要件及效力ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 天皇ハ爵位勳章及其ノ他ノ榮典ヲ授與ス



第十六條 天皇ハ大赦特赦減刑及復權ヲ命ス  
第十七條 攝政ヲ置クハ皇室典範ノ定ムル所ニ依ル  
攝政ハ天皇ノ名ニ於テ大權ヲ行フ

第二章 臣民權利義務

第十八條 日本臣民タルノ要件ハ法律ノ定ムル所ニ依ル

第十九條 日本臣民ハ法律命令ノ定ムル所ノ資格ニ應シ均ク文武官ニ任セラレ及其ノ公務ニ就クコトヲ得

第二十條 日本臣民ハ法律ノ定ムル所ニ從ヒ兵役ノ義務ヲ有ス

第二十一條 日本臣民ハ法律ノ定ムル所ニ從ヒ納税ノ義務ヲ有ス

第二十二條 日本臣民ハ法律ノ範圍内ニ於テ居住及移轉ノ自由ヲ有ス

第二十三條 日本臣民ハ法律ニ依ルニ非スシテ逮捕監禁審問處罰ヲ受クルコトナシ

第二十四條 日本臣民ハ法律ニ定メタル裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權ヲ奪ハルハコトナシ

第二十五條 日本臣民ハ法律ニ定メタル場合ヲ除ク

外其ノ許諾ナクシテ住所ニ侵入セラレ及搜索セラ  
ルハコトナシ

第二十六條 日本臣民ハ法律ニ定メタル場合ヲ除ク  
外信書ノ祕密ヲ侵サルハコトナシ

第二十七條 日本臣民ハ其ノ所有權ヲ侵サルハコト  
ナシ

公益ノ爲必要ナル處分ハ法律ノ定ムル所ニ依ル

第二十八條 日本臣民ハ安寧秩序ヲ妨ケス及臣民タルノ義務ニ背カサル限ニ於テ信教ノ自由ヲ有ス

第二十九條 日本臣民ハ法律ノ範圍内ニ於テ言論著作印行集會及結社ノ自由ヲ有ス

第三十條 日本臣民ハ相當ノ敬禮ヲ守リ別ニ定ムル所ノ規程ニ從ヒ請願ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 本章ニ掲ケタル條規ハ戰時又ハ國家事變ノ場合ニ於テ天皇大權ノ施行ヲ妨グルコトナシ

第三十二條 本章ニ掲ケタル條規ハ陸海軍ノ法令又ハ紀律ニ牴觸セサルモノニ限り軍人ニ準行ス

第三十三章 帝國議會  
第三十三條 帝國議會ハ貴族院衆議院ノ兩院ヲ以テ成立ス

第三十四條 貴族院ハ貴族院令ノ定ムル所ニ依リ皇族華族及勅任セラレタル議員ヲ以テ組織ス

第三十五條 衆議院ハ選舉法ノ定ムル所ニ依リ公選セラレタル議員ヲ以テ組織ス

第三十六條 何人モ同時ニ兩議院ノ議員タルコトヲ得ス

第三十七條 凡テ法律ハ帝國議會ノ協贊ヲ經ルヲ要ス

第三十八條 兩議院ハ政府ノ提出スル法律案ヲ議決シ及各々法律案ヲ提出スルコトヲ得

第三十九條 兩議院ノ一ニ於テ否決シタル法律案ハ同會期中ニ於テ再ヒ提出スルコトヲ得ス

第四十條 兩議院ハ法律又ハ其ノ他ノ事件ニ付各々其ノ意見ヲ政府ニ建議スルコトヲ得但シ其ノ採納ヲ得サルモノハ同會期中ニ於テ再ヒ建議スルコトヲ得ス

第四十一條 帝國議會ハ毎年之ヲ召集ス

第四十二條 帝國議會ハ三箇月ヲ以テ會期トス必要アル場合ニ於テハ勅命ヲ以テ之ヲ延長スルコトアルヘシ

第四十三條 臨時緊急ノ必要アル場合ニ於テ常會ノ外臨時會ヲ召集スヘシ

臨時會ノ會期ヲ定ムルハ勅命ニ依ル

第四十四條 帝國議會ノ開會閉會會期ノ延長及停會ハ兩院同時ニ之ヲ行フヘシ

衆議員解散ヲ命セラレタルトキハ貴族院ハ同時ニ停會セラレヘシ

第四十五條 衆議院解散ヲ命セラレタルトキハ勅命ヲ以テ新ニ議員ヲ選舉セシメ解散ノ日ヨリ五箇月以內ニ之ヲ召集スヘシ

第四十六條 兩議院ハ各々其ノ總議員三分ノ一以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第四十七條 兩議院ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十八條 兩議院ノ會議ハ公開ス但シ政府ノ要求又ハ其ノ院ノ決議ニ依リ祕密會ト爲スコトヲ得

第四十九條 兩議院ハ各々天皇ニ上奏スルコトヲ得

第五十條 兩議院ハ臣民ヨリ呈出スル請願書ヲ受クルコトヲ得



第五十一條 兩議院ハ此ノ憲法及議院法ニ掲グルモノ、外内部ノ整理ニ必要ナル諸規則ヲ定ムルコトヲ得

第五十二條 兩議院ノ議員ハ議院ニ於テ發言シタル意見及表決ニ付院外ニ於テ責ヲ負フコトナシ但シ議員自ラ其ノ言論ヲ演說刊行筆記又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ公布シタルトキハ一般ノ法律ニ依リ處分セラルヘシ

第五十三條 兩議院ノ議員ハ現行犯罪又ハ内亂外患ニ關ル罪ヲ除ク外會期中其ノ院ノ許諾ナクシテ逮捕セラル、コトナシ

第五十四條 國務大臣及政府委員ハ何時タリトモ各議院ニ出席シ及發言スルコトヲ得

第五十五條 國務各大臣ハ天皇ヲ輔弼シ其ノ責ニ任ス

凡テ法律勅令其ノ他國務ニ關ル詔勅ハ國務大臣ノ副署ヲ要ス

第五十六條 樞密顧問ハ樞密院官制ノ定ムル所ニ依リ天皇ノ諮詢ニ應ヘ重要ノ國務ヲ審議ス

第五章 司法

第五十七條 司法權ハ天皇ノ名ニ於テ法律ニ依リ裁判所之ヲ行フ

裁判所ノ構成ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第五十八條 裁判官ハ法律ニ定メタル資格ヲ具フル者ヲ以テ之ニ任ス

裁判官ハ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルノ外其ノ職ヲ免セラル、コトナシ

懲戒ノ條規ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第五十九條 裁判ノ對審判決ハ之ヲ公開ス但シ安寧秩序又ハ風俗ヲ害スルノ虞アルトキハ法律ニ依リ又ハ裁判所ノ決議ヲ以テ對審ノ公開ヲ停ムルコトヲ得

第六十條 特別裁判所ノ管轄ニ屬スヘキモノハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第六十一條 行政官廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスルノ訴訟ニシテ別ニ法律ヲ以テ定メタル行政裁判所ノ裁判ニ屬スヘキモノハ司法裁判所ニ於テ受理スルノ限ニ在ラス

第六章 會計

第六十二條 新ニ租稅ヲ課シ及稅率ヲ變更スルハ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

但シ報償ニ屬スル行政上ノ手数料及其ノ他ノ收納金ハ前項ノ限ニ在ラス

國債ヲ起シ及豫算ニ定メタルモノヲ除ク外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スハ帝國議會ノ協贊ヲ經ヘシ

第六十三條 現行ノ租稅ハ更ニ法律ヲ以テ之ヲ改メサル限ハ舊ニ依リ之ヲ徵收ス

第六十四條 國家ノ歲出歲入ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ經ヘシ

豫算ノ款項ニ超過シ又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出アルトキハ後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス

第六十五條 豫算ハ前ニ衆議院ニ提出スヘシ

第六十六條 皇室經費ハ現在ノ定額ニ依リ毎年國庫ヨリ之ヲ支出シ將來増額ヲ要スル場合ヲ除ク外帝國議會ノ協贊ヲ要セス

第六十七條 憲法上ノ大權ニ基ツケル既定ノ歲出及法律ノ結果ニ由リ又ハ法律上政府ノ義務ニ屬スル歲出ハ政府ノ同意ナクシテ帝國議會之ヲ廢除シ又

ハ削減スルコトヲ得ス

第六十八條 特別ノ須要ニ因リ政府ハ豫メ年限ヲ定メ繼續費トシテ帝國議會ノ協贊ヲ求ムルコトヲ得

第六十九條 避クヘカシサル豫算ノ不足ヲ補フ爲ニ又ハ豫算ノ外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ

第七十條 公共ノ安全ヲ保持スル爲緊急ノ需用アル場合ニ於テ内外ノ情形ニ因リ政府ハ帝國議會ヲ召集スルコト能ハサルトキハ勅令ニ依リ財政上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス

第七十一條 帝國議會ニ於テ豫算ヲ議定セス又ハ豫算成立ニ至ラサルトキハ政府ハ前年度ノ豫算ヲ施行スヘシ

第七十二條 國家ノ歲出歲入ノ決算ハ會計検査院之ヲ検査確定シ政府ハ其ノ検査報告ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

會計検査院ノ組織及職權ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第七章 補則



第七十三條 將來此ノ憲法ノ條項ヲ改正スルノ必要アルトキハ勅命ヲ以テ議案ヲ帝國議會ノ議ニ付スヘシ

此ノ場合ニ於テ兩議院ハ各々其ノ總員三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコトヲ得ス出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ得ルニ非サレハ改正ノ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第七十四條 皇室典範ノ改正ハ帝國議會ノ議ヲ經ルヲ要セス

皇室典範ヲ以テ此ノ憲法ノ條規ヲ變更スルコトヲ得ス

第七十五條 憲法及皇室典範ハ攝政ヲ置クノ間之ヲ變更スルコトヲ得ス

第七十六條 法律規則命令又ハ何等ノ名稱ヲ用キタルニ拘ラス此ノ憲法ニ矛盾セサル現行ノ法令ハ總テ遵守ノ效力ヲ有ス

歲出上政府ノ義務ニ係ル現在ノ契約又ハ命令ハ總テ第六十七條ノ例ニ依ル

第二章 法例

明治三十一年六月法律第一〇號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル法例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

法例別冊ノ通之ヲ定ム

此法律施行ノ期日ハ勅命ヲ以テ之ヲ定ム

明治二十三年法律第九十七號法例ハ此法律發布ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

(別冊)

法例

第一條 法律ハ公布ノ日ヨリ起算シ滿二十日ヲ經テ之ヲ施行ス但法律ヲ以テ之ニ異ナリタル施行時期ヲ定メタルトキハ此限ニ在ラス

臺灣、北海道、沖繩縣其他島地ニ付テハ勅命ヲ以テ特別ノ施行時間ヲ定ムルコトヲ得

第二條 公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反セサル慣習ハ法令ノ規定ニ依リテ認メタルモノ及ヒ法令ニ規定ナキ事項ニ關スルモノニ限り法律ト同一ノ效力ヲ有ス

第三條 人ノ能力ハ其本國法ニ依リテ之ヲ定ム

外國人カ日本ニ於テ法律行為ヲ爲シタル場合ニ於テ其外國人カ本國法ニ依レハ無能力者タルヘキトキト雖モ日本ノ法律ニ依レハ能力者タルヘキトキハ前項ノ規定ニ拘ハラス之ヲ能力者ト看做ス

前項ノ規定ハ親族法又ハ相續法ノ規定ニ依ルヘキ法律行為及ヒ外國ニ在ル不動産ニ關スル法律行為ニ付テハ之ヲ適用セス

第四條 禁治産ノ原因ハ禁治産者ノ本國法ニ依リ其宣告ノ效力ハ宣告ヲ爲シタル國ノ法律ニ依ル

日本ニ住所又ハ居所ヲ有スル外國人ニ付キ其本國法ニ依リ禁治産ノ原因アルトキハ裁判所ハ其者ニ對シテ禁治産ノ宣告ヲ爲スコトヲ得但日本ノ法律カ其原因ヲ認メサルトキハ此限ニ在ラス

第五條 前條ノ規定ハ準禁治産ニ之ヲ準用ス

第六條 外國人ノ生死カ分明ナラサル場合ニ於テハ裁判所ハ日本ニ在ル財産及ヒ日本ノ法律ニ依ルヘキ法律關係ニ付テノミ日本ノ法律ニ依リテ失踪ノ宣告ヲ爲スコトヲ得

第七條 法律行為ノ成立及ヒ效力ニ付テハ當事者ノ

意思ニ從ヒ其何レノ國ノ法律ニ依ルヘキカヲ定ム當事者ノ意思カ分明ナラサルトキハ行為地法ニ依ル

第八條 法律行為ノ方式ハ其行為ノ效力ヲ定ムル法律ニ依ル

行為地法ニ依リタル方式ハ前項ノ規定ニ拘ハラス之ヲ有效トス但物權其他登記スヘキ權利ヲ設定シ又ハ處分スル法律行為ニ付テハ此限ニ在ラス

第九條 法律ヲ異ニスル地ニ在ル者ニ對シテ爲シタル意思表示ニ付テハ其通知ヲ發シタル地ヲ行為地ト看做ス

契約ノ成立及ヒ效力ニ付テハ申込ノ通知ヲ發シタル地ヲ行為地ト看做ス若シ其申込ヲ受ケタル者カ承諾ヲ爲シタル當時申込ノ發信地ヲ知ラサリシトキハ申込者ノ住所地ヲ行為地ト看做ス

第十條 動産及ヒ不動産ニ關スル物權其他登記スヘキ權利ハ其目的物ノ所在地法ニ依ル  
前項ニ掲ケタル權利ノ得喪ハ其原因タル事實ノ完成シタル當時ニ於ケル目的物ノ所在地法ニ依ル



第十一條 事務管理、不當利得又ハ不法行為ニ因リテ生スル債權ノ成立及ヒ效力ハ其原因タル事實ノ發生シタル地ノ法律ニ依ル

前項ノ規定ハ不法行為ニ付テハ外國ニ於テ發生シタル事實カ日本ノ法律ニ依レハ不法ナラサルトキハ之ヲ適用セス

外國ニ於テ發生シタル事實カ日本ノ法律ニ依リテ不法ナルトキト雖モ被害者ハ日本ノ法律カ認メタル損害賠償其他ノ處分ニ非サレハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第十二條 債權讓渡ノ第三者ニ對スル效力ハ債務者ノ住所地法ニ依ル

第十三條 婚姻成立ノ要件ハ各當事者ニ付キ其本國法ニ依リテ之ヲ定ム但其方式ハ婚姻舉行地ノ法律ニ依ル

第十四條 婚姻ノ效力ハ夫ノ本國法ニ依ル

外國人カ女戸主 入夫婚姻ヲ爲シ又ハ日本人ノ婿養子ト爲リタル場合ニ於テハ婚姻ノ效力ハ日本ノ法律ニ依ル

第十五條 夫婦財產制ハ婚姻ノ當時ニ於ケル夫ノ本國法ニ依ル

外國人カ女戸主ト入夫婚姻ヲ爲シ又ハ日本人ノ婿養子ト爲リタル場合ニ於テハ夫婦財產制ハ日本ノ法律ニ依ル

第十六條 離婚ハ其原因タル事實ノ發生シタル時ニ於ケル夫ノ本國法ニ依ル但裁判所ハ其原因タル事實カ日本ノ法律ニ依ルモ離婚ノ原因タルトキニ非サレハ離婚ノ宣告ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條 子ノ嫡出ナルヤ否ヤハ其出生ノ當時母ノ夫ノ屬シタル國ノ法律ニ依リテ之ヲ定ム若シ其夫カ子ノ出生前ニ死亡シタルトキハ其最後ニ屬シタル國ノ法律ニ依リテ之ヲ定ム

第十八條 私生子認知ノ要件ハ其父又ハ母ニ關シテハ認知ノ當時父又ハ母ノ屬スル國ノ法律ニ依リテ之ヲ定ム其子ニ關シテハ認知ノ當時子ノ屬スル國ノ法律ニ依リテ之ヲ定ム

第十九條 養子縁組ノ要件ハ各當事者ニ付キ其本國法ニ依リテ之ヲ定ム

養子縁組ノ效力及ヒ離縁ハ養親ノ本國法ニ依ル

第二十條 親子間ノ法律關係ハ父ノ本國法ニ依ル若シ父アラサルトキハ母ノ本國法ニ依ル

第二十一條 扶養ノ義務ハ扶養義務者ノ本國法ニ依リテ之ヲ定ム

第二十二條 前九條ニ掲ケタルモノノ外親族關係及ヒ之ニ因リテ生スル權利義務ハ當事者ノ本國法ニ依リテ之ヲ定ム

第二十三條 後見ハ被後見人ノ本國法ニ依ル

日本ニ住所又ハ居所ヲ有スル外國人ノ後見ハ其本國法ニ依レハ後見開始ノ原因アルモ後見ノ事務ヲ行フ者ナキトキ及ヒ日本ニ於テ禁治産ノ宣告アリタルトキニ限リ日本ノ法律ニ依ル

第二十四條 前條ノ規定ハ保佐ニ之ヲ準用ス

第二十五條 相續ハ被相續人ノ本國法ニ依ル

第二十六條 遺言ノ成立及ヒ效力ハ其成立ノ當時ニ於ケル遺言者ノ本國法ニ依ル

遺言ノ取消ハ其當時ニ於ケル遺言者ノ本國法ニ依ル

前二項ノ規定ハ遺言ノ方式ニ付キ行為地法ニ依ル

コトヲ妨ケス

第二十七條 當事者ノ本國法ニ依ルヘキ場合ニ於テ其當事者カ二箇以上ノ國籍ヲ有スルトキハ最後ニ取得シタル國籍ニ依リテ其本國法ヲ定ム但其一カ日本ノ國籍ナルトキハ日本ノ法律ニ依ル

國籍ヲ有セサル者ニ付テハ其住所地法ヲ以テ本國法ト看做ス其住所カ知レサルトキハ其居所地法ニ依ル

地方ニ依リ法律ヲ異ニスル國ノ人民ニ付テハ其者ノ屬スル地方ノ法律ニ依ル

第二十八條 當事者ノ住所地法ニ依ルヘキ場合ニ於テ其住所カ知レサルトキハ其居所地法ニ依ル

前條第一項及ヒ第三項ノ規定ハ當事者ノ住所地法ニ依ルヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條 當事者ノ本國法ニ依ルヘキ場合ニ於テ其國ノ法律ニ從ヒ日本ノ法律ニ依ルヘキトキハ日本ノ法律ニ依ル

第三十條 外國法ニ依ルヘキ場合ニ於テ其規定カ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スルトキハ之ヲ適用セス



### 第二章 議院法

明治三十二年二月法律第二號  
改正 三十二年第一〇〇號、三十九年第四九號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ議院法ヲ裁可シ之ヲ公布セシメ併セテ貴族院及衆議院成立ノ日ヨリ各々本法ニ依リ施行スヘキコトヲ命ス

#### 議院法

##### 第一章 帝國議會ノ召集成立及開會

第一條 帝國議會召集ノ勅諭ハ集會ノ期日ヲ定メ少クトモ四十日前ニ之ヲ發布スヘシ

第二條 議員ハ召集ノ勅諭ニ指定シタル期日ニ於テ各議院ノ會堂ニ集會スヘシ

第三條 衆議院ノ議長副議長ハ其ノ院ニ於テ各三名ノ候補者ヲ選舉セシメ其ノ中ヨリ之ヲ勅任スヘシ

議長副議長ノ勅任セラル、マテハ書記官長議長ノ職務ヲ行フヘシ

第四條 各議院ハ抽籤法ニ依リ總議員ヲ數部ニ分割シ每部部長一名ヲ部員中ニ於テ互選スヘシ

第五條 兩議院成立シタル後勅命ヲ以テ帝國議會開會ノ日ヲ定メ兩院議員ヲ貴族院ニ會合セシメ開院式ヲ行フヘシ

第六條 前條ノ場合ニ於テ貴族院議長ハ議長ノ職務ヲ行フヘシ

第七條 各議院ノ議長副議長ハ各々一員トス

第八條 衆議院ノ議長副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第九條 衆議院ノ議長副議長辭職又ハ其ノ他ノ事故ニ由リ關位トナリタルトキハ繼任者ノ任期ハ仍前任者ノ任期ニ依ル

第十條 各議院ノ議長ハ其議院ノ秩序ヲ保持シ議事ヲ整理シ院外ニ對シ議院ヲ代表ス

第十一條 議長ハ議會閉會ノ間ニ於テ仍其ノ議院ノ事務ヲ指揮ス

第十二條 議長ハ常任委員會及特別委員會ニ臨席シ發言スルコトヲ得但シ表決ノ數ニ預カラス

第十三條 各議院ニ於テ議長故障アルトキハ副議長ノ代理ス

第十四條 各議院ニ於テ議長副議長俱ニ故障アルトキハ假議長ヲ選舉シ議長ノ職務ヲ行ハシムヘシ

第十五條 各議院ノ議長副議長ハ任期滿限ニ達スルモ後任者ノ勅任セラル、マテハ仍其ノ職務ヲ繼續スヘシ

第十六條 各議院ニ書記官長一人書記官數人ヲ置ク書記官長ハ勅任トシ書記官ハ委任トス

第十七條 書記官長ハ議長ノ指揮ニ依リ書記官ノ事務ヲ提理シ公文ニ署名ス

書記官ハ議事録及其ノ他ノ文書案ヲ作り事務ヲ掌理ス

書記官ノ外他ノ必要ナル職員ハ書記官長之ヲ任ス

第十八條 兩議院ノ經費ハ國庫ヨリ之ヲ支出ス

第三章 議長副議長及議員歳費

第十九條 各議院ノ議長ハ歳費トシテ五千圓副議長ハ三千圓貴族院ノ被選及勅任議員及衆議院ノ議員ハ二千圓ヲ受ケ別ニ定ムル所ノ規則ニ從ヒ旅費ヲ受ク但シ召集ニ應セサル者ハ歳費ヲ受クルコトヲ得ス

議長副議長及議員ハ歳費ヲ辭スルコトヲ得

官吏ニシテ議員タル者ハ歳費ヲ受クルコトヲ得ス

第一類 憲法、議會 第三章 議院法

會ノ日ヲ定メ兩院議員ヲ貴族院ニ會合セシメ開院式ヲ行フヘシ

第六條 前條ノ場合ニ於テ貴族院議長ハ議長ノ職務ヲ行フヘシ

第二章 議長書記官及經費

第七條 各議院ノ議長副議長ハ各々一員トス

第八條 衆議院ノ議長副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第九條 衆議院ノ議長副議長辭職又ハ其ノ他ノ事故ニ由リ關位トナリタルトキハ繼任者ノ任期ハ仍前任者ノ任期ニ依ル

第十條 各議院ノ議長ハ其議院ノ秩序ヲ保持シ議事ヲ整理シ院外ニ對シ議院ヲ代表ス

第十一條 議長ハ議會閉會ノ間ニ於テ仍其ノ議院ノ事務ヲ指揮ス

第十二條 議長ハ常任委員會及特別委員會ニ臨席シ發言スルコトヲ得但シ表決ノ數ニ預カラス

第十三條 各議院ニ於テ議長故障アルトキハ副議長ノ代理ス

第十四條 各議院ニ於テ議長副議長俱ニ故障アルトキハ假議長ヲ選舉シ議長ノ職務ヲ行ハシムヘシ

第十五條 各議院ノ議長副議長ハ任期滿限ニ達スルモ後任者ノ勅任セラル、マテハ仍其ノ職務ヲ繼續スヘシ

第十六條 各議院ニ書記官長一人書記官數人ヲ置ク書記官長ハ勅任トシ書記官ハ委任トス

第十七條 書記官長ハ議長ノ指揮ニ依リ書記官ノ事務ヲ提理シ公文ニ署名ス

書記官ハ議事録及其ノ他ノ文書案ヲ作り事務ヲ掌理ス

書記官ノ外他ノ必要ナル職員ハ書記官長之ヲ任ス

會ノ日ヲ定メ兩院議員ヲ貴族院ニ會合セシメ開院式ヲ行フヘシ

第六條 前條ノ場合ニ於テ貴族院議長ハ議長ノ職務ヲ行フヘシ

#### 第二章 議長書記官及經費

第七條 各議院ノ議長副議長ハ各々一員トス

第八條 衆議院ノ議長副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第九條 衆議院ノ議長副議長辭職又ハ其ノ他ノ事故ニ由リ關位トナリタルトキハ繼任者ノ任期ハ仍前任者ノ任期ニ依ル

第十條 各議院ノ議長ハ其議院ノ秩序ヲ保持シ議事ヲ整理シ院外ニ對シ議院ヲ代表ス

第十一條 議長ハ議會閉會ノ間ニ於テ仍其ノ議院ノ事務ヲ指揮ス

第十二條 議長ハ常任委員會及特別委員會ニ臨席シ發言スルコトヲ得但シ表決ノ數ニ預カラス

第十三條 各議院ニ於テ議長故障アルトキハ副議長ノ代理ス

第十四條 各議院ニ於テ議長副議長俱ニ故障アルトキハ假議長ヲ選舉シ議長ノ職務ヲ行ハシムヘシ

第十五條 各議院ノ議長副議長ハ任期滿限ニ達スルモ後任者ノ勅任セラル、マテハ仍其ノ職務ヲ繼續スヘシ

第十六條 各議院ニ書記官長一人書記官數人ヲ置ク書記官長ハ勅任トシ書記官ハ委任トス

第十七條 書記官長ハ議長ノ指揮ニ依リ書記官ノ事務ヲ提理シ公文ニ署名ス

書記官ハ議事録及其ノ他ノ文書案ヲ作り事務ヲ掌理ス

書記官ノ外他ノ必要ナル職員ハ書記官長之ヲ任ス

第十八條 兩議院ノ經費ハ國庫ヨリ之ヲ支出ス

第三章 議長副議長及議員歳費

第十九條 各議院ノ議長ハ歳費トシテ五千圓副議長ハ三千圓貴族院ノ被選及勅任議員及衆議院ノ議員ハ二千圓ヲ受ケ別ニ定ムル所ノ規則ニ從ヒ旅費ヲ受ク但シ召集ニ應セサル者ハ歳費ヲ受クルコトヲ得ス

議長副議長及議員ハ歳費ヲ辭スルコトヲ得

官吏ニシテ議員タル者ハ歳費ヲ受クルコトヲ得ス

第一類 憲法、議會 第三章 議院法

會ノ日ヲ定メ兩院議員ヲ貴族院ニ會合セシメ開院式ヲ行フヘシ

第六條 前條ノ場合ニ於テ貴族院議長ハ議長ノ職務ヲ行フヘシ

第二章 議長書記官及經費

第七條 各議院ノ議長副議長ハ各々一員トス

第八條 衆議院ノ議長副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第九條 衆議院ノ議長副議長辭職又ハ其ノ他ノ事故ニ由リ關位トナリタルトキハ繼任者ノ任期ハ仍前任者ノ任期ニ依ル

第十條 各議院ノ議長ハ其議院ノ秩序ヲ保持シ議事ヲ整理シ院外ニ對シ議院ヲ代表ス

第十一條 議長ハ議會閉會ノ間ニ於テ仍其ノ議院ノ事務ヲ指揮ス

第十二條 議長ハ常任委員會及特別委員會ニ臨席シ發言スルコトヲ得但シ表決ノ數ニ預カラス

第十三條 各議院ニ於テ議長故障アルトキハ副議長ノ代理ス

第十四條 各議院ニ於テ議長副議長俱ニ故障アルトキハ假議長ヲ選舉シ議長ノ職務ヲ行ハシムヘシ

第十五條 各議院ノ議長副議長ハ任期滿限ニ達スルモ後任者ノ勅任セラル、マテハ仍其ノ職務ヲ繼續スヘシ

第十六條 各議院ニ書記官長一人書記官數人ヲ置ク書記官長ハ勅任トシ書記官ハ委任トス

第十七條 書記官長ハ議長ノ指揮ニ依リ書記官ノ事務ヲ提理シ公文ニ署名ス

書記官ハ議事録及其ノ他ノ文書案ヲ作り事務ヲ掌理ス

書記官ノ外他ノ必要ナル職員ハ書記官長之ヲ任ス

第十八條 兩議院ノ經費ハ國庫ヨリ之ヲ支出ス

第三章 議長副議長及議員歳費

第十九條 各議院ノ議長ハ歳費トシテ五千圓副議長ハ三千圓貴族院ノ被選及勅任議員及衆議院ノ議員ハ二千圓ヲ受ケ別ニ定ムル所ノ規則ニ從ヒ旅費ヲ受ク但シ召集ニ應セサル者ハ歳費ヲ受クルコトヲ得ス

議長副議長及議員ハ歳費ヲ辭スルコトヲ得

官吏ニシテ議員タル者ハ歳費ヲ受クルコトヲ得ス

第一類 憲法、議會 第三章 議院法

會ノ日ヲ定メ兩院議員ヲ貴族院ニ會合セシメ開院式ヲ行フヘシ

第六條 前條ノ場合ニ於テ貴族院議長ハ議長ノ職務ヲ行フヘシ

第二章 議長書記官及經費

第七條 各議院ノ議長副議長ハ各々一員トス

第八條 衆議院ノ議長副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル



第二十二條 常任委員會及特別委員會ハ議員ノ外傍聽ヲ禁ス但シ委員會ノ決議ニ由リ議員ノ傍聽ヲ禁スルコトヲ得

第二十四條 各委員長ハ委員會ノ經過及結果ヲ議院ニ報告スヘシ

第二十五條 各議院ハ政府ノ要求ニ依リ又ハ其ノ同意ヲ經テ議會閉會ノ間委員ヲシテ議案ノ審査ヲ繼續セシムルコトヲ得

第五章 會議

第二十六條 各議院ノ議長ハ議事日程ヲ定メテ之ヲ議院ニ報告ス

議事日程ハ政府ヨリ提出シタル議案ヲ先ニスヘシ但シ他ノ議事緊急ノ場合ニ於テ政府ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 法律ノ議案ハ三讀會ヲ經テ之ヲ議決スヘシ但シ政府ノ要求若ハ議員十人以上ノ要求ニ依リ議院ニ於テ出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ可決シタルトキハ三讀會ノ順序ヲ省略スルコトヲ得

第二十八條 政府ヨリ提出シタル議案ハ委員ノ審査

第二十四條 衆議院ノ解散ニ依リ貴族院ニ停會ヲ命シタル場合ニ於テハ前條第二項ノ例ニ依ラス

第二十五條 帝國議會閉會ノ場合ニ於テ議案建議請願ノ議決ニ至ラサルモノハ後會ニ繼續セス但シ第二十五條ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條 閉會ハ勅命ニ由リ兩議院合會ニ於テ之ヲ舉行スヘシ

第七章 秘密會議

第二十七條 各議院ノ會議ハ左ノ場合ニ於テ公開ヲ停ムルコトヲ得

一 議長又ハ議員十人以上ノ發議ニ由リ議院之ヲ可決シタルトキ

二 政府ヨリ要求ヲ受ケタルトキ

第二十八條 議長又ハ議員十人以上ヨリ秘密會議ヲ發議シタルトキハ議長ハ直ニ傍聽人ヲ退去セシメ討論ヲ用キスシテ可否ノ決ヲ取ルヘシ

第二十九條 秘密會議ハ刊行スルコトヲ許サス

第八章 豫算案ノ議定

第四十條 政府ヨリ豫算案ヲ衆議院ニ提出シタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取リタル日ヨリ二

ヲ經スシテ之ヲ議決スルコトヲ得ス但シ緊急ノ場合ニ於テ政府ノ要求ニ由ルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 凡テ議案ヲ發議シ及議院ノ會議ニ於テ議案ニ對シ修正ノ動議ヲ發スルモノハ二十人以上ノ賛成アルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得ス

第三十條 政府ハ何時タリトモ既ニ提出シタル議案ヲ修正シ又ハ撤回スルコトヲ得

第三十一條 凡テ議案ハ最後ニ議決シタル議院ノ議長ヨリ國務大臣ヲ經由シテ之ヲ奏上スヘシ

但シ兩議院ノ一ニ於テ提出シタル議案ニシテ他ノ議院ニ於テ否決シタルトキハ第五十四條第二項ノ規定ニ依ル

第三十二條 兩議院ノ議決ヲ經テ奏上シタル議案ニシテ裁可セラル、モノハ次ノ會期マテニ公布セラ

第六章 停會閉會

第三十三條 政府ハ何時タリトモ十五日以内ニ於テ議院ノ停會ヲ命スルコトヲ得

議院停會ノ後再ヒ開會シタルトキハ前會ノ議事ヲ繼續スヘシ

十一日以内ニ審査ヲ終リ議院ニ報告スヘシ

第四十一條 豫算案ニ就キ議院ノ會議ニ於テ修正ノ動議ヲ發スルモノハ三十人以上ノ賛成アルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得ス

第九章 國務大臣及政府委員

第四十二條 國務大臣及政府委員ノ發言ハ何時タリトモ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲ニ議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第四十三條 議院ニ於テ議案ヲ委員ニ付シタルトキハ國務大臣及政府委員ハ何時タリトモ委員會ニ出席シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第四十四條 委員會ハ議長ヲ經由シテ政府委員ノ說明ヲ求ムルコトヲ得

第四十五條 國務大臣及政府委員ハ議員タル者ヲ除ク外議院ノ會議ニ於テ表決ノ數ニ預カラズ

第四十六條 常任委員會又ハ特別委員會ヲ開クトキハ每會委員長ヨリ其ノ主任ノ國務大臣及政府委員ニ報知スヘシ

第四十七條 議事日程及議事ニ關スル報告ハ議員ニ分配スルト同時ニ之ヲ國務大臣及政府委員ニ送付



スヘシ

第十章 質問

第四十八條 兩議院ノ議員政府ニ對シ質問ヲ爲サムトスルトキハ三十人以上ノ賛成者アルヲ要ス 質問ハ簡明ナル主意書ヲ作り賛成者ト共ニ連署シテ之ヲ議長ニ提出スヘシ

第四十九條 質問主意書ハ議長之ヲ政府ニ轉送シ國務大臣ハ直ニ答辯ヲ爲シ又ハ答辯スヘキ期日ヲ定メ若答辯ヲ爲サ、ルトキハ其ノ理由ヲ示明スヘシ 第五十條 國務大臣ノ答辯ヲ得又ハ答辯ヲ得サルトキハ質問ノ事件ニ付議員ハ建議ノ動議ヲ爲スコトヲ得

第十一章 上奏及建議

第五十一條 各議院上奏セムトスルトキハ文書ヲ奉呈シ又ハ議長ヲ以テ總代トシ謁見ヲ請ヒ之ヲ奉呈スルトコトヲ得

各議院ノ建議ハ文書ヲ以テ政府ニ呈出スヘシ 第五十二條 各議院ニ於テ上奏又ハ建議ノ動議ハ三十人以上ノ賛成アルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得ス

第十二章 兩議院關係

第五十三條 豫算ヲ除ク外政府ノ議案ヲ付スルハ兩議院ノ内何レヲ先ニスルモ便宜ニ依ル

第五十四條 甲議院ニ於テ政府ノ議案ヲ可決シ又ハ修正シテ議決シタルトキハ乙議院ニ之ヲ移スヘシ 乙議院ニ於テ甲議院ノ議決ニ同意シ又ハ否決シタルトキハ之ヲ奏上スルト同時ニ甲議院ニ通知スヘシ 乙議院ニ於テ甲議院ノ提出シタル議案ヲ否決シタルトキハ之ヲ甲議院ニ通知スヘシ

第五十五條 乙議院ニ於テ甲議院ヨリ移シタル議案ニ對シ之ヲ修正シタルトキハ之ヲ甲議院ニ回付スヘシ 甲議院ニ於テ乙議院ノ修正ニ同意シタルトキハ之ヲ奏上スルト同時ニ乙議院ニ通知スヘシ 若シ之ニ同意セサルトキハ兩院協議會ヲ開クコトヲ求ムヘシ

甲議院ヨリ協議會ヲ開クコトヲ求ムルトキハ乙議院ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第五十六條 兩院協議會ハ兩議院ヨリ各々十人以下同數ノ委員ヲ選舉シ會同セシム委員ノ協議案成立

之ヲ審査セシム

請願委員請願書ヲ以テ規程ニ合ハスト認ムルトキハ議長ハ紹介ノ議員ヲ經テ之ヲ却下スヘシ

第六十四條 請願委員ハ請願文書表ヲ作り其ノ要求ヲ録シ每週一回議院ニ報告スヘシ 請願委員特別ノ報告ニ依レル要求又ハ議員三十人以上ノ要求アルトキハ各議院ハ其ノ請願事件ヲ會議ニ付スヘシ

第六十五條 各議院ニ於テ請願ノ採擇スヘキコトヲ議決シタルトキハ意見書ヲ附シ其ノ請願書ヲ政府ニ送付シ事宜ニ依リ報告ヲ求ムルトコトヲ得

第六十六條 法律ニ依リ法人ト認メラレタル者ヲ除ク外總代ノ名義ヲ以テスル請願ハ各議院之ヲ受クルコトヲ得ス

第六十七條 各議院ハ憲法ヲ變更スルノ請願ヲ受クルコトヲ得ス

第六十八條 請願書ハ總テ哀願ノ體式ヲ用ウヘシ若シ請願ノ名義ニ依ラス若ハ其ノ體式ニ違フモノハ各議院之ヲ受クルコトヲ得ス

第六十九條 請願書ニシテ皇室ニ對シ不敬ノ語ヲ用

第六十二條 各議院ニ呈出スル人民ノ請願書ハ議員ノ紹介ニ依リ議院之ヲ受取ルヘシ 第六十三條 請願書ハ各議院ニ於テ請願委員ニ付シ

第十三章 請願

第六十條 兩院協議會ノ議長ハ兩議院協議委員ニ於テ各々一員ヲ互選シ每會更代シテ席ニ當ラシムヘシ 其ノ初會ニ於ケル議長ハ抽籤法ヲ以テ之ヲ定ム 第六十一條 本章ニ定ムル所ノ外兩議院交渉事務ノ規程ハ其ノ協議ニ依リ之ヲ定ムヘシ

第五十八條 兩院協議會ハ傍聽ヲ許サス 第五十九條 兩院協議會ニ於テ可否ノ決ヲ取ルハ無名投票ヲ用キ可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十七條 國務大臣政府委員及各議院ノ議長ハ何時タリトモ兩院協議會ニ出席シテ意見ヲ述フルコトヲ得

スルトキハ議案ヲ政府ヨリ受取り又ハ提出シタル甲議院ニ於テ先ツ之ヲ議シ次ニ乙議院ニ移スヘシ 協議會ニ於テ成立シタル成案ニ對シテハ更ニ修正ノ動議ヲ爲スコトヲ許サス



中央政府又ハ議院ニ對シ侮辱ノ語ヲ用キルモノハ各議院之ヲ受クルコトヲ得ス

第七十條 各議院ハ司法及行政裁判ニ干預スルノ請願ヲ受クルコトヲ得ス

第七十一條 各議院ハ各別ニ請願ヲ受ケ互ニ相干預セス

第十四章 議院ト人民及官廳地方議會トノ關係

第七十二條 各議院ハ人民ニ向テ告示ヲ發スルコトヲ得ス

第七十三條 各議院ハ審査ノ爲ニ人民ヲ召喚シ及議員ヲ派出スルコトヲ得ス

第七十四條 各議院ヨリ審査ノ爲ニ政府ニ向テ必要ナル報告又ハ文書ヲ求ムルトキハ政府ハ祕密ニ涉ルモノヲ除ク外其ノ求ニ應スヘシ

第七十五條 各議院ハ國務大臣及政府委員ノ外他ノ官廳及地方議會ニ向テ照會往復スルコトヲ得ス

第十五章 退職及議員資格ノ異議

第七十六條 衆議院ノ議員ニシテ貴族院議員ニ任セラレ又ハ法律ニ依リ議員タルコトヲ得サル職務ニ

第八十三條 衆議院ハ議員ノ辭職ヲ許可スルコトヲ得

第八十四條 何等ノ事由ニ拘ラス衆議院議員ニ關員ヲ生シタルトキハ議長ヨリ内務大臣ニ通牒シ補闕選舉ヲ求ムヘシ

第十七章 紀律及警察

第八十五條 各議院開會中其ノ紀律ヲ保持セムカ爲内部警察ノ權ハ此ノ法律及各議院ニ於テ定ムル所ノ規則ニ從ヒ議長之ヲ施行ス

第八十六條 各議院ニ於テ要スル所ノ警察官吏ハ政府之ヲ派出シ議長ノ指揮ヲ受ケシム

第八十七條 會議中議員此ノ法律若ハ議事規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ又ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシム命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシムルコトヲ得

第八十八條 議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第八十九條 傍聽人議場ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ

任セラレタルトキハ退職者トス

第七十七條 衆議院ノ議員ニシテ選舉法ニ記載シタル被選ノ資格ヲ失ヒタルトキハ退職者トス

第七十八條 衆議院ニ於テ議員ノ資格ニ付異議ヲ生シタルトキハ特ニ委員ヲ設ケ時日ヲ期シ之ヲ審査セシメ其ノ報告ヲ待テ之ヲ議決スヘシ

第七十九條 裁判所ニ於テ當選訴訟ノ裁判手續ヲ爲シタルモノハ衆議院ニ於テ同一事件ニ付審査スルコトヲ得ス

第八十條 議員其ノ資格ナキコトヲ證明セラルルニ至ルマテハ議院ニ於テ位列及發言ノ權ヲ失ハス但シ自身ノ資格審査ニ關ル會議ニ對シテハ辯明スルコトヲ得ルモ其ノ表決ニ預カルコトヲ得ス

第十六章 請假辭職及補闕

第八十一條 各議院ノ議長ハ一週間ニ超エサル議員ノ請假ヲ許可スルコトヲ得其ノ一週間ヲ超ユルモノハ議院ニ於テ之ヲ許可ス期限ナキモノハ之ヲ許可スルコトヲ得ス

第八十二條 各議院ノ議員ハ正當ノ理由ヲ以テ議長ニ届出スシテ會議又ハ委員會ニ關席スルコトヲ得

議長ハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ之ヲ警察官廳ニ引渡サシムルコトヲ得  
傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシムルコトヲ得

第九十條 議場ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ國務大臣政府委員及議員ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第九十一條 各議院ニ於テ皇室ニ對シ不敬ノ言語論說ヲ爲スコトヲ得ス

第九十二條 各議院ニ於テ無禮ノ語ヲ用キルコトヲ得ス及他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第九十三條 議院又ハ委員會ニ於テ誹毀侮辱ヲ被リタル議員ハ之ヲ議院ニ訴ヘテ處分ヲ求ムヘシ私ニ相報復スルコトヲ得ス

第十八章 懲罰

第九十四條 各議院ハ其ノ議員ニ對シ懲罰ノ權ヲ有ス

第九十五條 各議院ニ於テ懲罰犯ヲ審査スル爲ニ懲罰委員ヲ設ケ  
懲罰事犯アルトキハ議長ハ先ツ之ヲ委員ニ付シ審査セシメ議院ノ議ヲ經テ之ヲ宣告ス



各委員會又ハ各部ニ於テ懲罰事犯アルトキハ委員長又ハ部長ハ之ヲ議長ニ報告シ處分ヲ求ムヘシ

第九十六條 懲罰ハ左ノ如シ

- 一 公開シタル議場ニ於テ譴責ス
- 二 公開シタル議場ニ於テ適當ノ謝辭ヲ表セシム
- 三 一定ノ時間出席ヲ停止ス
- 四 除名

衆議院ニ於テ除名ハ出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ之ヲ決スヘシ

第九十七條 衆議院ハ除名ノ議員再選ニ當ル者ヲ拒ムコトヲ得ス

第九十八條 議員ハ二十人以上ノ賛成ヲ以テ懲罰ノ動議ヲ爲スコトヲ得

懲罰ノ動議ハ事犯アリシ後三日以内ニ之ヲ爲スヘシ

第九十九條 議員正當ノ理由ナクシテ勅諭ニ指定シタル期日後一週間内ニ召集ニ應セサルニ由リ又ハ正當ノ理由ナクシテ會議又ハ委員會ニ出席スルニ由リ若ハ請暇ノ期限ヲ過キタルニ由リ議長ヨリ特ニ招狀ヲ發シ其ノ招狀ヲ受ケタル後一週間内ニ仍

第二條 皇族ノ男子成年ニ達シタルトキハ議席ニ列ス

第三條 公侯爵ヲ有スル者滿二十五歳ニ達シタルトキハ議員タルヘシ

第四條 伯子男爵ヲ有スル者ニシテ滿二十五歳ニ達シ各々其ノ同爵ノ選ニ當リタル者ハ七箇年ノ任期ヲ以テ議員タルヘシ其ノ選舉ニ關ル規則ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

前項議員ノ數ハ伯爵十七人以内、子爵七十人以内、男爵六十三人以内トシ各爵總數ノ其五分ノ一ヲ超過スヘカラス

第五條 國家ニ勳勞アリ又ハ學識アル滿三十歳以上ノ男子ニシテ勅任セラレタル者ハ終身議員タルヘシ

前項議員ノ數ハ百三十五人ヲ超過スヘカラス

第六條 各府縣ニ於テ滿三十歳以上ノ男子ニシテ土地或ハ工業商業ニ付多額ノ直接國稅ヲ納ムル者十五人ノ中ヨリ一人ヲ互選シ其ノ選ニ當リ勅任セラレタル者ハ七箇年ノ任期ヲ以テ議員タルヘシ其ノ選舉ニ關ル規則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

故ナク出席セサル者ハ貴族院ニ於テハ其ノ出席ヲ停止シ上奏シテ勅裁ヲ請フヘク衆議院ニ於テハ之ヲ除名スヘシ

### 第四章 貴族院令

明治三十二年二月勅令第一二號  
改正 三十八年第五八號、三十九年第九二號

朕大日本帝國憲法ノ明文ニ依リ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ貴族院令ヲ發布ス此ノ勅令ヲ實施スルノ時期ハ朕カ更ニ命スル所ニ依ルヘシ

貴族院令

第一條 貴族院ハ左ノ議員ヲ以テ組織ス

- 一 皇族
- 二 公侯爵
- 三 伯子男爵各々其ノ同爵中ヨリ選舉セラレタル者
- 四 國家ニ勳勞アリ又ハ學識アル者ヨリ特ニ勅任セラレタル者
- 五 各府縣ニ於テ土地或ハ工業商業ニ付多額ノ直接國稅ヲ納ムル者ノ中ヨリ一人ヲ互選シテ勅任セラレタル者

第七條 國家ニ勳勞アリ又ハ學識アル者及各府縣ニ於テ土地或ハ工業商業ニ付多額ノ直接國稅ヲ納ムル者ヨリ勅任セラレタル議員ハ有爵議員ノ數ニ超過スルコトヲ得ス

第八條 貴族院ハ天皇ノ諮詢ニ應ヘ華族ノ特權ニ關ル條規ヲ議決ス

第九條 貴族院ハ其ノ議員ノ資格及選舉ニ關ル爭訟ヲ判決ス其ノ判決ニ關ル規則ハ貴族院ニ於テ之ヲ議定シ上奏シテ裁可ヲ請フヘシ

第十條 議員ニシテ【禁錮】以上ノ刑ニ處セラレ又ハ【身代限】ノ處分ヲ受ケタル者アルトキハ勅命ヲ以テ之ヲ除名スヘシ

貴族院ニ於テ懲罰ニ由リ除名スヘキ者ハ議長ヨリ上申シテ勅裁ヲ請フヘシ  
除名セラレタル議員ハ更ニ勅許アルニ非サレハ再ヒ議員トナルコトヲ得ス

第十一條 議長副議長ハ議員中ヨリ七箇年ノ任期ヲ以テ勅任セラレヘシ  
被選議員ニシテ議長又ハ副議長ノ任命ヲ受ケタルトキハ議員ノ任期間其職ニ就クヘシ



第十二條 此ノ勅令ニ定ムルモノノ外ハ總テ議院法ノ條規ニ依ル

第十三條 將來此ノ勅令ノ條項ヲ改正シ又ハ増補スルトキハ貴族院ノ議決ヲ經ヘシ

●貴族院伯子男爵議員選舉

規則

明治三二年六月勅令第七八號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ貴族院伯子男爵議員選舉規則ヲ裁可シ之ヲ公布セシム此ノ勅令ヲ實施スルノ時期ハ朕カ更ニ命スル所ニ依ルヘシ

貴族院伯子男爵議員選舉規則

第一條 伯子男爵ヲ有スル成年以上ノ者ハ各々其ノ同爵者ノ貴族院議員ヲ選舉ス

第二條 神官及諸宗ノ僧侶又ハ教師ハ被選人タルコトヲ得ス

第三條 左ノ項ノ一ニ觸ル、者ハ選舉人及被選人タルコトヲ得ス

- 一 瘋癲白痴ノ者
- 二 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ義務ヲ免レサル者

第九條 選舉ハ七月十日東京ニ於テ之ヲ行フ

第十條 選舉人ハ自ラ選舉會場ニ至リ投票スヘシ

投票ハ被選人ノ爵姓名ヲ列記シ次ニ自己ノ爵姓名ヲ記載スヘシ

第十一條 選舉人東京府ノ外ニ居住シ又ハ疾病事故ニ因リ選舉會場ニ至ルコト能ハサルトキハ同爵中ノ他ノ選舉人ニ投票ヲ委託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ投票ヲ封緘シ其ノ表面ニ記名捺印シ委託ノ謄狀ト共ニ委託ヲ受クル者ニ送付スヘシ

第十二條 投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス

投票同數ナルトキハ生年月ノ長者ヲ以テ當選人トス同年月ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第十三條 前數條ニ掲ケタル者ノ外選舉ニ關ル一切ノ規程ハ選舉資格ヲ有スル伯子男爵ノ協議ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第十四條 當選人確定シタルトキハ選舉管理者ハ其ノ爵姓名ヲ上奏シ併セテ貴族院議長ニ報告スヘシ

第十五條 選舉管理者ハ選舉明細書ヲ作り選舉ニ關ル一切ノ事項ヲ記載シ立會人ト共ニ署名捺印シ其

第四條 刑事ノ訴ヲ受ケ拘留又ハ保釋中ニ在ル者ハ其ノ裁判確定ニ至ルマテ選舉權ヲ行フコトヲ得ス及被選舉人タルコトヲ得ス

第五條 貴族院令第四條ニ依リ選ハルヘキ議員ノ數ハ選舉ヲ行フノ前勅令ヲ以テ之ヲ指定スヘシ

第六條 爵位局長官ハ選舉ノ期日ヨリ五十日前ニ選舉資格ヲ有スル伯子男爵ノ人名簿ヲ各別ニ調製シ選舉資格ヲ有スル同爵者ニ配付シ三十日前ニ之ヲ確定シテ各選舉管理者ニ交付スヘシ

確定期日ノ前ニ於テ新ニ資格ヲ得及回復シタル者アルトキハ之ヲ名簿ニ記入スヘシ

第七條 選舉ハ伯子男爵ノ選舉資格ヲ有スル者ヨリ各々一人ノ選舉管理者ヲ互選シテ之ヲ管理セシム選舉管理者ハ貴族院令第四條ニ依リ議員ノ更任アル毎ニ之ヲ改選スヘシ

選舉管理者ハ選舉及被選ノ權ヲ妨ケラル、コトナシ

第八條 各選舉管理者ハ選舉人ノ中ヨリ各々其ノ同爵ノ選舉立會人三人以上ヲ指定シテ選舉會場ニ參會セシムヘシ

ノ副本ヲ貴族院ニ送致スヘシ

第十六條 議員ニ關員ヲ生シタルトキハ議長ヨリ之ヲ上奏シ勅旨ヲ以テ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ジ及其ノ期日ヲ指定スヘシ

補闕選舉ヲ行フノ手續ハ通常選舉ノ例ニ同シ

第十七條 補闕議員ノ任期ハ前議員ノ任期ニ依ル

第十八條 貴族院令第九條ニ依リ貴族院ニ出訴スルノ期限ハ貴族院開會ノ後十日以内トス

第十九條 選舉ニ關ル費用ハ同爵者ノ支辨タルヘシ

●貴族院多額納稅者議員互選規則

明治三二年六月勅令第七九號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ貴族院多額納稅者議員互選規則ヲ裁可シ之ヲ公布セシム此ノ勅令ヲ實施スルノ時期ハ朕カ更ニ命スル所ニ依ルヘシ

貴族院多額納稅者議員互選規則

第一條 貴族院令第六條ニ依リ貴族院議員ヲ互選スル者ハ互選名簿調製ノ期日ヨリ前滿一年以上其ノ府縣内ニ於テ本籍ヲ定メ住居シ多額ノ直接國稅ヲ



納メ仍引續キ住居シ及納稅スル者タルヘシ

第二條 家督ニ由リ財產ヲ相續シタル者ハ其ノ財產ニ付前財產主ノ納稅額ヲ以テ其ノ納稅資格ニ算入ス

第三條 神官及諸宗ノ僧侶又ハ教師ハ互選人タルコトヲ得ス

第四條 左ノ項ノ一ニ觸ル、者ハ互選人タルコトヲ得ス

一 瘋癲白痴ノ者

二 公權ヲ剝奪セラレタル者又ハ停止中ノ者

三 禁錮ノ刑ニ處セラレ滿期ノ後又ハ赦免ノ後滿三年ヲ經サル者

四 舊法ニ由リ懲役ノ刑ニ處セラレ滿期ノ後又ハ赦免ノ後滿三年ヲ經サル者

五 【賭博犯ニ由リ處刑ヲ受ケ滿期ノ後又ハ赦免ノ後滿三年ヲ經サル者】

六 衆議院議員ノ選舉ニ關ル犯罪ニ依リ選舉權及被選舉權ノ停止中ノ者

第五條 陸海軍軍人ハ現役中互選人タルコトヲ得ス其ノ休職停職ニ在ル者亦同シ

ルトキハ前項ノ手續ニ依リ改正ヲ求ムルコトヲ得期限ヲ經過シタル後申立ヲ爲スモ其ノ效ナシ

第十二條 府縣知事前條ノ申立ヲ受ケタルトキハ之ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ判定スヘシ判定ノ結果ニ依リ名簿ヲ改正シタルトキハ其ノ由ヲ關係人ニ通知シ併セテ管内ニ告示スヘシ

第十三條 互選名簿ハ六月一日ヲ以テ確定期限トス

第十四條 選舉ハ六月十日府縣廳ニ於テ之ヲ行ヒ府縣知事又ハ其ノ代理者之ヲ管理ス

第十五條 府縣知事ハ投票ノ時刻ヲ定メ遅クトモ選舉ノ期日ヨリ七日前ニ各互選人ニ通知書ヲ發スヘシ

第十六條 互選人ハ自ラ選舉會場ニ至リ投票スヘシ投票ハ被選人ノ姓名ヲ記載シ次ニ自己ノ姓名ヲ記載スヘシ

第十七條 互選人疾病事故ニ因リ選舉會場ニ至ルコト能ハサルトキハ醫師ノ診斷書又ハ事由書ヲ具ヘ投票ヲ封緘シ其ノ表面ニ記名捺印シテ之ヲ他ノ互選人ニ委託スルコトヲ得

第十八條 投票終ルノ後選舉管理者ハ互選人ノ面前

第一類 憲法、議會 第四章 貴族院令

第六條 刑事ノ訴ヲ受ケ拘留又ハ保釋中ニ在ル者ハ其ノ裁判確定ニ至ルマテ互選人タルコトヲ得ス

第七條 互選人選舉ニ關リ輕罪以上ノ罪ヲ犯シタルトキハ互選名簿ヨリ除名セラルヘシ

第八條 府縣知事ハ選舉ヲ行フノ年四月一日ヲ期トシ其ノ府縣ニ於テ互選資格ヲ有スル者十五人ノ名簿ヲ調製スヘシ

互選名簿ハ互選人ノ姓名、職業、身分、住所、生年月、土地或ハ工業商業ニ付納ムル所ノ直接國稅ノ細別及總額並ニ納稅地ヲ記載スヘシ

第九條 納稅同額ノ者アルトキハ生年月ノ長者ヲ先ニシ同年月ノ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第十條 府縣知事ハ四月二十日マテニ互選名簿ヲ各互選人ニ配付シ併セテ之ヲ管内ニ告示スヘシ

第十一條 互選資格ヲ得ヘキ者ニシテ自ラ互選名簿ニ記載セラレサルコトヲ發見シタルトキハ告示ノ後十五日以内ニ其ノ理由及證憑ヲ具ヘテ府縣知事ニ申立ツルコトヲ得

凡テ互選資格ヲ得タル者ハ互選資格ヲ得ヘカラサル者ノ互選名簿ニ記載セラレタルコトヲ發見シタル

ニ於テ投票ヲ點檢シ其ノ結果ヲ告知スヘシ但シ當選人其ノ場ニ在ラサルトキハ文書ヲ以テ速ニ其ノ由ヲ本人ニ通知スヘシ

第十九條 投票效力ノ有無ニ付疑義アルトキハ選舉管理者之ヲ決定ス

第二十條 投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス

投票同數ナルトキハ生年月ノ長者ヲ以テ當選人トス同年月ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十一條 當選人ニシテ其ノ當選ヲ辭スルトキハ次ノ投票多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トスヘシ

當選人當選ヲ辭スルコトヲ得ルハ選舉ノ日ヨリ十日以内ニ限ル

第二十二條 當選人確定シタルトキハ府縣知事ハ當選人ノ資格及選舉ノ顛末ヲ錄シテ内閣總理大臣ニ報告スヘシ

第二十三條 選舉管理者ハ選舉明細書ヲ作り選舉ニ關ル一切ノ事項ヲ記載シ署名捺印シ其ノ副本ヲ貴族院ニ送致スヘシ

第二十四條 議員ニ關員ヲ生シタルトキハ議長ヨリ

第一類 憲法、議會 第四章 貴族院令



之ヲ上奏シ勅旨ヲ以テ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ其ノ府縣ニ命スヘシ  
補闕選舉ヲ行フノ【時期及】手續ハ通常選舉ノ例ニ同シ

第二十五條 補闕議員ノ任期ハ前議員ノ任期ニ依ル  
第二十六條 貴族院令第九條ニ依リ貴族院ニ出訴スルノ期限ハ開會ノ後十日以内トス

●貴族院多額納稅者議員補闕

選舉ニ關スル件

明治二七年五月勅令第五七號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ貴族院多額納稅者議員ノ補闕選舉ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 府縣知事ハ貴族院多額納稅者議員ノ補闕選舉ノ命ヲ受ケタル日ヲ期トシ其ノ府縣ニ於テ互選資格ヲ有スル者十五人ノ名簿ヲ調製シ其ノ期日後二十日以内ニ之ヲ各互選人ニ配布シ併セテ之ヲ管内ニ告示スヘシ

第二條 前條ノ互選名簿ハ告示後四十日ヲ經過スルトキハ確定トス

第三條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做ス

第四條 市町村長ハ投票管理者トナリ投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第五條 開票區ハ郡市ノ區域ニ依ル  
郡市長ハ開票管理者トナリ開票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第六條 地方長官ハ選舉長トナリ選舉ニ關スル事務ヲ統轄ス

第七條 行政區畫ノ變更ニ因リ選舉區ニ異動ヲ生スルモ現任議員ハ其ノ職ヲ失フコトナシ

第二章 選舉權及被選舉權

第八條 左ノ要件ヲ具備スル者ハ選舉權ヲ有ス

一 帝國臣民タル男子ニシテ年齡滿二十五年以上ノ者

二 選舉人名簿調製ノ期日前滿一年以上其ノ選舉區内ニ住所ヲ有シ仍引續キ有スル者

三 選舉人名簿調製ノ期日前滿一年以上地租十圓以上又ハ滿二年以上地租以外ノ直接國稅十圓

第三條 貴族院多額納稅者議員ノ補闕選舉ハ互選名簿確定後十日目ニ之ヲ行フヘシ

第五章 衆議院議員選舉法

明治三三年三月法律第七三號

改正一三三三年第三八號第三九號、四一年第五八號、四三年第六五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル衆議院議員選舉法改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

衆議院議員選舉法

第一章 選舉ニ關スル區域

第一條 衆議院議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス選舉區及各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員ノ數ハ別表ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 投票區ハ市町村ノ區域ニ依ル  
特別ノ事情アル市町村ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ二箇以上ノ投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設ケルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ投票ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キトキハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

以上若クハ地租ト其ノ他ノ直接國稅トヲ通シテ十圓以上ヲ納メ引續キ納ムル者

家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ハ其ノ財產ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス

第九條 前條ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ行政區畫變更ノ爲中斷セラルルコトナシ

第十條 帝國臣民タル男子ニシテ年齡滿三十年以上ノ者ハ被選舉權ヲ有ス

第十一條 左ニ掲グル者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス

- 一 禁治產者及準禁治產者
- 二 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者
- 三 剝奪公權者及停止公權者
- 四 (削除)

第十二條 華族ノ戶主ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス  
陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者及戰時若ハ事變ニ際



シ召集中ノ者又ハ官立公立私立學校ノ學生、生徒亦前項ニ同シ

第十三條 神官、神職、僧侶其ノ他諸宗教師、小學校教員ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後三箇月ヲ經過セサル者亦同シ

政府ノ請負ヲ爲ス者又ハ主トシテ政府ノ請負ヲ爲ス法人ノ役人ハ被選舉權ヲ有セス

第十四條 選舉事務ニ關係アル官吏、吏員ハ其ノ選舉區内ニ於テ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後三箇月ヲ經過セサル者亦同シ

第十五條 宮内官、判事、檢事、行政裁判所長官、行政裁判所評定官、會計検査官、收税官吏及警察官吏ハ被選舉權ヲ有セス

第十六條 前條ノ外ノ官吏ハ其ノ職務ニ妨ナキ限ハ議員ト相兼ヌルコトヲ得

第十七條 府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三章 選舉人名簿

第十八條 町村長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ其ノ町村内ニ住居ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ選舉

人名簿正副二本ヲ調製シ十月十五日迄ニ郡長ニ送付スヘシ

郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ調査シ其ノ修正スヘキモノハ修正ヲ加ヘ副本ハ十月三十一日迄ニ之ヲ町村長ニ返付スヘシ

市長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ其ノ市内ニ住所ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ十月三十一日迄ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名、官位、職業、身分住所、生年月、納税額及納税地等ヲ記載スヘシ

第十九條 選舉人其ノ住所ヲ有スル市町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ證明ヲ得テ十月五日迄ニ其ノ住所地ノ市町村長ニ届出ツヘシ其ノ期日迄ニ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ納稅ハ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ要件ニ算入セス

第二十條 郡長、市町村長ハ十一月五日ヨリ十五日間其ノ應又ハ地方長官ノ許可ヲ得タル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ縦覽ニ供スヘシ

第二十一條 選舉人選舉人名簿ニ脱漏又ハ誤載アル

コトヲ發見シタルトキハ其ノ理由書及證據ヲ具ヘテ之ヲ郡市長ニ申立ツルコトヲ得

第二十二條 選舉人正當ノ事故ニ因リ第十九條ノ手續ヲ爲スコト能ハスシテ選舉人名簿ニ登録セラレサルトキ亦前條ノ例ニ依ル

第二十三條 縦覽期限ヲ經過シタルトキハ前二條ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第二十四條 郡市長ニ於テ第二十一條第二十二條ノ申立ヲ受ケタルトキハ其ノ理由及證據ヲ審査シ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ決定スヘシ

其ノ申立ヲ正當ナリト決定シタルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ修正シ其ノ由ヲ申立人及關係人ニ通知シ併セテ其ノ要領ヲ告示スヘシ其ノ申立ヲ正當ナラ

スト決定シタルトキハ之ヲ申立人ニ通知スヘシ前項ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ郡長ハ其ノ由ヲ本人住所地ノ町村長ニ通知スヘシ

第二十五條 前條郡市長ノ決定ニ不服アル申立人及關係人ハ郡市長ヲ被告トシ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ地方裁判所ニ出訴スルコトヲ得前項地方裁判所ノ判決ニ對シテハ控訴スルコトヲ

許サス但シ大審院ニ上告スルコトヲ得

第二十六條 町村長ハ十一月二十日ヨリ十二月十日迄ノ間ニ其ノ管理ニ屬スル選舉人名簿ヲ郡長ニ送付スヘシ

前項名簿ノ送付ヲ受ケタル郡長ハ之ヲ調査シ其修正スヘキモノハ修正ヲ加ヘ十二月二十日迄ニ之ヲ町村長ニ返付スヘシ

第二十七條 選舉人名簿ハ十二月二十日ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ次年ノ選舉人名簿確定ノ日迄之ヲ据置クヘシ但シ確定判決ニ依リ修正スヘキモノハ郡市長ニ於テ直ニ之ヲ修正シ其ノ要領ヲ告示スヘシ前項ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ郡長ハ其ノ由ヲ本人住所地ノ町村長ニ通知シ副本ヲ修正セシムヘシ

天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ必要アルトキハ更ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

前項選舉人名簿ノ調製及其ノ期日、縦覽確定ニ關スル期日、期間等ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第四章 選舉、投票及投票所



第二十八條 總選舉ノ期日ハ勅命ヲ以テ之ヲ定メ少クトモ三十日前ニ之ヲ公布ス

第二十九條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ  
投票ハ一人一票ニ限ル

第三十條 投票所ハ市役所、町村役場又ハ地方長官ノ許可ヲ得テ投票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ケ

第三十一條 投票管理者ハ選舉ノ期日ヨリ少クトモ五日前ニ投票所ヲ其ノ投票區内ニ告示スヘシ

第三十二條 郡市長ハ各投票區内ニ於ケル選舉人中ヨリ三名以上五名以下ノ投票立會人ヲ選任シ選舉ノ期日ヨリ少クトモ二日前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉ノ當日投票所ニ參會セシムヘシ

投票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第三十三條 投票所ハ午前七時ニ開キ午後六時ニ閉ツ

第三十四條 選舉人ハ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票簿ニ捺印シ投票スヘシ

ハ投票管理者ハ假ニ投票ヲ爲サシムヘシ

前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムヘシ

第一項ニ掲グル者ニ於テ異議アル町村ノ選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同シ

第四十條 投票所ヲ閉ツヘキ時刻ニ至リタルトキハ投票管理者ハ其ノ由ヲ告ケテ投票所ノ入口ヲ鎖シ投票所ニ在ル選舉人ノ投票結了スルヲ待テ投票函ヲ閉鎖スヘシ

投票閉鎖後ハ投票スルコトヲ得ス

第四十一條 投票管理者ハ投票録ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ投票立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

第四十二條 町村ニ於テハ投票管理者ハ一名又ハ數名ノ立會人ト共ニ投票ノ翌日迄ニ投票函、投票録及選舉人名簿ヲ開票管理者ニ送致スヘシ

第四十三條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニシテ前條ノ期日ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサル情況アルトキハ地方長官ハ適宜ニ其ノ投票ノ期日ヲ定メ開票ノ期日迄ニ其ノ投票函、投票録及選舉人名簿ヲ送致セシムルコトヲ得

投票管理者ハ投票ヲ爲サムトスル選舉人ノ本人ナルヤ否ヲ確認スルコト能ハサルトキハ其ノ本人ナル旨ヲ宣言セシムヘシ其ノ宣言ヲ爲ササル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

第三十五條 投票用紙ハ選舉ノ當日投票所ニ於テ之ヲ選舉人ニ交付スヘシ

第三十六條 選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

第三十七條 選舉人名簿ニ登錄セラレサル者ハ投票スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登錄セラルヘキ確定判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ル者アルトキハ投票管理者ハ之ヲシテ投票セシムヘシ

第三十八條 選舉人名簿ニ登錄セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者亦前項ニ同シ

第三十九條 投票ノ拒否ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票管理者之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ヲ受ケタル町村ノ選舉人不服アルトキ

第四十四條 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ投票管理者ハ選舉長ニ其ノ由ヲ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ選舉長ハ更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ但シ其ノ期日ハ少クトモ五日前ニ投票區内ニ告示セシムヘシ

第四十五條 同一選舉區ニ於テ同時ニ二人以上ノ議員ヲ選舉スルトキハ選舉ノ種類如何ニ拘ラス第二十九條及第三十六條ノ例ニ依ル

第四十六條 何人ト雖選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ陳述スルノ義務ナシ

第五章 投票所取締

第四十七條 投票管理者ハ投票所ノ秩序ヲ保持シ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ請求スルコトヲ得

第四十八條 選舉人、投票所ノ事務ニ從事スル者、投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者及警察官吏ノ外投票所ニ入ルコトヲ得ス

第四十九條 投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧騒ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他



投票所ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ投票管理者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ投票所外ニ退出セシムヘシ

第五十條 前條ニ依リ投票所外ニ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票所閉鎖後ハ此ノ限ニ在ラス

第六章 開票及開票所

第五十一條 開票所ハ郡市役所又ハ地方長官ノ許可ヲ得テ開票管理者ノ指定シタル場合ニ之ヲ設ク

第五十二條 開票管理者ハ豫メ開票所ヲ告示スヘシ

第五十三條 地方長官ハ各開票區内ニ於ケル選舉人中ヨリ三名以上七名以下ノ開票立會人ヲ選任シ開票ニ立會ハシムヘシ但シ市ニ於テハ投票立會人ヲ以テ開票立會人トス

開票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第五十四條 開票管理者ハ郡ニ於テハ投票函ノ總テ到達シタル翌日、市ニ於テハ投票ノ翌日開票立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ

開票管理者ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第六十條 開票管理者ハ開票録ヲ作り開票ニ關スル顛末ヲ記載シ開票立會人ト共ニ署名シ投票録ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第六十一條 投票ノ點檢終リタルトキハ開票管理者ハ直ニ其ノ結果ヲ選舉長ニ報告スヘシ

第六十二條 第四十四條ノ規定ハ但書ヲ除キ開票ニ之ヲ準用ス

第六十三條 開票所ノ取締ニ付テハ第五章ノ規定ヲ準用ス

第六章 選舉會

第六十四條 選舉會ハ選舉長ノ指定シタル場所及日時ニ於テ之ヲ開キ第六十一條ノ報告書ヲ調査ス

選舉ノ一部無効トナリ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テ第六十一條ノ報告ヲ受ケタルトキハ選舉長ハ選舉會ヲ開キ他ノ開票管理者ノ報告書ト共ニ更ニ之ヲ調査スヘシ

第六十五條 選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第六十六條 選舉長ハ各選舉區内ノ選舉人中ヨリ二

第五十五條 前條ノ計算終リタルトキハ開票管理者ハ先ツ第三十九條第二項及第四項ノ投票ヲ調査シ開票立會人ノ意見ヲ聽キ其ノ受理如何ヲ決定スヘシ

開票管理者ハ各投票所ノ投票ヲ混同シ開票立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

第五十六條 選舉人ハ其ノ開票所ニ就キ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條 投票ノ效力ハ開票立會人ノ意見ヲ聽キ開票管理者之ヲ決定スヘシ

第五十八條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ

二 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ

三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ官位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五十九條 投票ハ有效無効ヲ區別シ議員ノ任期間

名以上七名以下ノ選舉立會人ヲ選任シ選舉會開會

ノ期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉會ノ當日選舉會ニ參會セシムヘシ

選舉立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スコトヲ得ス

第六十七條 選舉長ハ選舉録ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ選舉立會人ト共ニ署名シ第六十一條ノ報告書ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第六十八條 選舉人ハ其ノ選舉會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第六十九條 選舉會場ノ取締ニ付テハ第五章ノ規定ヲ準用ス

第八章 當選人

第七十條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其ノ選舉區内ノ議員定數ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ選舉人ニシテ當選證書付與前ニ於テ其ノ當選ヲ辭シ若ハ死亡シタルトキ又ハ當選證書付與ノ前後ヲ問ハス選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレ



タル結果當選無効トナリタルトキ又ハ被選舉權ヲ有セサル爲當選無効トナリタルトキハ前項ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者ノ中ニ就キ得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ス

前項ノ場合ヲ除ク外選舉訴訟又ハ當選訴訟ノ結果ニ依リ必要ナルトキハ本條ノ例ニ依リ更ニ當選人ヲ定ム

第七章ノ規定ハ前二項ノ場合ニ於テモ亦之ヲ適用ス

本條ニ依リ當選人ヲ定ムルニ當リ得票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ抽籤シテ其ノ順位ヲ定ム

第七十一條 當選人定マリタルトキハ選舉長ハ直チニ之ヲ當選人ニ告知スヘシ

第七十二條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ當選ヲ承認スルヤ否ヤ選舉長ニ届出ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ當選ヲ承諾スルコトヲ得ス

第七十三條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ當選承諾ノ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

トス但シ議會開會中ニ任期終ルモ閉會ニ至ル迄在任ス

第七十八條 選舉ノ日ヨリ一箇年以内ニ議員ノ關員ヲ生シタルトキハ第七十條ノ例ニ依ル

前項ノ場合ニ於テ當選人ナキトキ又ハ選舉ノ日ヨリ一箇年以後ニ議員ノ關員ヲ生シタルトキハ地方

長官ハ内務大臣ノ命ニ依リ其ノ命ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

前項ノ補闕選舉ノ期日ハ地方長官豫メ之ヲ告示スヘシ

第七十九條 補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十章 選舉訴訟及當選訴訟

第八十條 選舉ノ效力ニ關シ異議アル選舉人ハ選舉長ヲ被告トシ選舉ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得

前項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大審院ニ上告スルコトヲ得

第八十一條 選舉ノ規定ニ違背スルコトアルトキハ當選ノ結果ニ異動ヲ及ホスノ虞アル場合ニ限り裁

第七十四條 當選人ナキトキハ地方長官ハ選舉ノ期日ヲ定メ豫メ之ヲ告示シ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ

當選人議員ノ定數ニ達セサルトキハ地方長官ハ前項ノ例ニ依リ其ノ不足ノ員數ニ對シ選舉ヲ行ハシムヘシ

第七十條第二項及第三項ノ場合ニ於テ當選人ナキトキ亦前二項ニ同シ

第八十條及第八十二條ノ出訴期間ハ本條ノ選舉ヲ行フコトヲ得ス其ノ出訴アリタルトキ裁判確定スルニ至ル迄ノ間亦同シ

第七十五條 當選人當選ヲ承諾シタルトキハ地方長官ハ直ニ當選證書ヲ付與シ其ノ氏名ヲ管内ニ告示シ且之ヲ内務大臣ニ報告スヘシ

第七十六條 選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ判決ニ依リ選舉者ハ當選無効トナリタルトキ又ハ當選證書ヲ付與シタル後選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタルトキハ地方長官ハ其ノ當選證書ヲ取消シ之ヲ管内ニ告示スヘシ

第九章 議員ノ任期及補闕選舉

第七十七條 議員ノ任期ハ總選舉ノ期日ヨリ四箇年

判所ハ其ノ選舉ノ全部若ハ一部ノ無効ヲ判決スヘシ

當選訴訟ニ於テモ其ノ選舉前項ノ場合ニ該當スルトキハ裁判所ハ其ノ全部若ハ一部ノ無効ヲ判決スヘシ

第八十三條 當選ヲ失ヒタル者當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ當選人ヲ被告トシ第七十五條ノ氏名告示ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得但シ第七十條第一項但書ニ定メタル得票ニ達シタリトノ理由ニ由リ出訴スル場合ニ於テハ選舉長ヲ被告トシ第七十四條ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ出訴スヘシ

前項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大審院ニ上告スルコトヲ得

第八十三條 裁判所ハ選舉訴訟若ハ當選訴訟ヲ裁判スルニ當リ檢事ヲシテ口頭辯論ニ立會ハシムヘシ

第八十四條 裁判所ニ於テ選舉訴訟若ハ當選訴訟ヲ判決シタルトキハ其ノ判決書ノ謄本ヲ内務大臣ニ送付スヘシ若帝國議會開會中ナルトキハ併せて之ヲ衆議院議長ニ送付スヘシ



第八十五條 原告人ハ訴狀ヲ提出スルト同時ニ保證金トシテ三百圓又ハ之ニ相當スル額面ノ公債證書ヲ供託スヘシ

原告人敗訴ノ場合ニ於テ裁判確定ノ日ヨリ七日以内ニ裁判費用ヲ完納セサルトキハ保證金ヲ以テ之ニ充當シ仍足ラサルトキハ之ヲ追徴ス

第十一章 罰則

第八十六條 詐偽ノ方法ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者又ハ第三十四條第二項ノ場合ニ於テ虛偽ノ宣告ヲ爲シタル者ハ十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十七條 選舉ノ前後ヲ問ハス左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ一月以上一年以下ノ【輕禁錮】ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢、物品、手形其ノ他ノ利益若ハ公私ノ職務ヲ選舉人又ハ選舉運動者ニ供與シ又ハ供與セムコトヲ申込ミタル者又ハ供與若ハ申込ヲ承諾セムコトヲ周旋勸誘シタル者並供與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

三 選舉ニ關シ選舉人又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權其ノ他ノ利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ威逼シタル者

第八十九條 選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人及監視者選舉人ヲ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示シタル者ハ二月以上二年以下ノ【輕禁錮】ニ處シ【五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス】其ノ表示シタル事實虛偽ナルトキ亦同シ

第九十條 投票所又ハ開票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉人ノ投票ニ關涉シ又ハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者ハ一月以上一年以下ノ【輕禁錮】ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

法令ノ規定ニ依ラスシテ投票函ヲ開キ又ハ投票函中ノ投票ヲ取出シタル者ノ罰亦前項ニ同シ

第九十一條 投票管理者、開票管理者、選舉長、立會人若ハ選舉監視者ニ暴行ヲ加ヘ又ハ選舉會場、開票所若ハ投票所ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取シタル者ハ四月以上四年以下ノ【輕禁錮】ニ處ス

二 選舉ニ關シ酒食、遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ饗應接待シ又ハ饗應接待ヲ受ケタル者又ハ選舉會場、開票所若ハ投票所ニ往復スル爲船車馬ノ類ヲ供給シ及其ノ供給ヲ受ケタル者又ハ旅費若ハ休泊料ノ類ヲ代辨シ及其ノ代辨ヲ受ケタル者並此等ノ約束ヲ爲シ又ハ約束ヲ受ケタル者

三 選舉ニ關シ選舉人又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル者及其ノ誘導ニ應シタル者前項ノ場合ニ於テ其ノ收受シタル物件ハ之ヲ沒收シ既ニ費用シタルモノハ其ノ價ヲ追徴ス

第八十八條 左ノ各號ニ該當スル者ハ二月以上二年以下ノ【輕禁錮】ニ處シ【五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス】

一 選舉ニ關シ選舉人ニ暴行脅迫ヲ加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者  
二 選舉人ニ對シ往來ノ便ヲ妨ケ又ハ詐偽ノ手段ヲ以テ選舉權ノ行使ヲ妨害シ若ハ投票ヲ爲サシメタル者

多衆ヲ嘯聚シテ前項ノ罪ヲ犯シタル者ハ【輕禁錮】ニ處ス其ノ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ一月以上五年以下ノ【輕禁錮】ニ處ス

第九十二條 選舉人、議員候補者若ハ選舉運動者ヲ脅迫シ又ハ選舉會場、開票所、投票所ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者ハ六月以上三年以下ノ【輕禁錮】ニ處ス其ノ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ十五日以上三月以下ノ【輕禁錮】ニ處ス

犯罪者第九十三條ノ物件ヲ携帶シタルトキハ各本刑ニ一等ヲ加フ

第九十三條 選舉人、議員候補者及選舉運動者ニシテ選舉ニ關シ銃砲、槍戟、刀劍、竹槍、棍棒其ノ他人ヲ殺傷スルニ足ルヘキ物件ヲ携帶シタル者ハ二年以下ノ【輕禁錮】又ハ五圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

警察官吏又ハ憲兵ハ必要ト認ムル場合ニ於テ前項ノ物件ヲ領置スルコトヲ得

第九十四條 前條記載ノ物件ヲ携帶シテ選舉會場、



開票所若ハ投票所ニ入りタル者ハ前條ノ例ニ依リ一等ヲ加フ

第九十五條 選舉ニ關シ氣勢ヲ張ルノ目的ヲ以テ多衆集合シ若ハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ煙火、篝火、松明ノ類ヲ用キ若ハ鐘鼓、法螺、喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其ノ他ノ標章ヲ用ウル等ノ所爲ヲ爲シ警察官吏ノ制止ヲ受クルモ仍其ノ命ニ從ハサル者ハ十五日以上六月以下ノ【輕禁錮】ニ處シ又ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十六條 第八十九條乃至第九十五條ノ所爲ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他ノ何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス人ヲ教唆シタル者ハ其ノ各條ニ依リ處斷ス但シ新聞紙、雜誌ニ在リテハ仍其ノ署名シタル編輯人ヲ處斷ス

第九十七條 當選ヲ妨グルノ目的ヲ以テ演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス議員候補者ニ關シ虛偽ノ事項ヲ公ニシタル者ハ六月以下ノ【輕禁錮】ニ處シ【五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス】新聞紙、雜誌ニ在リテハ前條

第四百四條 選舉ニ關スル費用ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四百五條 選舉ニ關スル訴訟ニ付テハ裁判所ハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ラス速ニ其ノ裁判ヲ爲スヘシ

第四百六條 町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法ニ規定シタル町村長ノ職務ハ戶長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ掌ル

島司ヲ置ケル島嶼ニ於テハ本法ニ規定シタル郡長ノ職務ハ島司之ヲ掌リ其ノ島司ナキトキニ於テハ郡長ニ準スヘキ者之ヲ掌ル

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ本法中市トアルハ區、市長トアルハ區長、市役所トアルハ區役所ニ該當ス

第四百七條 立會人指定ノ時刻ニ至リ參會セサルトキ又ハ參會シタルモ中途ヨリ定數ヲ缺キタルトキハ投票管理者、開票管理者、選舉長ハ臨時ニ選舉人ノ中ヨリ立會人ヲ選任スヘシ

第四百八條 選舉人名簿ニ關スル訴訟、選舉訴訟及當選訴訟ニ付テハ本法ニ規定シタルモノヲ除クノ外總テ民事訴訟ノ例ニ依ル

但書ノ例ニ依ル

第九十八條 選舉人タルコトヲ得サル者ニシテ投票ヲ爲シタル者及氏名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シタル者ハ一月以上二年以下ノ【輕禁錮】ニ處シ【十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス】

第九十九條 立會人正當ノ事故ナクシテ本法ニ定メタル義務ヲ缺クトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百條 第九十二條第二項第九十三條及第九十四條ノ罪ヲ犯シタル場合ニ於テハ其ノ携帶シタル物件ヲ沒收ス

第一百一條 當選人其ノ選舉ニ關シ選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第一百二條 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタル者ハ裁判所ノ宣告ヲ以テ刑期後仍二年以上八年以下選舉人及被選舉人タルコトヲ禁ス

第一百三條 本法ニ依リ處罰スヘキ犯罪ハ六箇月ヲ以テ時効ニ罹ル

第十二章 補則

第九十九條 本法ニ於ケル直接國稅ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百條 北海道及沖繩縣ニ於テ本法ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第十三章 附則

第一百一條 本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス但シ北海道札幌區、函館區、小樽區ヲ除ク、沖繩縣ニ付テハ勅令ヲ以テ別ニ施行ノ期日ヲ定ム

第一百二條 本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ付必要ナル選舉人名簿ノ調製ニ限リ第十八條乃至第二十條第二十四條第二十六條第二十七條ノ期日及期間ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得但シ其ノ選舉人名簿ハ次年ノ選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

(別表)

東京府	十一人
東京市	五人
郡	
部伊豆七島トモ	
京都府	



京都市	三
郡	五
大阪府	六
大阪市	六
堺市	一
郡	六
神奈川縣	二
橫濱市	六
郡	二
兵庫縣	二
神戸市	二
姫路市	一
郡	一
長崎縣	一
長崎市	一
郡	一
對馬	一
新潟縣	一
新潟市	一
郡	一
愛知縣	二
名古屋	一
郡	一
靜岡縣	一
靜岡市	一
郡	一
山梨縣	一
甲府市	一
郡	一
滋賀縣	一
滋賀市	一
郡	一
岐阜縣	一
岐阜市	一
郡	一
長野縣	一
長野市	一
郡	一
宮城縣	一
仙台市	一

佐渡	一
埼玉縣	五
群馬縣	一
前橋市	一
高崎市	一
郡	一
千葉縣	一
茨城縣	一
水戸市	一
郡	一
栃木縣	一
宇都宮市	一
郡	一
奈良縣	一
奈良市	一
郡	一
三重縣	一
津市	一
四日市市	一
郡	一
福島縣	一
若松市	一
郡	一
巖手縣	一
盛岡市	一
郡	一
青森縣	一
弘前市	一
青森市	一
郡	一
山形縣	一
山形市	一
米澤市	一
郡	一
秋田縣	一
秋田市	一
郡	一
福井縣	一
福井市	一

福島縣	六
若松市	一
郡	一
巖手縣	一
盛岡市	一
郡	一
青森縣	一
弘前市	一
青森市	一
郡	一
山形縣	一
山形市	一
米澤市	一
郡	一
秋田縣	一
秋田市	一
郡	一
福井縣	一
福井市	一

津市	一
四日市市	一
郡	一
福島縣	一
若松市	一
郡	一
巖手縣	一
盛岡市	一
郡	一
青森縣	一
弘前市	一
青森市	一
郡	一
山形縣	一
山形市	一
米澤市	一
郡	一
秋田縣	一
秋田市	一
郡	一
福井縣	一
福井市	一



石川縣	郡部	四人
金澤市	郡部	五人
富山縣	富山市	一人
高岡市	郡部	一人
鳥取縣	鳥取市	五人
島根縣	郡部	三人
松江市	郡部	一人
隱岐	郡部	五人
岡山縣	岡山市	一人
廣島縣	郡部	八人
廣島市	廣島市	一人

尾道市	郡部	十一人
山口縣	赤間關市	一人
和歌山縣	和歌山市	七人
德島縣	郡部	一人
德島市	郡部	五人
香川縣	高松市	一人
高松市	郡部	一人
愛媛縣	郡部	五人
松山市	郡部	一人
高知縣	高知市	七人
高知市	高知市	一人

福岡縣	福岡市	五人
久留米市	門司市	一人
小倉市	郡部	一人
大分縣	佐賀縣	六人
佐賀市	郡部	一人
熊本縣	熊本市	五人
宮崎縣	郡部	八人
鹿兒島縣	鹿兒島市	一人
鹿兒島市	郡部	一人
北海道廳	大島	七人

札幌區 一人  
 函館區 一人  
 小樽區 一人  
 札幌、小樽、岩内、増毛、宗谷、上川、空知、室蘭、浦河各支廳管内 一人  
 函館、松前、檜山、壽都、各支廳管内 一人  
 根室、釧路、河西、網走、各支廳管内 一人  
 (根室支廳管内千島ニ屬スル諸郡ヲ除ク)  
 沖繩縣 二人  
 那覇區 一人  
 首里區 一人  
 島尻郡 一人  
 中頭郡 一人  
 國頭郡 一人  
 本表ハ選舉區ノ人口ニ増減ヲ生スルモ少クトモ十箇年間ハ之ヲ更正セス、  
 ●衆議院議員選舉法施行令  
 明治三十四年一〇月勅令第一八六號  
 改正 四四年第一三五號  
 朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法施行令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ



シム  
明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法施行

令

第一條 衆議院議員選舉法第二條ニ依リ市町村ニ於テ二箇月以上ノ投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設ケルコトヲ要スルトキハ地方長官之ヲ定メ管内ニ告示スヘシ

第二條 二箇以上ノ投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ノ規定ニ依ル

- 一 選舉人名簿ハ每投票區各別ニ之ヲ調製スヘシ
- 二 各投票區ニ於ケル投票管理者ハ市ニ在リテハ地方長官、町村ニ在リテハ郡長ニ於テ官吏又ハ吏員ノ中ニ就キ之ヲ指名ス此ノ場合ニ於テハ投票管理者ノ内一名ハ市町村長、市町村長ハ投票管理者ノ内一名ハ其ノ職務ヲ行フ者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
- 三 市町村長ハ選舉前選舉人名簿ヲ各投票管理者ニ送付スヘシ
- 四 投票ヲ終リタルトキハ市ノ投票管理者ハ一名又ハ數名ノ投票立會人ト共ニ遲滯ナク投票函

投票録及選舉人名簿ヲ開票管理者ニ送致スヘシ

五 市ノ開票所ニ於テハ投票函ノ總テ到達スルニ非サレハ之ヲ開クコトヲ得ス

第三條 數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ノ規定ニ依ル

- 一 投票管理者ハ郡長ニ於テ關係町村長、町村長故障アルトキハ其ノ職務ヲ行フ者ノ中ニ就キ之ヲ指名ス
- 二 町村長ハ選舉前選舉人名簿ヲ投票管理者ニ送付スヘシ
- 第四條 選舉人ノ年齢ハ選舉人名簿調製ノ期日ニ依リ被選舉人ノ年齢ハ選舉ノ期日ニ依リ之ヲ算定ス
- 第五條 郡市町村ノ境界變更アリタル爲選舉人名簿ニ異動ヲ生シタルトキハ郡市長ニ在リテハ其ノ管理ニ屬スル選舉人名簿中異動ニ係ル部分ヲ新ニ屬シタル郡市ノ郡市長ニ送付シ町村長ニ在リテハ其ノ管理ニ屬スル選舉人名簿中異動ニ係ル部分ヲ新ニ屬シタル町村ノ町村長ニ送付シ同時ニ其ノ旨ヲ郡長ニ報告スヘシ

トヲ得

第十一條 投票記載ノ場所ハ選舉人ヲシテ他ノ選舉人ノ投票ヲ視ヒ又ハ投票ノ交換其ノ不正ノ手段ヲ用ウルコト能ハサラシムル爲相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第十二條 投票函ハ二重ノ蓋ヲ造リ各別ニ鎖鑰ヲ設ケヘシ

第十三條 投票管理者ハ投票ヲ爲サシムルニ先チ投票所ニ參集シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後内蓋ヲ鎖スヘシ

第十四條 投票用紙ハ投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ選舉人ヲシテ其ノ住所氏名ヲ自稱セシメ選舉人名簿ニ對照シ且ツ投票簿ニ捺印セシメタル後之ヲ交付スヘシ

第十五條 選舉人誤テ投票ノ用紙又ハ封筒ヲ汚損シタルトキハ其ノ引換ヲ請求スルコトヲ得

第十六條 投票ハ投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ選舉人自ラ之ヲ投函スヘシ

第十七條 投票ヲ爲サシムル選舉人ヲシテ本人ナル旨ノ宣言ヲ爲サシムル必要アル時ハ投票管理者

町村長ニ於テ選舉人名簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ郡長ニ報告スヘシ

市町村ノ廢置分合アリタル爲選舉人名簿ノ引繼ヲ要スルトキハ本條ノ例ニ依ル

第六條 前條ニ依リ郡長ニ於テ市長ヨリ選舉人名簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ副本ヲ調製シ關係町村長ニ送付スヘシ

第七條 選舉人名簿縦覽ノ場所ハ郡長及市町村長ニ於テ縦覽期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ告示スヘシ

第八條 選舉人名簿其ノ他選舉ニ關スル書類ハ使用ノ時期ヲ經過スルモ選舉若ハ當選ノ效力確定セサル間ハ之ヲ保存スルコトヲ要ス

市町村ニ於テ二箇以上ノ投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ投票管理者ノ保存スヘキ書類ハ市町村長ニ於テ前項ノ例ニ依リ之ヲ保存スルコトヲ要ス

第九條 郡市長ニ於テ投票立會人ヲ選任シタルトキハ同時ニ其ノ住所氏名ヲ投票管理者ニ通知スヘシ

第十條 投票管理者ニ於テ必要アリト認ムルトキハ投票所入場券及到着番號札ヲ選舉人ニ交付スルコ



ハ投票立會人ノ面前ニ於テ之ヲ宣言セシメ投票所ノ事務ニ從事スル者ヲシテ之ヲ筆記セシメ選舉人ニ讀聞カセ選舉人ヲシテ之ニ署名捺印セシムヘシ  
前項ノ宣言書ハ之ヲ投票簿ニ添附スヘシ

第十八條 選舉人ニシテ投票前投票所外ニ退出シ又ハ退出ヲ命セラレタルトキハ投票管理者ハ投票用紙ヲ取上ケ其ノ旨ヲ投票簿ニ記入スヘシ

第十九條 投票所外ニ退出セシメラレタル選舉人ニシテ投票ヲ爲サルトスル者アルトキハ投票管理者ハ投票所ノ入口ヲ鎖スニ先チ入場ヲ許スヘシ

第二十條 投票ヲ終リタルトキハ投票管理者ハ投票函ノ内蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シ其ノ内蓋ノ鑰ハ投票函ヲ送致スヘキ投票立會人之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ投票管理者之ヲ保管スヘシ

第二十一條 衆議院議員選舉法第四十四條ニ依リ選舉長ニ於テ更ニ投票期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ郡市長ニ通知スヘシ

郡市長ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ更ニ衆議院議員選舉法第三十二條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十二條 地方長官ニ於テ開票立會人ヲ選任シタ

第二十七條 選舉長ニ於テ開票管理者ノ報告書ヲ調査スルトキハ毎開票區得票者ノ氏名及其ノ得票數ヲ朗讀シ終ニ各得票者ノ得票總數ヲ朗讀スヘシ

第二十八條 衆議院議員選舉法第六十二條ニ依リ選舉長ニ於テ開票期日ヲ定メタルトキハ地方長官ハ更ニ同法第五十三條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十九條 選舉人名簿、投票簿、投票ノ用紙及封筒並投票函ノ調製ニ要スル費用ハ府縣費及北海道地方費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第三十條 選舉長、開票管理者又ハ投票管理者ニ於テ選舉事務ノ爲要スル費用及選舉會場開票所又ハ投票所ニ要スル費用ハ當該行政廳ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第三十一條 數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ町村費ヲ以テ支辨スヘキ費用ハ之ヲ各町村ニ平分スヘシ

第三十二條 投票立會人、開票立會人及選舉立會人ニハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ職務ノ爲要スル費用ヲ給スルコトヲ得

前項ノ費用ハ府縣費及北海道地方費ヲ以テ之ヲ支

ルトキハ同時ニ其ノ住所氏名ヲ開票管理者ニ通知スヘシ

第二十三條 投票ヲ點檢スルトキハ開票管理者又ハ選舉事務ニ從事スル者ニ於テ毎票記載ノ氏名ヲ朗讀シ選舉事務ニ從事スル者ニ名ヲシテ各別ニ同一被選舉人ノ得票ヲ點檢簿ニ記入セシムヘシ

第二十四條 投票ノ點檢ヲ終リタルトキハ開票管理者ハ各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀スヘシ

第二十五條 開票管理者ハ點檢簿ニ係ル投票ノ有效無效ヲ區別シ開票立會人ト共ニ封印ノ上之ヲ保存スヘシ

不受理ノ決定アリタル投票ハ其ノ封筒ト共ニ前項ノ例ニ依リ之ヲ保存スヘシ

第二十六條 開票管理者衆議院議員選舉法第六十一條ノ報告ヲ爲ストキハ開票簿ノ謄本ヲ添附シ併セテ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ報告スヘシ

前項ノ報告ヲ成シタルトキハ開票管理者ハ各投票管理者ヨリ送付シタル選舉人名簿ヲ關係町村長ニ返付スヘシ

辨スヘシ

第三十三條 衆議院議員選舉法ニ於ケル直接國稅ノ種類左ノ如シ

- 一 地租
- 二 所得稅 所得稅法第三條第一項第二種ノ所得中無記名債券ノ所得ニ係ル所得稅ヲ除ク
- 三 營業稅
- 四 賣藥營業稅

第三十四條 衆議院議員選舉法第一條ノ別表ニ於テ獨立ノ選舉區ト爲シタルモノヲ除クノ外市ハ從前屬シタル選舉區ニ包含スルモノトス

第三十五條 郡市ノ區域ニ屬セサル島嶼ニ於テハ開票區ハ島ノ區域ニ依ル

第三十六條 開票管理者、投票管理者及其ノ代理者故障アルトキハ上級官廳ハ臨時ニ官吏又ハ吏員ヲシテ其ノ事務ヲ管掌セシムルコトヲ得

第三十七條 衆議院議員選舉法第三條及第六六條ノ規定ハ本令ニ之ヲ準用ス

第三十八條 北海道ノ札幌區、函館區及小樽區ニ於テハ衆議院議員選舉法其ノ他之ニ關スル法令中市トアルハ區、市長トアルハ區長、市役所トアルハ區



第一類 憲法、議會  
第五章 衆議院議員選舉法  
役所ニ該當ス

# 第一類 地方制度



## 第二類 地方制度

### 第一章 府縣制

府縣制中改正施行期日……………一

### 第二章 郡制

府縣會議員選舉投票方……………二五

### 第三章 市制町村制

郡會議員選舉方……………二六

市制……………四六

町村制……………四七

市制及町村制施行期日ノ件……………八四

市制町村制ノ施行ニ關スル件……………一八

市町村會議員選舉罰則……………一八

市町村吏員ノ賠償責任及身元保證ニ關スル件……………二五

市町村吏員服務紀律……………二六

市町村財務規程……………二七

市町村吏員事務引繼ニ關スル件……………一三〇

府縣稅徵收ニ關スル件……………一三一

府縣稅家屋稅賦課ニ關スル件……………一三五

## 第二類 地方制度

### 第一章 府縣制

明治三十二年三月法律第六四號

改正 四一年第二號、大正三年第三號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル府縣制改正法律ヲ裁可シ  
茲ニ之ヲ公布セシム  
府縣制

#### 第一章 總則

#### 第二章 府縣會

##### 第一款 組織及選舉

##### 第二款 職務權限及處務規程

#### 第三章 府縣參事會

##### 第一款 組織及選舉

##### 第二款 職務權限及處務規程

#### 第四章 府縣行政

##### 第一款 府縣吏員ノ組織及任免

##### 第二款 府縣官吏府縣吏員ノ職務權限及處務規程

規程

第二類 地方制度 第一章 府縣制

#### 第三款 給料及給與

#### 第五章 府縣ノ財務

#### 第五章ノ二 府縣組合

##### 第一款 財產營造物及府縣稅

##### 第二款 歲入出豫算及決算

#### 第六章 府縣行政ノ監督

#### 第七章 附則

#### 府縣制

#### 第一章 總則

第一條 府縣ハ從來ノ區域ニ依リ郡市及島嶼ヲ包括ス

第二條 府縣ハ法人トシ官ノ監督ヲ承ケ法律命令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務並從來法律命令又ハ慣例ニ依リ及將來法律勅令ニ依リ府縣ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 府縣ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ要スルトキハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

府縣ノ境界ニ涉リテ郡市町村境界ノ變更アリタルトキハ府縣ノ境界モ亦自ラ變更ス所屬未定地ヲ市町村ノ區域ニ編入シタルトキ亦同シ



本條ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ內務大臣ハ關係アル府縣郡市參事會及町村會ノ意見ヲ徵シテ之ヲ定ム但シ特ニ法律ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二章 府縣會

第一款 組織及選舉

第四條 府縣會議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス選舉區ハ郡市ノ區域ニ依ル但シ東京市京都市大阪府其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル中ニ於テハ區ノ區域ニ依ル

第五條 府縣會議員ハ府縣ノ人口七十萬未滿ハ議員三十人ヲ以テ定員トシ七十萬以上百萬未滿ハ五萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増ス

各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ數ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

議員ノ配當ニ關シ必要ナル事項ハ內務大臣之ヲ定ム  
議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス

二 檢事警察官吏及收稅官吏

三 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師

四 小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

選舉事務ニ關係アル官吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

府縣ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員重役及支配人ハ其ノ府縣ニ於テ被選舉權ヲ有セス

府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第七條 府縣會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第八條 府縣會議員中副員アルトキハ三箇月以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス  
補闕議員ヲ除ク外本條第一項ニ依リ選舉セラレタル議員ハ次ノ改選期マテ在任ス

第九條 町村長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ

第六條 府縣内ノ市町村公民ニシテ市町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ選舉權ヲ有ス

府縣内ノ市町村公民ニシテ市町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額十圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有ス

家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ハ其ノ財產ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス

府縣會議員ハ住所ヲ移シタル爲市町村ノ公民權ヲ失フコトアルモ其ノ住所同府縣内ニ在ルトキハ之カ爲其ノ職ヲ失フコトナシ

府縣會議員ノ選舉權及被選舉權ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ府縣郡市町村ノ廢置分合若ハ境界變更ノ爲中斷セララルコトナシ

左ニ掲グル者ハ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ  
一 其ノ府縣ノ官吏及有給吏員

現在ニ依リ其ノ町村内ノ選舉人名簿二本ヲ調製シ其ノ一本ヲ十月一日マテニ郡長ニ送付スヘシ

郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ合シ毎年十月十五日マテニ其ノ選舉區ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第十條 市長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ十月十五日マテニ其ノ選舉區ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第十一條 選舉人其ノ住所ヲ有スル市町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ九月十五日マテニ當該政廳ノ證明ヲ得テ其ノ住所地ノ市町村長ニ届出ツヘシ其ノ期間内ニ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ納稅ハ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ要件ニ算入セス

第十二條 郡市長ハ十月二十日ヨリ十五日間其ノ郡市役所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキ又ハ正當ノ事故ニ係リ前條ノ手續ヲ爲スコト能ハスシテ名簿ニ登錄セラレサルトキハ縱覽期限内ニ之ヲ郡市長ニ申立ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郡市長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定スヘシ



前項郡市長 決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡市長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

選舉人名簿ハ十二月十五日ヲ以テ確定期限トシ確定名簿ハ次年ノ十二月十四日マテ之ヲ据置クヘシ府縣參事會ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ郡市長ニ於テ直ニ之ヲ修正スヘシ

本條ニ依リ郡市長ニ於テ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ告示シ郡長ハ本人住所地ノ町村長ニ通知シ町村長ハ之ヲ告示スヘシ

確定名簿ニ登錄セラレタル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ確定裁決書若ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

第十五條 投票區ハ市町村ノ區域ニ依ル

特別ノ事情アル市町村ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ二箇以上ノ投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設ケルコトヲ得投票所ハ市役所町村役場又ハ市町村長ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ケ市町村長其ノ事務ヲ管理ス

投票所ハ市町村長ニ於テ選舉ノ日ヨリ少クトモ五日前ニ之ヲ告示スヘシ

第二項ノ場合ニ於テ投票ニ關シ本法ヲ適用シ難キトキハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第十六條 市町村長ハ臨時ニ其ノ管理スル投票區域内ニ於ケル選舉人中ヨリ投票立會人二名乃至四名ヲ選任スヘシ

投票立會人ハ名譽職トス

第十七條 選舉人ニ非サル者ハ投票所ニ入ルコトヲ得ス但シ投票所ノ事務ニ從事スル者投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他投票所ノ秩序ヲ

異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿無効トナリタルトキハ九月十五日ノ現在ニ依リ更ニ名簿ヲ調製スヘシ但シ名簿調製ノ期日マテニ選舉權ヲ失ヒタル者ハ名簿ニ登錄スル限ニ在ラス

天災事變等ノ爲メ必要アルトキハ更ニ選舉人名簿ヲ調製シ又ハ之ヲ縱覽ニ供スヘシ

前二項ノ名簿調製ノ期日縱覽修正及確定ニ關スル期限等ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル

府縣郡市町村ノ廢置分合境界變更ノ場合ニ於ケル名簿ノ分合ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 府縣會議員ノ選舉ハ府縣知事ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニハ選舉ヲ行フヘキ選舉區投票ヲ行フヘキ日時及選舉スヘキ議員ノ員數ヲ記載シ選舉ノ日ヨリ少クトモ二十日前ニ之ヲ發スヘシ天災事變等ノ爲メ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ府縣知事ハ當該選舉區又ハ投票區ニ付投票ヲ行フヘキ日時ヲ定メ少クトモ七日前ニ之ヲ告示スヘシ

第十四條 府縣會議員ノ選舉ハ郡市長之ヲ管理ス

棄ス者アルトキハ投票管理者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ投票所外ニ退出セシムヘシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票管理者投票所ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第十八條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ投票所ニ至リ選舉人名簿ノ對照ヲ經又ハ確定裁決書若ハ判決書ヲ提示シテ投票ヲ爲スヘシ

投票時間内ニ投票所ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過グルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名 氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

投票用紙ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ行フヘシ



選舉人名簿調製ノ後選舉人其ノ投票區域外ニ住所ヲ移シタル場合ニ於テ仍選舉權ヲ有スルトキハ前住所地ノ投票所ニ於テ投票ヲ爲スヘシ  
第三十二條 第一項若ハ第三十六條ノ選舉又ハ補缺選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第十九條 投票ノ拒否ハ投票立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ市町村長之ヲ決スヘシ

第二十條 市町村長ハ投票錄ヲ製シ投票ニ關スル顛末ヲ記載シ投票立會人ト共ニ署名スヘシ

第二十一條 投票ヲ終リタルトキハ町村長ハ其ノ指定シタル投票立會人ト共ニ直ニ投票函及投票錄ヲ選舉會場ニ送致スヘシ

第二十二條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニ對シテハ府縣知事ハ適宜ニ其ノ投票期日ヲ定メ選舉會ノ期日マテニ其ノ投票函ヲ送致セシムルコトヲ得

第二十三條 選舉會ハ郡役所市役所又ハ郡市長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ開クヘシ

前項選舉會ノ場所ハ郡市長豫メ之ヲ告示スヘシ  
第二十四條 郡長ハ各投票所ヨリ參會シタル投票立

會人ノ中ヨリ抽籤ヲ以テ選舉立會人二名乃至六名ヲ定ムヘシ  
市長ハ選舉人中ヨリ選舉立會人二名乃至六名ヲ選任スヘシ

選舉立會人ハ名譽職トス

第二十五條 郡市長ハ選舉長ト爲リ郡ニ於テハ投票函ノ總テ到達シタル翌日市ニ於テハ投票ノ翌日選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ若投票ト投票人トノ總數ニ差異ヲ生シタルトキハ其ノ由ヲ選舉錄ニ記載スヘシ但シ場合ニ依リ選舉會ハ郡ニ於テハ投票函到達ノ日市ニ於テハ投票ノ日之ヲ開クコトヲ得

前項ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

第二十六條 選舉人ハ其ノ選舉會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第二十七條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ
- 二 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ

三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ  
但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 現ニ府縣會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

第二十八條 投票ノ效力ハ選舉立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

第二十九條 府縣會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ其ノ選舉區ニ配當セラレタル議員定數ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第三十條 選舉長ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二名以上ト共ニ之ヲ署名シ投票選舉人名簿其ノ他關係

書類ト共ニ選舉及當選ノ效力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ

第三十一條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ選舉錄ノ寫ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

當選者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ府縣知事ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキカヲ府縣知事ニ申立ツヘシ

前二項ノ申立ヲ其ノ期限内ニ爲ササルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第六條第七項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本條ニ定ムル期間ヲ二十日以内トス

第三十二條 府縣會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

二人以上投票同數ニシテ年長ニ由テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ年少ニ由テ當選セサリシ者ヲ以テ當選トス但シ年少ニ由テ當選セサリシ者二人以上アルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキト



キハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ爲當選セザリシ者ヲ以テ當選トス但シ抽籤ノ爲當選セザリシ者二人以上アルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

第三十三條 當選者其ノ當選ヲ承認シタルトキハ府縣知事ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及其ノ住所氏名ヲ告示スヘシ

第三十四條 選舉人選舉若ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ前條告示ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ府縣知事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ府縣知事ニ於テ選舉若ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第一項申立ノ育無ニ拘ラス選舉ニ關シテハ第三十一條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ當選ニ關シテハ同條第二項又ハ第三項ノ申立アリタル日ヨリ三十日以内ニ府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テハ府縣參事會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事郡市長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十五條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス當選者ニシテ被選舉權ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第三十六條 選舉若ハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ得票數ノ査定ニ錯誤アリタル爲又ハ選舉ノ際被選舉權ヲ有セサル爲當選無効ト確定シタルトキハ第二十九條及第三十一條ノ例ニ依ル

議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ル能ハサルトキハ其不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十九條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

第三十七條 府縣會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル

者ハ其職ヲ失フ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ヲ除ク外其被選舉權ノ有無ニ關スル異議ハ府縣參事會之ヲ決定ス

府縣會ニ於テ其ノ議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ府縣知事ニ通知スヘシ但シ議員ハ自己ノ資格ニ關スル會議ニ於テ辯明スルコトヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

府縣知事ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ府縣知事ニ於テ被選舉權ヲ有セル者アリト認ムルトキ亦同シ

第三十四條第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

府縣會議員ハ其ノ被選舉權ヲ有セストスル決定確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ列席シ及發言スルノ權ヲ失ハス

第三十八條 本款ニ規定スル異議ノ決定及訴願ノ裁

決ハ其決定書若ハ裁決書ヲ交付シタルトキ直ニ之ヲ告示スヘシ

第三十九條 第四條第二項但書ノ市ニ於テハ市長トアルハ區長又市トアルハ區、市役所トアルハ區役所ト看做シ本款ノ規定ヲ準用ス

町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村其ノ組合ノ管理者ハ之ヲ町村長ト看做シ本款ノ規定ヲ準用ス

第四十條 府縣會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第二款 職務權限及處務規程

第四十一條 府縣會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

- 一 歳入出豫算ヲ定ムル事
- 二 決算報告ニ關スル事
- 三 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手数料府縣稅及夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事
- 四 不動産ノ處分並買受讓受ニ關スル事
- 五 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
- 六 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事



七 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス  
八 其ノ他法律命令ニ依リ府縣會ノ權限ニ屬スル事項

第四十二條 府縣會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ府縣參事會ニ委任スルコトヲ得

第四十三條 府縣會ハ法律命令ニ依リ選舉ヲ行フヘシ

第四十四條 府縣會ハ府縣ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ府縣知事若ハ内務大臣ニ提出スルコトヲ得

第四十五條 府縣會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

府縣會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ府縣會召集ニ應セス若ハ成立セス又ハ意見ヲ提出セサルトキハ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十六條 府縣會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委囑ヲ受クヘカラス

第四十七條 府縣會ハ議員中ヨリ議長副議長各一名

第五十一條 府縣會ハ府縣知事之ヲ召集ス

召集ハ開會ノ日ヨリ少クトモ十四日前ニ告示スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

府縣會ハ府縣知事之ヲ開閉ス

第五十二條 府縣會ハ議員定員ノ半数以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第五十三條 府縣會ノ議事ハ過半数ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十四條 議長及議員ハ自己又ハ父母祖父母妻子孫兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ府縣議會ノ同意ヲ得ルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十五條 法律命令ノ規定ニ依リ府縣會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ本法中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外一名毎ニ無記名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半数ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若過半数ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取り之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者

ヲ選舉スヘシ

議長及副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第四十八條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代ハリ假議長ヲ選舉スヘシ

前項假議長選舉ニ付テハ年長者ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齡同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第四十九條 府縣知事及其ノ委任若ハ囑託ヲ受ケタル官吏ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之ノ力爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第五十條 府縣會ハ通常會及臨時會トス

通常會ハ毎年一回之ヲ開ク其ノ會期ハ三十日以内トス臨時會ハ必要アル場合ニ於テ其ノ事件ニ限リ之ヲ開ク其ノ會期ハ七日以内トス

臨時會ニ付スヘキ事件ハ豫メ之ヲ告示スヘシ但シ其ノ開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ府縣知事ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

ヲ以テ當選トス若シ同數ナルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テハ第十八條及第二十七條ノ規定ヲ準用ス其投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣會之ヲ議決ス

第一項ノ選舉ニ付テハ府縣會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選ノ法ヲ用ウルコトヲ得

第五十六條 府縣會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 府縣知事ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ  
二 議長若ハ議員三名以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長若ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須ヒス其ノ可否ヲ決スヘシ

第五十七條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス議員定員ノ半数以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第四十八條ノ例ニ依ル  
前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議



員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス  
第五十八條 府縣會議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用キ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第五十九條 會議中此ノ法律若ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第六十條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得  
傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第六十一條 議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ會場ノ妨害ヲ爲

高等官二名及名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

府ノ名譽職參事會員八十名トシ縣ノ名譽職參事會員ハ七名トス

府縣高等官ニシテ府縣參事會員タルヘキ者ハ内務大臣之ヲ命ス

第六十六條 名譽職參事會員ハ府縣會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

府縣會ハ名譽職參事會員ト同數ノ補充員ヲ選舉スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ第十八條第二十七條及第二十九條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣會之ヲ議決ス

名譽職參事會員中副員アルトキハ府縣知事ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其順序ハ選舉ノ時ヲ異ニスルトキハ選舉ノ前後ニ依リ選舉同時ナルトキハ得票數ニ依リ得票同數ナルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ抽籤ニ依ル仍副員アル場合ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ  
補闕員ハ前任者ノ殘任期間在任ス  
名譽職參事會員及其ノ補充員ハ毎年之ヲ選舉スヘ

ス者アルトキハ議員若ハ第四十五條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第六十二條 府縣會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第六十三條 議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ製シ會議ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ會議錄ハ議長及議員二名以上之ニ署名スルヲ要ス其ノ議員ハ府縣會ニ於テ之ヲ定ムヘシ  
議長ハ會議錄ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第六十四條 府縣會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ

會議規則ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

會議規則ニハ此ノ法律並會議規則ニ違背シタル議員ニ對シ府縣會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三章 府縣參事會

第一款 組織及選舉

第六十五條 府縣ニ府縣參事會ヲ置キ府縣知事府縣

名譽職參事會員ハ後任者就任ノ前日マテ在任ス府縣會議員ノ任期滿了シタルトキ亦同シ

第六十七條 府縣參事會ハ府縣知事ヲ以テ議長トス府縣知事故障アルトキハ高等官參事會員議長ノ職務ヲ代理ス

第二款 職務權限及處務規程

第六十八條 府縣參事會ノ職務權限左ノ如シ

- 一 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事
- 二 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ府縣知事ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ府縣會ニ代テ議決スル事
- 三 府縣知事ヨリ府縣會ニ提出スル議案ニ付府縣知事ニ對シ意見ヲ述フル事
- 四 府縣會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財產及營造物ノ管理ニ關シ重大ナル事項ヲ議決スル事
- 五 府縣費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス



六 府縣ニ係ル訴訟訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事

七 其ノ他法律命令ニ依リ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事項

第六十九條 府縣參事會ハ名譽職參事會員中ヨリ委員ヲ選舉シ之ヲシテ府縣ニ係ル出納ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ檢査ニハ府縣知事又ハ其ノ指命シタル官吏若ハ吏員之ニ立會フコトヲ要ス

第七十條 第四十四條第四十五條第四十九條第五十一條第三項第五十五條第五十七條第一項及第六十二條ノ規定ハ府縣參事會ニ之ヲ準用ス

第七十一條 府縣參事會ハ府縣知事之ヲ招集ス若名譽職參事會員半數以上ノ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ヲ招集スヘシ

府縣參事會ノ會期ハ府縣知事之ヲ定ム

第七十二條 府縣參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第七十三條 府縣參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ

第七十六條 府縣ニ府縣出納吏ヲ置キ官吏吏員ノ中ニ就キ府縣知事之ヲ命ス

第七十七條 府縣ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ臨時若ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス

委員ノ組織選任任期等ニ關スル事項ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第二款 府縣官吏府縣吏員ノ職務權限及處務規程

第七十八條 府縣知事ハ府縣ヲ統轄シ府縣ヲ代表ス

府縣知事ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 府縣費ヲ以テ支辨スヘキ事件ヲ執行スル事

二 府縣會及府縣參事會ノ議決ヲ經ヘキ件ニ付其ノ議案ヲ發スル事

三 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理若アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

四 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事

五 證書及公文書類ヲ保管スル事

六 法律命令又ハ府縣會若ハ府縣參事會ノ決議ニ依リ使用料手數料府縣稅及夫役現品ヲ賦課徵

會議ヲ開クコトヲ得ス

第六十八條第二ノ議決ヲ爲ストキハ府縣知事高等官參事會員ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

府縣參事會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

會議ノ顛末ハ之ヲ會議録ニ記載シ議長及參事會員二名以上之ニ署名スヘシ

第七十四條 第五十四條ノ規定ハ府縣參事會員ニ之ヲ準用ス但シ同條ノ規定ニ依リ會員ノ數減少シテ

前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ府縣知事ハ補充員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ以テ第六十六條第

四項ノ順序ニ依リ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得サルトキハ府縣會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ

臨時ニ指名シ其ノ副員ヲ補充スヘシ

議長及其ノ代理者共ニ除去セラレタルトキハ年長ノ會員ヲ以テ假議長ト爲スヘシ

第四章 府縣行政

第一款 府縣吏員ノ組織及任免

第七十五條 府縣ニ有給ノ府縣吏員ヲ置クコトヲ得

前項ノ府縣吏員ハ府縣知事之ヲ任免ス

收スル事

七 其ノ他法律命令ニ依リ府縣知事ノ職權ニ屬スル事項

第七十九條 府縣知事ハ議案ヲ府縣會ニ提出スル前

之ヲ府縣參事會ノ審查ニ付シ若府縣參事會ト其ノ意見ヲ異ニスルトキハ府縣參事會ノ意見ヲ議案ニ添ヘ府縣會ニ提出スヘシ

第八十條 府縣知事ハ府縣ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ郡島ノ官吏吏員又ハ市町村吏員ニ補助執行セシメ若ハ委任スルコトヲ得

府縣知事ハ府縣ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ府縣吏員ニ臨時代理セシムルコトヲ得

第八十一條 府縣知事ハ府縣吏員ヲ監督シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下

ノ過怠金及解職トス

府縣知事ハ府縣吏員ノ懲戒處分ヲ行ハントスル前

其ノ吏員ノ停職ヲ命シ並給料ヲ支給セサルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間其ノ府縣ノ公職ニ選舉セラレ若ハ任命セラレルコトヲ得ス



第八十二條 府縣會若ハ府縣參事會ノ議決若ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決若ハ選舉ヲ取消シ又ハ議決ニ付テハ再議ニ付シタル上仍其ノ議決ヲ改メタルトキハ之ヲ取消スヘシ前項取消處分ニ不服アル府縣會若ハ府縣參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

府縣會若ハ府縣參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

第八十三條 府縣會若ハ府縣參事會ニ於テ府縣ノ收支ニ關シ不適當ノ議決ヲ爲シタルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ內務大臣ノ指揮ヲ請フコトヲ得

議決ニ依リ府縣知事ニ於テ專決處分スルコトヲ得  
第八十八條 官吏ノ府縣行政ニ關スル職務關係ハ此ノ法律中規定アルモノヲ除ク外國ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ例ニ依ル

第八十九條 府縣出納吏ハ出納事務ヲ掌ル  
第九十條 府縣吏員ハ府縣知事ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第九十一條 委員ハ府縣知事ノ指揮監督ヲ承ケ財產若ハ營造物ヲ管理シ其ノ他府縣行政事務ノ一部ヲ調査シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス  
第九十二條 府縣ノ事務ニ關スル處務規程ハ府縣知事之ヲ定ム

第三款 給料及給與  
第九十三條 有給府縣吏員ノ給料額並旅費額及其ノ支給方法ハ府縣知事之ヲ定ム

第九十四條 府縣會議員名譽職參事會員其ノ他名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得  
費用辨償額及其ノ支給方法ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

第八十四條 府縣知事ハ期日ヲ定メテ府縣會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第八十五條 府縣會若ハ府縣參事會召集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ府縣知事ハ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得第五十四條第七十四條ノ場合ニ於テ會議ヲ開クコト能ハサルトキ亦同シ

府縣會又ハ府縣參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル  
府縣參事會ノ決定若ハ裁決スヘキ事項ニ關シテハ本條第一項第二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル府縣知事ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
本條ノ處分ハ次ノ會期ニ於テ之ヲ府縣會若ハ府縣參事會ニ報告スヘシ

第八十六條 府縣參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ府縣知事ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ府縣知事ハ專決處分シ次ノ會期ニ於テ其ノ處分ヲ府縣參事會ニ報告スヘシ  
第八十七條 府縣參事會ノ權限ニ屬スル事項ハ其ノ

第九十五條 有給府縣吏員ノ退職料退職給與金死亡給與金遺族扶助料及其ノ支給方法ハ前條第二項ノ例ニ依リテ之ヲ定ム

第九十六條 退職料退職給與金遺族扶助料及費用辨償ノ給與ニ關シ異議アルトキハ之ヲ府縣知事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十七條 給料旅費退職料退職給與金死亡給與金遺族扶助料費用辨償其ノ他諸給與ハ府縣ノ負擔トス

第五章 府縣ノ財務

第一款 財產營造物及府縣稅

第九十八條 府縣ハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得  
第九十九條 府縣ハ營造物若ハ公共ノ用ニ供シタル財產ノ使用ニ付使用料ヲ徵收シ又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得



第百條 本法中別ニ規定アルモノヲ除外使用料手  
數料ニ關スル細則ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事  
之ヲ定ム其ノ細則ニハ過料五圓以下ノ罰則ヲ設ク  
ルコトヲ得  
過料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ府縣知事之ヲ掌ル其  
ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコト  
ヲ得

第百一條 府縣ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ  
寄附若ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第百二條 府縣ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令又ハ  
從來ノ慣例ニ依リ府縣ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨  
スヘキ義務ヲ負フ

第百三條 府縣稅及其ノ賦課徵收方法ニ關シテハ法  
律ニ規定アルモノヲ除外勅令ノ定ムル所ニ依ル  
府縣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ヲ市町村ニ  
分賦スルコトヲ得

第百四條 府縣内ニ住所ヲ有スル者ハ府縣稅ヲ納ム  
ル義務ヲ負フ

第百五條 三箇月以上府縣内ニ滞在スル者ハ其ノ滞  
在ノ初ニ遡リ府縣稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

協議ノ上其ノ歩合ヲ定ム若協議調ハサルトキハ内  
務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

鑛區又ハ砂鑛區カ府縣ノ内外ニ涉ル場合ニ於テ鑛  
區稅又ハ砂鑛區稅ノ附加稅ヲ賦課スルトキハ鑛區  
又ハ砂鑛區ノ屬スル地表ノ面積ニ依リ本稅額ヲ分  
割シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

第百九條 府縣稅賦課ノ細目ニ係ル事項ハ府縣會ノ  
議決ニ依リ關係市町村會ノ議決ニ付スルコトヲ得  
市町村會ニ於テ府縣會ノ議決ニ依リ定マリタル期  
限内ニ其ノ議決ヲ爲ササルトキ若ハ不適當ノ議決  
ヲ爲シタルトキハ府縣參事會之ヲ議決スヘシ

第百十條 府縣稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノニ關  
シテハ法律勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルモノヲ  
除外市町村稅ノ例ニ依ル

第百十一條 府縣内ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件  
ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ不均一ノ賦課ヲ  
爲スコトヲ得

第百十二條 府縣ハ其ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ府  
縣内一部ノ市町村其ノ他公共團體若ハ一部ノ納稅  
義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術及手工ニ

第百六條 府縣内ニ住所ヲ有セス又ハ三箇月以上滞  
在スルコトナシト雖府縣内ニ於テ土地家屋物件ヲ  
所有シ使用シ若ハ占有シ又ハ營業所ヲ定メテ營業  
ヲ爲シ又ハ府縣内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其  
ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ府縣  
内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件  
營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課ス  
ル府縣稅ヲ納ムル義務ヲ負フ其ノ法人タルトキ亦  
同シ

第百七條 納稅者ノ府縣外ニ於テ所有シ使用シ占有  
スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ府縣外ニ於テ  
營業所ヲ定メタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ府  
縣稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

住所滞在同時ニ府縣ノ内外ニ涉ル者ノ前項以外ノ  
收入ニ對シ府縣稅ヲ賦課スルトキハ其ノ收入ヲ各  
府縣ニ平分シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

第百八條 府縣ノ内外ニ涉リ營業所ヲ定メテ爲ス營  
業又ハ其ノ收入ニ對シ本稅ヲ分別シテ納メサル者  
ニ對シ關係府縣ニ於テ營業稅附加稅所得稅附加稅  
又ハ鑛產稅附加稅ヲ賦課スルトキハ關係府縣知事

關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス  
夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除外金額ニ算出シテ  
賦課スヘシ

夫役ヲ課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ  
之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役及  
現品ハ急迫ノ場合ヲ除外金額ヲ以テ之ニ代フル  
コトヲ得

第百十三條 府縣稅ノ減免若ハ納稅ノ延期ハ特別ノ  
事情アル者ニ限り府縣知事ハ府縣參事會ノ議決ヲ  
經テ之ヲ許スコトヲ得

第百十四條 市制施行ノ府縣ニ於テハ郡廳舍建築修  
繕費及郡役所費ハ郡ニ屬スル部分ノ負擔トス

第百十五條 府縣稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ  
付違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ懲稅令書又ハ  
徵稅傳令書ノ交付後三箇月以内ニ府縣知事ニ異議  
ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第百三條第二項ノ場合ニ於テ市町村ハ府縣費ノ分  
賦ニ關シ違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ其ノ告  
如ヲ受ケタル時ヨリ三箇月以内ニ府縣知事ニ異議  
ノ申立ヲ爲スコトヲ得



前二項ノ異議ハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

使用料及年數料ノ徵收ニ關シテモ亦第一項及第三項ノ例ニ依ル

本條ノ決定ニ關シテハ府縣知事郡島ノ官吏吏員市町村吏員ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第百十六條 府縣稅ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該行政廳ハ日出ヨリ日没マテノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間家宅ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ檢查ヲ爲スコトヲ得

府縣稅使用料手數料夫役現品ニ代フル金錢過料其ノ他府縣ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ  
前項徵收金ノ先取特權ノ順位ハ國ノ徵收金ニ次クモノトス

府縣ノ收入金及支拂金ニ關スル時効ハ其ノ年度經過後五年ヲ以テ完成ス但シ府縣債ニ付テハ國債ノ例ニ依ル

第二項ノ場合ニ於テ郡島ノ官吏吏員又ハ市町村吏

員ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ府縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡島ノ官吏吏員又ハ市町村吏員ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス

第百十七條 府縣ハ其ノ負債ヲ償還スル爲メ又ハ府縣ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スル爲メ又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限リ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣債ヲ起スコトヲ得

府縣債ヲ起スニ付府縣會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

府縣ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲本條ノ例ニ依ラス府縣參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二款 歲入出豫算及決算

第百十八條 府縣知事ハ每會計年度歲入出豫算ヲ調製シ年度開始前府縣會ノ議決ヲ經ヘシ

ヲ異ニスルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ意見ヲ決算ニ添ヘ府縣會ニ提出スヘシ

決算ハ之ヲ內務大臣ニ報告シ並其ノ要領ヲ告示スヘシ

第百二十五條 豫算調製ノ式並費目流用其ノ他財務ニ關スル必要ナル規定ハ內務大臣之ヲ定ム

第百二十六條 府縣出納吏及府縣吏員ノ身元保證及賠償責任ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五章ノ二 府縣組合

第百二十六條ノ二 府縣ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ規約ヲ定メ內務大臣ノ許可ヲ得テ府縣組合ヲ設クルコトヲ得

府縣組合ハ法人トス

第百二十六條ノ三 府縣組合ノ規約ニハ其ノ名稱組合ヲ組織スル府縣組合ノ共同事務組合會ノ組織事務ノ管理費用ノ支辨方法其他必要ナル事項ヲ定ムヘシ

府縣組合ノ事務ハ內務大臣ノ指定シタル府縣知事之ヲ管理ス

第百二十六條ノ四 府縣組合ノ組合府縣數ヲ増減シ

府縣ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ  
豫算ヲ府縣會ニ提出スルトキハ府縣知事ハ併セテ財産表ヲ提出スヘシ

第百十九條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第百二十條 府縣費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ府縣會ノ議決ヲ經テ其ノ年

期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第百二十一條 豫算外ノ支出若ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ但シ府縣會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第百二十二條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ內務大臣ニ報告シ並其ノ要領ヲ告示スヘシ

第百二十三條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得



共同事務ノ變更ヲ爲シ其ノ他規約ヲ變更セムトスルトキ又ハ府縣組合ヲ解カムトスルトキハ關係府縣ノ協議ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケヘシ此ノ場合ニ於テ財產處分ヲ要スルトキハ其ノ財產處分ニ付亦同シ

第二百二十六條ノ五 前三條ノ場合ニ於テハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第二百二十六條ノ六 公益上必要アル場合ニ於テハ内務大臣ハ關係アル府縣會ノ意見ヲ徵シ府縣組合ヲ設ケ若ハ之ヲ解キ組合規約ヲ定メ若ハ之ヲ變更シ又ハ財產處分ノ方法ヲ定ムルコトヲ得

第二百二十六條ノ七 府縣組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外府縣ニ關スル規定ヲ準用ス但シ府縣組合ニハ參事會ヲ置カス其權限ニ屬スヘキ事項ハ組合事務ヲ管理スル府縣知事之ヲ行フ

第六章 府縣行政ノ監督

第二百二十七條 府縣ノ行政ハ内務大臣之ヲ監督ス

第二百二十八條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分ヲ受ケ又ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二十一日

ヲ檢閱スルノ權ヲ有ス

内務大臣ハ府縣行政ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス

第二百三十條 内務大臣ハ府縣ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得

第二百三十一條 内務大臣ハ勅裁ヲ經テ府縣會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

府縣會解散ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

解散後始メテ府縣會ヲ招集スルトキハ府縣知事ハ第五十條第二項ノ規定ニ拘ラス内務大臣ノ許可ヲ得テ別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得

第二百三十二條 府縣吏員ノ服務規律ハ内務大臣之ヲ定ム

第二百三十三條 左ニ掲グル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ若ハ大ナル變更ヲ爲ス事
- 二 使用料手數料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
- 三 (削除)

以內ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

行政訴訟ノ提起ハ處分ヲ受ケ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

決定書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサルモノニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ日ヨリ起算ス

異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得

異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第二百二十九條 内務大臣ハ府縣行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ又ハ公益ヲ害セサルヤ否ヲ監視スヘシ内務大臣ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ書類帳簿ヲ徵シ並實地ニ就キ事務ヲ視察シ出納

四 不動産ノ處分ニ關スル事

五 (削除)

六 繼續費ヲ定メ若ハ變更スル事

七 (削除)

第二百三十四條 府縣債ヲ起シ又ハ起債ノ方法利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ若ハ變更セムトスルトキハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケヘシ但シ第三百十七條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

第二百三十五條 府縣ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項ニ付テハ主務大臣ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第二百三十六條 府縣ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中其ノ輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ許可ヲ經スシテ處分スルコトヲ得

第七章 附則

第二百三十七條 此ノ法律ハ明治二十三年法律第三十五號府縣制ヲ施行シタル府縣ニハ明治三十二年七月一日ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ府縣ニ關スル施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム



第三百二十八條 島嶼ニ關スル府縣ノ行政ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

町村制ヲ施行セサル島嶼ヨリ選出スヘキ府縣會議員ノ選舉ニ關スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル沖繩縣ニ關シテハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三百二十九條 法律命令中別段ノ規定アルモノヲ除ク外此ノ法律ニ規定スル郡長ノ職務ハ島司ヲ置ケル島嶼ニ於テハ島司之ヲ行ヒ町村長ノ職務ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ戶長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第三百二十九條ノ二 第四十九條及第七十六條ノ規定ニ依ル府縣知事ノ職權ハ東京府ニ在リテハ警視總監亦之ヲ行フ

第四百十條 從前郡市經濟ヲ異ニシタル府縣ノ財產處分ニ關スル規定ハ內務大臣之ヲ定ム  
特別ノ事情アル府縣ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ市郡部ノ經濟ヲ分別シ市郡部會郡部會市郡部會郡部參事會ヲ置キ其ノ他必要ナル事項ニ關シ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第四百十六條 明治十三年第十五號布告府縣會規則  
明治十四年第八號布告區郡都會規則明治二十二年法律第六號府縣會議員選舉規則其ノ他此ノ法律ニ抵觸スル法規ハ此ノ法律施行ノ府縣ニ於テハ其ノ效力ヲ失フ

第四百十七條 此ノ法律ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則 (大正三年第三五號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
名譽職參事會員及其ノ補充員ノ任期ニ關シテハ次ノ總選舉マテ仍從前ノ規定ニ依ル

府縣制中改正施行期日

大正三年六月勅令第一二八號

朕大正三年法律第三十五號施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
大正三年法律第三十五號ハ大正三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四百十一條 明治二十三年法律第八十八號府縣徵收法及地方稅ニ關スル從前ノ規定ハ此ノ法律ニ依リ變更シタルモノヲ除ク外勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルマテ其ノ效力ヲ有ス

第四百十二條 明治二十三年法律第三十五號府縣制ノ規定ニ依リ選舉セラレタル府縣會議員府縣參事會員ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ其ノ職ヲ失フ

本法發布後施行ノ日ニ至ルマテノ間ニ明治二十三年法律第三十五號府縣制ヲ施行シタル府縣ニ於テハ府縣會議員ノ改選ヲ要スルコトアルモノ其ノ改選ヲ行ハス議員ハ本法施行ノ日マテ在任ス

第四百十三條 此ノ法律施行ノ際府縣會及府縣參事會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ルマテノ間府縣知事之ヲ行フ

第四百十四條 此ノ法律施行ノ際議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ノ調製ニ限リ第九條乃至第十二條ノ期日及期間ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得但シ其ノ選舉人名簿ハ翌年調製スル選舉人名簿確定ノ日マテ其ノ效力ヲ有ス

第四百十五條 此ノ法律ニ定ムル直接稅ノ種類ハ內

府縣會議員選舉投票方

明治三二年五月內務省令第一九號

本年法律第六十四號府縣制第十五條第三項ニ依リ府縣會議員選舉投票ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 府縣制第十五條第三項ニ依リ二箇以上ノ投票所ヲ設クルコトヲ要スルトキハ府縣知事之ヲ定ム

第二條 前條ノ場合ニ於テハ市町村長ハ投票所ノ一ヲ管理シ他ノ投票所ハ市町村長ノ指名シタル市町村吏員之ヲ管理ス

第三條 市町村長ノ指名シタル市町村吏員ノ管理スル投票所ニ關シテハ府縣制第十六條第十九條及第二十條ノ規定ヲ準用ス

第四條 投票ヲ終リタルトキハ市町村長ノ指名シタル管理者ハ其ノ指定シタル投票立會人ト共ニ直ニ投票函及投票錄ヲ市町村長ノ管理スル投票所ニ送致スヘシ

町村長ニ於テ前項ノ送致ヲ受ケタルトキハ其ノ管理ニ係ル投票函及投票錄ト共ニ之ヲ選舉會場ニ送



致スヘシ

第五條 二箇以上ノ投票所ヲ設ケタル市 東京市京都市  
大阪市ニ在テハニ於テハ投票函ノ總テ到達スルニ非サレハ選舉會ヲ開クコトヲ得ス

第六條 本令ニ規定スル市長ノ職務ハ東京市京都市  
大阪市ニ在テハ區長之ヲ行ヒ町村長ノ職務ハ町村  
制ヲ施行セサル地ニ於テハ戶長之ヲ行フ

第七條 本令ニ規定スルモノノ外必要ナル事項ハ府  
縣知事之ヲ定ム

## 第二章 郡制

明治三十二年三月法律第六五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル郡制改正法律ヲ裁可シ茲  
ニ之ヲ公布セシム

### 第一章 總則

### 第二章 郡會

### 第三章 郡參事會

テ之ヲ定ム但シ特ニ法律ノ規定アルモノハ此ノ限  
ニ在ラス

## 第二章 郡會

### 第一款 組織及選舉

第四條 郡會議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

選舉區ハ町村ノ區域ニ依ル但シ事情ニ依リ郡長ハ  
郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ數町村ノ區  
域ニ依リ選舉區ヲ設ケルコトヲ得

町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部ヲ共同處理スル  
モノハ之ヲ一町村ト看做ス

第五條 郡會議員ノ員數ハ十五人以上三十人以下  
ス

郡ノ狀況ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ得テ前項ノ員數  
ヲ四十人マテ増加スルコトヲ得

郡會議員ノ定數及各選舉區ニ於テ選舉スヘキ郡會  
議員ノ數ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ  
郡長之ヲ定ム

前項議員ノ配當方法ニ關スル必要ナル事項ハ内務  
大臣之ヲ定ム

## 第四章 郡行政

### 第五章 郡ノ財務

### 第六章 郡組合

### 第七章 郡行政ノ監督

### 第八章 附則

## 郡制

### 第一章 總則

第一條 郡ハ從來ノ區域ニ依リ町村ヲ包括ス

第二條 郡ハ法人トシ官ノ監督ヲ承ケ法律命令ノ範  
圍内ニ於テ其ノ公共事務並法律勅令ニ依リ郡ニ屬  
スル事務ヲ處理ス

第三條 郡ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ要スルトキハ  
法律ヲ以テ之ヲ定ム

郡ノ境界ニ涉リテ市町村境界ノ變更アリタルトキ  
ハ郡ノ境界モ亦自ラ變更ス町村ヲ變シテ市ト爲シ  
若ハ市ヲ變シテ町村ト爲シ又ハ所屬未定地ヲ町村  
ノ區域ニ編入シタルトキ亦同シ

本條ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ内務大臣  
ハ關係アル府縣郡市參事會及町村會ノ意見ヲ徵シ

第六條 郡内ノ町村公民ニシテ町村會議員ノ選舉權

ヲ有シ且其ノ郡内ニ於テ一年以來直接國稅年額三

圓以上ヲ納ムル者ハ郡會議員ノ選舉權ヲ有ス

郡内ノ町村公民ニシテ町村會議員ノ選舉權ヲ有シ

且其ノ郡内ニ於テ一年以來直接國稅年額五圓以上

ヲ納ムル者ハ郡會議員ノ被選舉權ヲ有ス

家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ハ其ノ財產ニ

付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シ

タルモノト看做ス

郡會議員ハ住所ヲ移シタル爲町村ノ公民權ヲ失フ

コトアルモ其ノ住所同郡内ニ在ルトキハ之カ爲其

ノ職ヲ失フコトナシ

郡會議員ノ選舉權及被選舉權ノ要件中其ノ年限ニ

關スルモノハ府縣郡市町村ノ廢置分合若ハ境界變

更ノ爲中斷セラルルコトナシ

左ニ掲グル者ハ郡會議員ノ被選舉權ヲ有セス其ノ

之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

一 所屬府縣ノ官吏及有給吏員

二 其ノ郡ノ官吏及有給吏員

三 檢事警察官吏及收稅官吏



四 神官僧侶其ノ他諸宗教師  
五 小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受ケヘシ  
選舉事務ニ關係アル吏員ハ其ノ選舉區ニ於テ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

郡ノ爲請負ヲ爲ス者又ハ郡ノ爲請負ヲ爲ス法人ノ役員ハ其ノ郡ノ郡會議員ノ被選舉權ヲ有セス  
第七條 郡會議員ハ名譽職トス  
郡會議員ノ任期ハ四年トス  
議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲又ハ議員ノ配當ヲ更生シタル爲解任ヲ要スル者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 郡會議員中副員アルトキ及郡會議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲又ハ議員ノ配當ヲ更正シタル爲議員ノ選舉ヲ要スルトキハ三箇月以内ニ之ヲ行フヘシ  
補副議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス  
補副議員ヲ除ク外本條第一項ニ依リ選舉セラレタル

ノ日ヨリ七日間町村役場又ハ其ノ他ノ場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキ又ハ正當ノ事故ニ依リ前項ノ手續ヲ爲スコト能ハスシテ名簿ニ登錄セラレサルトキハ縱覽期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項町村長ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
町村長ハ第三項異議ノ決定ニ依リ又ハ第四項訴願ノ裁決確定シ若ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ期日前七日マテニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲スヘシ  
本條ニ依リ確定シタル名簿ハ郡内ノ各選舉區ニ涉リ同時ニ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年

ル議員ハ次ノ改選期マテ在任ス  
第九條 郡會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニハ選舉ヲ行フヘキ選舉區投票ヲ行フヘキ日時及選舉スヘキ議員ノ員數ヲ記載シ新ニ選舉人名簿ヲ調製シテ選舉ヲ行フ場合ニ於テハ少クトモ七十日前其ノ他ノ場合ニ於テハ少クトモ十四日前ニ之ヲ發スヘシ

第十條 郡會議員ノ選舉ハ町村長之ヲ管理ス但シ數町村ヲ以テ一選舉區ト爲シタル場合ニ於テハ郡長ノ指定シタル町村長之ヲ管理ス  
第十一條 町村長ハ選舉期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ數町村ノ區域ニ依リ選舉區ヲ設ケタル場合ニ於テハ選舉ヲ管理スル町村長ニ之ヲ送付スヘシ  
選舉人其ノ住所ヲ有スル町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ前項ノ期日マテニ當該行政廳ノ證明ヲ得テ其ノ住所地ノ町村長ニ届出ツヘシ其ノ期限内ニ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ納稅ハ選舉人名簿ニ記載セラレヘキ要件ニ算入セス

選舉ヲ管理スル町村長ハ選舉前五十日ヲ期トシ其

以內ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ適用ス其ノ郡内一部ノ選舉區限リ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年以內ニ該選舉區ニ於テ之ヲ行フ選舉ニ之ヲ適用ス但シ名簿確定後訴願ノ裁決若ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ期日前七日マテニ修正スヘシ  
選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ

確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登錄セラレヘキ確定裁決書若ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス  
確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス  
異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ其ノ名簿調製ノ期日縱覽修正及確定ニ關スル期限等ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム



第十二條 選舉會ハ町村役場若ハ選舉ヲ管理スル町村長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ開クヘシ  
 數町村ヲ以テ一選舉區ト爲シタルトキハ選舉ヲ管理スル町村長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ四日前ニ選舉會ノ場所ヲ定メ關係町村長ニ通知スヘシ  
 選舉會ノ場所ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ三日前町村長ニ於テ之ヲ告示スヘシ  
 特別ノ事情アル地ニ於テハ命令ヲ以テ選舉分會ヲ設ケ其ノ選舉ニ關シ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第十三條 選舉ヲ管理スル町村長ハ臨時ニ選舉人中ヨリ二名乃至四名ノ選舉立會人ヲ選任シ其ノ町村長ハ選舉長トナル  
 選舉立會人ハ名譽職トス

第十四條 選舉人ノ外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者ハ此ノ限ニ在ラス  
 選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ  
 投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經投票簿ニ捺印シ投票スヘシ  
 選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ  
 投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス  
 投票用紙ハ郡長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

- 第十六條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス
- 一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ
  - 二 一票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ
  - 三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
  - 四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記入シタルモノ
  - 五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ
- 但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 投票ノ拒否並効力ハ選舉立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

第十八條 郡會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同年ナルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選舉スルトキハ投票ノ數多キ者、投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ヲ補闕ト爲シ同年ナルトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第十九條 選舉長ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二名以上ト共ニ之ヲ署名シ投票選舉人名簿其ノ他關係書類ト共ニ選舉ノ效力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ

第二十條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告示シ同時ニ選舉錄ノ寫ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ郡長ニ報告スヘシ  
 當選者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ郡長ニ申立ツヘシ  
 一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキカヲ郡長ニ申立ツヘシ

定期改選増員選舉補闕選舉等ヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其數選舉ニ當リタルトキハ前項ノ例ニ依ル

前三項ノ申立ヲ其ノ期限内ニ爲ササルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第六條第七項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本條ニ定ムル期間ヲ二十日以内トス

第二十一條 郡會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

二人以上投票同數ニシテ年長ニ由テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ年少ニ由テ當選セザリシ者ヲ以テ當選トス但シ年少ニ由テ當選セザリシ者二人以上アルトキハ年長者ヲ取り同年ナルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ爲當選セザリシ者ヲ以テ當選トス但シ抽籤ノ爲當選セザリシ者二人以上アル時ハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

第二十二條 當選者其ノ當選ヲ承諾シタルトキハ郡長ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及其ノ住所氏名ヲ告示



スヘシ

第二十三條 選舉人選舉若ハ當選ノ効力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘシ 郡長ニ於テ選舉若ハ當選ノ効力ニ關シ異議アルトキハ第一項申立ノ有無ニ拘ラス第二十條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ郡參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

本條郡參事會ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長選舉ヲ管理スル町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十四條 選舉ノ規定ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トス但シ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞ナキモノハ此ノ限ニ在ラス 當選者ニシテ被選舉權ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

郡會議員ハ其ノ被選舉權ヲ有セストスル決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ列席シ及發言スルノ權ヲ失ハス

第二十七條 本款ニ規定スル異議ノ決定及訴願ノ裁決ハ其ノ決定書若ハ裁決書ヲ交付シタルトキ直ニ之ヲ告示スヘシ

第二十八條 郡會議員ノ選舉ニ付テハ市町村會議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第二款 職務權限及處務規定

第二十九條 郡會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

- 一 歳入出豫算ヲ定ムル事
- 二 決算報告ニ關スル事
- 三 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手数料及夫役現品ノ賦課徴收ニ關スル事
- 四 不動産ノ處分並買受讓受ニ關スル事
- 五 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
- 六 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事
- 七 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 選舉若ハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ得票數ノ査定ニ錯誤アリタル爲又ハ選舉ノ際被選舉權ヲ有セサル爲當選無効ト確定シタルトキハ第十八條及第二十條ノ例ニ依ル

第二十六條 郡會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ニ關スル異議ハ郡參事會之ヲ決定ス

郡會ニ於テ其ノ議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ郡長ニ通知スヘシ但シ議員ハ自己ノ資格ニ關スル會議ニ於テ辯明スルコトヲ得ルモ其決議ニ加ハルコトヲ得ス

郡長ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘシ郡長ニ於テ被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキ亦同シ

本條參事會ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

八 其ノ他法律命令ニ依リ郡會ノ權限ニ屬スル事項

第三十條 郡會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ郡參事會ニ委任スルコトヲ得

第三十一條 郡會ハ法律命令ニ依リ選舉ヲ行フヘシ

第三十二條 郡會ハ郡ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ郡長若ハ監督官廳ニ呈出スルコトヲ得

第三十三條 郡會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

郡會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ郡會召集ニ應セス若ハ成立セス又ハ意見ヲ呈出セサルトキハ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十四條 郡會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委囑ヲ受ケヘカラス

第三十五條 郡會ハ議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選舉スヘシ

議長副議長ハ議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ 第三十六條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長 長副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假



議長ヲ選舉スヘシ

第三十七條 郡長及其ノ委任若ハ囑託ヲ受ケタル官吏吏員ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第三十八條 郡會ハ通常會及臨時會トス

通常會ハ毎年一回之ヲ開ク其ノ會期ハ十四日以内トス臨時會ハ必要アル場合ニ於テ其ノ事件ニ限リ之ヲ開ク其ノ會期ハ五日以内トス

臨時會ニ付スヘキ事件ハ豫メ之ヲ告示スヘシ但シ其ノ開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ郡長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

第三十九條 郡會ハ郡長之ヲ招集ス

招集ハ閉會ノ日ヨリ少クトモ十日前ニ告示スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

郡會ハ郡長之ヲ開閉ス

第四十條 郡會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

ノ限ニ在ラス

一 郡長ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二 議長若ハ議員三名以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長若ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須ヒス其ノ可否ヲ決スヘシ

第四十五條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第四十六條 郡會議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用キ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第四十七條 會議中此ノ法律若ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ

議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第四十八條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ

第四十一條 郡會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十二條 議長及議員ハ自己若ハ父母祖父母妻子孫兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ郡會ノ同意ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

第四十三條 法律命令ノ規定ニ依リ郡會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一名毎ニ匿名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取リ之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若同數ナルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム其ノ他ハ第十五條乃至第十七條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ選舉ニ付テハ郡會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選若ハ連名投票ノ法ヲ用ウルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル

第四十四條 郡會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十九條 議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議員若ハ第三十七條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第五十條 郡會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第五十一條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ製シ會議ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ會議録ハ議長及議員二名以上之ニ署名スルヲ要ス其ノ議員ハ郡會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ郡長ニ報告スヘシ

第五十二條 郡會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ



員ニ對シ郡會ノ議決ニ依リ三日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三章 郡參事會

第一款 組織及選舉

第五十三條 郡ニ部參事會ヲ置キ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

一 郡長

二 名譽職參事會員 五名

第五十四條 名譽職參事會員ハ郡會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

郡會ハ名譽職參事會員ト同數ノ補充員ヲ選舉スヘシ

名譽職參事會員中關員アルトキハ郡長ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其ノ順序ハ選舉同時ナルトキハ投票數ニ依リ投票同數ナルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ抽籤ニ依リ選舉ノ時ヲ異ニスルトキハ選舉ノ前後ニ依ル仍關員ヲ生シタル場合ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ  
補充員ハ前任者ノ殘任期間在任ス  
名譽職參事會員及其ノ補充員ハ郡會議員ノ定期改

スル事

七 其ノ他法律命令ニ依リ郡參事會ノ權限ニ屬スル事項

第五十七條 郡參事會ハ名譽職參事會員中ヨリ委員ヲ選舉シ之ヲシテ郡ニ係ル出納ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ検査ニハ郡長又ハ其ノ指命シタル官吏若ハ吏員之ニ立會フコトヲ要ス

第五十八條 第三十二條第三十三條第三十七條及第五十條ノ規定ハ郡參事會ニ之ヲ準用ス

第五十九條 郡參事會ハ郡長之ヲ招集ス若名譽職參事會員半數以上ノ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ郡長ハ郡參事會ヲ招集スヘシ郡參事會ノ會期ハ郡長之ヲ定ム

第六十條 郡參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第六十一條 郡參事會ハ議長及名譽職參事會員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第九十六條第二ノ議決ヲ爲ストキハ郡長ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

選每ニ之ヲ改選スヘシ但シ名譽職參事會員ハ後任者就任ノ日マテ在任ス

第五十五條 郡參事會ハ郡長ヲ以テ議長トス郡長故障アルトキハ出席會員中ヨリ臨時議長ヲ互選スヘシ

第二款 職務權限及處務規程

第五十六條 郡參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ郡長ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ郡會ニ代リ議決スル事

三 郡長ヨリ郡會ニ提出スル議案ニ付郡長ニ對シ意見ヲ述フル事

四 郡會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財産及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五 郡費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 郡ニ係ル訴願訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決

郡參事會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

會議ノ顛末ハ之ヲ會議録ニ記載シ議長及名譽職參事會員二名以上之ニ署名スヘシ

第六十二條 第四十二條ノ規定ハ郡參事會員ニ之ヲ準用ス但シ同條ノ規定ニ依リ會員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ郡長ハ補充員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ以テ第五十四條第三項ノ順序ニ依リ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得サルトキハ郡會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指名シ其ノ關員ヲ補充スヘシ

第四章 郡行政

第一款 郡吏員ノ組織及任免

第六十三條 郡ニ有給ノ郡吏員ヲ置クコトヲ得其ノ定員ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

前項ノ郡吏員ハ府縣知事之ヲ任免ス

第六十四條 郡ニ郡出納吏ヲ置キ官吏吏員ノ中ニ就キ郡長之ヲ命ス

第六十五條 郡ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ臨時若ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得



委員ハ名譽職トス

委員ノ組織選任任期等ニ關スル事項ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

第二款 郡官吏郡吏員ノ職務

權限及處務規程

第六十六條 郡長ハ郡ヲ統轄シ郡ヲ代表ス

郡長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 郡費ヲ以テ支辨スヘキ事件ヲ執行スル事
- 二 郡會及郡參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發スル事
- 三 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理  
者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事
- 四 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事
- 五 證書及公文書類ヲ保管スル事
- 六 法律命令又ハ郡會若ハ郡參事會ノ議決ニ依リ  
使用料手数料郡費及夫役現品ヲ賦課徵收スル  
事
- 七 其ノ他法律命令ニ依リ郡長ノ職權ニ屬スル事

第六十七條 郡長ハ議案ヲ郡會ニ提出スル前之ヲ郡

キハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮  
ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ  
改メサルトキハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘ  
シ

前項府縣知事ノ處分ニ不服アル郡會若ハ郡參事會  
ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七十條 郡會若ハ郡參事會ニ於テ郡ノ收支ニ關シ  
不適當ノ議決ヲ爲シタルトキハ郡長ハ自己ノ意見  
ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之  
ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ府縣知  
事ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議  
ニ付セスシテ直ニ府縣知事ノ指揮ヲ請フコトヲ  
得

前項府縣知事ノ處分ニ不服アル郡會若ハ郡參事會  
ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七十一條 郡長ハ期日ヲ定メテ郡會ノ停會ヲ命ス  
ルコトヲ得

第七十二條 郡會若ハ郡參事會招集ニ應セス又ハ成  
立セサルトキハ郡長ハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ  
請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得第四

參事會ノ審査ニ付シ若郡參事會ト其ノ意見ヲ異ニ  
スルトキハ郡參事會ノ意見ヲ議案ニ添ヘ郡會ニ提  
出スヘシ

第六十八條 郡長ハ郡ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬ス  
ル事務ノ一部ヲ町村吏員ニ補助執行セシメ若ハ委  
任スルコトヲ得

郡長ハ郡ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一  
部ヲ郡吏員ニ臨時代理セシムルコトヲ得

第六十九條 郡會若ハ郡參事會ノ議決若ハ選舉其ノ  
權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ郡  
長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ  
理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決若ハ選舉ヲ取消シ又ハ  
議決ニ付テハ再議ニ付シタル上仍其ノ議決ヲ改メ  
サルトキハ之ヲ取消スヘシ

前項取消處分ニ不服アル郡會若ハ郡參事會ハ府縣  
參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁  
判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴訟  
ヲ提起スルコトヲ得

郡會若ハ郡參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルト

十二條第六十二條ノ場合ニ於テ會議ヲ開クコト能  
ハサルトキ亦同シ

郡會若ハ郡參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議  
決セス又ハ郡會ニ於テ其ノ招集前告示セラレタル  
事件ニ關シ議案ヲ議シセサルトキハ前項ノ例ニ依  
ル

郡參事會ノ決定若ハ裁決スヘキ事項ニ關シテハ本  
條第一項第二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル郡長  
ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願及訴訟  
ヲ提起スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次ノ會期ニ於テ之ヲ郡會若ハ郡參事  
會ニ報告スヘシ

第七十三條 郡參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨  
時急施ヲ要シ郡長ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト  
認ムルトキハ郡長ハ專決處分シ次ノ會期ニ於テ其  
ノ處分ヲ郡參事會ニ報告スヘシ

第七十四條 郡參事會ノ權限ニ屬スル事項ハ其ノ議  
決ニ依リ郡長ニ於テ專決處分スルコトヲ得

第七十五條 官吏ノ郡行政ニ關スル職務關係ハ此ノ  
法律中規定アルモノヲ除ク外國ノ行政ニ關スル其



ノ職務關係ノ例ニ依ル

第七十六條 郡出納吏ハ出納事務ヲ掌ル

第七十七條 郡吏員ハ郡長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第七十八條 委員ハ郡長ノ指揮監督ヲ承ケ財産若ハ

營造物ヲ管理シ其ノ他郡行政事務ノ一部ヲ調査シ

又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

第七十九條 郡ノ事務ニ關スル處務規程ハ郡長之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第八十條 有給郡吏員ノ給料額並旅費額及其ノ支給方法ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

第八十一條 郡會議員名譽職參事會員其ノ他名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得費用辨償額及其ノ支給方法ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム若之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ府縣知事之ヲ定ム

第八十二條 有給郡吏員ノ退職料退職給與金遺族扶助料及其ノ支給方法ハ郡會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム若許可スヘカラスト認ムルトキハ内務大臣之ヲ定ム

過料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ郡長之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十八條 郡ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附若ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第八十九條 郡ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令ニ依リ郡ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ前項ノ負擔ハ財産ヨリ生スル收入及其ノ他ノ收入ヲ以テ充ツルモノノ外之ヲ郡内各町村ニ分賦スヘシ

第九十條 郡費分賦ノ割合ハ其ノ豫算ノ屬スル年度ノ前前年度ニ於ケル各町村ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ依ル但シ本條ノ分賦方法ニ依リ難キ事情アルトキハ郡長ハ郡會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ特別ノ分賦方法ヲ設クルコトヲ得

第九十一條 郡内ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ内務大臣ノ定ムル所ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲スコトヲ得

第八十三條 退職料退職給與金遺族扶助料及費用辨償ノ給與ニ關シ異議アルトキハ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十四條 給料旅費退職料退職給與金遺族扶助料費用辨償其ノ他諸給與ハ郡ノ負擔トス

第五章 郡ノ財務

第一款 財産營造物及郡費

第八十五條 郡ハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得

第八十六條 郡ハ營造物若ハ公共ノ用ニ供シタル財產ノ使用ニ付使用料ヲ徵收シ又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第八十七條 此ノ法律中別ニ規定アルモノヲ除ケ外使用料手數料ニ關スル細則ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム其ノ細則ニハ過料二圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

第九十二條 郡ハ其ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ郡内一部ノ町村ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除ケ外金額ニ算出シテ賦課スヘシ

夫役又ハ現品ヲ賦課セラレタル町村ハ急迫ノ場合ヲ除ケ外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第九十三條 使用料手數料ノ徵收ニ關シ告知ヲ受ケタル者其ノ告知ニ違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ告知書ノ交付後三箇月以内ニ郡長ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

郡費ノ分賦ニ關シ町村ニ於テ其ノ分賦ニ違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル時ヨリ三箇月以内ニ郡長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得前二項ノ異議ハ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長町村吏員ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十四條 使用料手數料過料其ノ他郡ノ收入ヲ定



期內ニ納メサル者アルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

本條ニ記載スル徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

本條第一項ノ場合ニ於テ町村吏員ノ處分ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ郡長ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長町村吏員ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條第一項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス

第九十五條 郡ハ其ノ負債ヲ償還スル爲メ又ハ郡ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スル爲メ又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り郡會ノ議決ヲ經テ郡債ヲ起スコトヲ得

郡債ヲ起スニ付郡會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

ルコトヲ得

第一百二條 決算ハ翌翌年ノ通常會ニ於テ之ヲ郡會ニ報告スヘシ

郡長ハ決算ヲ郡會ニ報告スル前郡參事會ノ審査ニ付スヘシ若郡長ト郡參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ郡長ハ郡參事會ノ意見ヲ決算ニ添ヘ郡會ニ提出スヘシ

決算ハ之ヲ府縣知事ニ報告シ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第一百三條 豫算調製ノ式並費目流用其ノ他財務ニ關スル必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第一百四條 郡吏員ノ身元保證及賠償責任ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 郡組合

第一百五條 特定ノ事務ヲ共同處理セシムル必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル郡參事會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡組合ヲ設置スルコトヲ得縣組合ノ廢止若ハ變更ニ付テモ亦同シ

第一百六條 郡組合ヲ設置スル時ハ府縣知事ハ關係ア

郡ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲本條ノ例ニ依ラス郡參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二款 歲入歲出豫算及決算

第九十六條 郡長ハ每會計年度歲入出豫算ヲ調製シ年度開始前郡會ノ議決ヲ經ヘシ

郡ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ郡會ニ提出スルトキハ郡長ハ併セテ財產表ヲ提出スヘシ

第九十七條 郡長ハ郡會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第九十八條 郡費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ郡會ノ議決ヲ經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第九十九條 豫算外ノ支出若ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ但シ郡會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第一百條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第一百一條 郡長ハ郡會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設ク

ル郡參事會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡組合會ノ組織事務ノ管理方法並其ノ費用ノ支辨方法其ノ他必要ナル事項ヲ定ムヘシ

第一百七條 郡組合ハ法人トス

郡組合ニ關シテハ本章中規定スルモノヲ除ク外此ノ法律ノ規定ヲ準用ス但シ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七章 郡行政ノ監督

第一百八條 郡ノ行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第一百九條 此ノ法律中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外郡ノ行政ニ關スル府縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

此ノ法律ニ規定スル異議若ハ訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ之ヲ提起スヘシ但シ此ノ法律中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

此ノ法律ニ規定スル行政訴訟ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ二十一日以内ニ之ヲ提起ス



ヘシ

決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ翌日ヨリ起算ス行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

此ノ法律ニ規定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ付スヘシ

前項異議ノ決定書ハ申立人ニ交付スヘシ

此ノ法律ニ規定スル異議ノ申立若ハ訴願ノ提起ニ關スル期間ノ計算並天災事變ノ場合ニ於ケル特例ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

異議ヲ申立テ又ハ訴願訴訟ヲ提起スル者アルトキハ行政廳及行政裁判所ハ其ノ權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムル場合ニ限り處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第十條 監督官廳ハ郡行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ又ハ公益ヲ害セサルヤヲ監視スヘシ監督官廳ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ書類帳簿ヲ徴シ並實地ニ就キ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

十五條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 左ニ掲グル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事

二 寄附若ハ補助ヲ爲ス事

三 不動産ノ處分ニ關スル事

四 第九十二條ニ依リ夫役及現品ヲ賦課スル事

但シ急迫ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

五 繼續費ヲ定メ若ハ變更スル事

六 特別會計ヲ設クル事

第十七條 郡ノ行政ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ要スヘキ事項ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反

セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フル

コトヲ得

第十八條 郡ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要ス

ヘキ事項中其ノ輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ

其ノ職權ヲ府縣知事ニ委任スルコトヲ得

第十九條 府縣知事ハ郡吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行

フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過

怠金及解職トス

監督官廳ハ郡行政ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス

第十一條 監督官廳ハ郡ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得

第十二條 内務大臣ハ郡會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

郡會解散ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

解散後始メテ郡會ヲ召集スルトキハ郡長ハ第三十八條第二項ノ規定ニ拘ラス府縣知事ノ許可ヲ得テ別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得

第十三條 郡吏員ノ服務紀律ハ内務大臣之ヲ定ム

第十四條 左ニ掲グル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ若ハ大ナル變更ヲ爲ス事

二 使用料手数料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

第十五條 郡債ヲ起シ並起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若ハ之ヲ變更スルトキハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス但シ第九

府縣知事ハ郡吏員ノ懲戒處分ヲ行ハントスル前其ノ吏員ノ停職ヲ命シ並給料ヲ支給セサルコトヲ得懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間其ノ郡ノ公職ニ選舉セラレ若ハ任命セラレルコトヲ得ス

第八章 附則

第二十條 此ノ法律ハ明治二十三年法律第三十六

號郡制ヲ施行シタル府縣ニハ明治三十二年七月一

日ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ府縣ニ關スル施行ノ時

期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第二十一條 郡内總町村ニ關スル事業並其ノ財產

營造物ハ小學校ヲ除ク外此ノ法律施行ノ日ヨリ郡

ニ移ルモノトス

第二十二條 此ノ法律ノ規定ニ依リ府縣知事府縣

參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數府縣ニ涉ルモ

ノアルトキハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ内務大臣

ニ於テ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事及府縣參事

會ヲ指定スヘシ

第二十三條 島嶼ニ關シテハ別ニ勅令ヲ以テ其ノ

制ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ島嶼ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス



第二百二十四條 明治二十三年法律第三十六號郡制ノ規定ニ依リ選舉セラレタル郡會議員郡參事會員ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ其ノ職ヲ失フ

本法發布後施行ノ日ニ至ルマテノ間ニ明治二十三年法律第三十六號郡制ヲ施行シタル府縣ニ於テハ郡會議員改選ヲ要スルコトアルモ其ノ改選ヲ行ハス議員ハ本法施行ノ日マテ在任ス

第二百五條 此ノ法律施行ノ際郡會及郡參事會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ルマテノ間郡長之ヲ行フ

第二百二十六條 此ノ法律ニ定ムル府縣參事會ノ職務ハ府縣制ヲ施行シ府縣參事會ノ成立ニ至ルマテノ間府縣知事之ヲ行フ

第二百二十七條 此ノ法律ニ定ムル直接稅ノ種類ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第二百二十八條 明治十一年第十七號布告郡區町村編制法其ノ他此ノ法律ニ牴觸スル法規ハ此ノ法律施行ノ地ニ於テハ其ノ效力ヲ失フ

第二百二十九條 此ノ法律ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

●郡會議員選舉方

明治三二年五月內務省令第二〇號

本年法律第六十五號郡制第十二條第四項ニ依リ郡會議員選舉ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 郡制第十二條第四項ニ依リ選舉分會ヲ設クルコトヲ要スルトキハ郡長之ヲ定ム

第二條 選舉分會ハ郡制第十條ニ依リ選舉ヲ管理スル町村長ノ指名シタル町村長其ノ他町村吏員之ヲ管理ス

選舉分會ニ於ケル選舉立會人投票ノ拒否ニ關シテハ郡制第十三條及第十七條ノ規定ヲ準用ス

第三條 選舉分會ノ管理者ハ選舉錄ヲ製シテ投票ノ顛末ヲ記載シ投票ヲ終リタル後選舉立會人二名以上ト共ニ之ニ署名スヘシ

第四條 前條ノ手續ヲ終リタルトキハ選舉分會ノ管理者ハ其ノ指定シタル選舉立會人ト共ニ直ニ投票函及選舉錄ヲ選舉本會ニ送致スヘシ

第五條 選舉本會ニ於テハ選舉分會ノ投票函ノ總テ

到達スルニ非サレハ投票ノ點檢ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニ於ケル選舉分會ニ付テハ郡長ハ適宜ニ其ノ選舉期日ヲ定メ選舉本會ノ投票函ヲ送致セシムルコトヲ得

第七條 本令ニ規定スルモノノ外必要ナル事項ハ府縣知事之ヲ定ム

第三章 市制町村制

●市制

明治四四年四月法律第六八號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル市制改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

- 第一章 總則
- 第一款 市及其ノ區域
- 第二款 市住民及其ノ權利義務
- 第三款 市條例及市規則
- 第二章 市會
- 第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三章 市參事會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第四章 市吏員

第一款 組織選舉及任免

第二款 職務權限

第五章 給料及給與

第六章 市ノ財務

第一款 財產營造物及市稅

第二款 歲入出豫算及決算

第七章 市ノ一部ノ事務

第八章 市町村組合

第九章 市ノ監督

第十章 雜則

市制

第一章 總則

第一款 市及其ノ區域

第一條 市ハ從來ノ區域ニ依ル

第二條 市ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内



ニ於テ其ノ公共事務並從來法令又ハ慣例ニ依リ及將來法律勅令ニ依リ市ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 市ノ廢置分合ヲ爲サムトスルトキハ關係アル市町村會及府縣參事會ノ意見ヲ徵シテ內務大臣之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第四條 市ノ境界變更ヲ爲サムトスルトキハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム所屬未定地ヲ市ノ區域ニ編入セムトスルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ財產アルトキ其ノ處分ニ關シテハ前項ノ例ニ依ル

第五條 市ノ境界ニ關スル爭論ハ府縣參事會之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アル市町村ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

市ノ境界判明ナラサル場合ニ於テ前項ノ爭論ナキトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル市町村ハ行政裁判所ニ出訴スル

第八條 市内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ市住民トス

市住民ハ本法ニ從ヒ市ノ財產及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ市ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第九條 帝國臣民ニシテ獨立ノ生計ヲ營ム年齡二十五年以上ノ男子二年以來市ノ住民ト爲リ其ノ市ノ負擔ヲ分任シ且其ノ市内ニ於テ地租ヲ納メ若ハ直接國稅年額二圓以上ヲ納ムルトキハ其ノ市公民トス但シ貧困ノ爲公費ノ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者、禁治產者、準禁治產者及六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

市ハ前項二年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ニ付テハ其ノ財產ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト見做ス

市公民ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セララルコトナシ

市稅ヲ賦課セサル市ニ於テハ市公民ノ要件中市ノ負擔分任ニ關スル規定ヲ適用セス

第十條 市公民ハ市ノ選舉ニ參與シ市ノ名譽職ニ選舉セラルル權利ヲ有シ市ノ名譽職ヲ擔任スル義務

コトヲ得

第一項ノ裁定及前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ關係市町村ニ交付スヘシ

第一項ノ裁定及第二項ノ決定ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六條 勅令ヲ以テ指定スル市ノ區ハ之ヲ法人トス其ノ財產及營造物ニ關スル事務其ノ他法令ニ依リ區ニ屬スル事務ヲ處理ス

區ノ廢置分合又ハ境界變更其ノ他區ノ境界ニ關シテハ前二條ノ規定ヲ準用ス但シ第四條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テハ關係アル市會ノ意見ヲモ徵スヘシ

第七條 市ハ其ノ名稱ヲ變更セムトスルトキハ內務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

市役所ノ位置ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキハ市ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

前條ノ市カ其ノ區ノ名稱ヲ變更シ又ハ區役所ノ位置ヲ定メ若ハ之ヲ變更セムトスルトキハ前項ノ例ニ依ル

第二款 市住民及其ノ權利義務

ヲ負フ

左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ市ハ一年以上以下其ノ市公民權利ヲ停止シ場合ニ依リ其ノ停止期間以內其ノ者ノ負擔スヘキ市稅ノ十分ノ一以上四分ノ一以下ヲ増課スルコトヲ得

一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者

二 業務ノ爲常ニ市内ニ居ルコトヲ得サル者

三 年齡六十年以上ノ者

四 官公職ノ爲市ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五 四年以上名譽職市吏員、名譽職參事會員、市會議員又ハ區會議員ノ職ニ任シ爾後同一ノ期間ヲ經過セサル者

六 其ノ他市會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者



第三項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十一條 市公民第九條第一項ニ掲ケタル要件ノ一ヲ闕キ又ハ同項但書ニ當ルニ至リタルトキハ其ノ公民權ヲ失フ

市公民租稅滯納處分中ハ其ノ公民權ヲ停止ス家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄又ハ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ執行ヲ終リ若ハ其ノ執行ヲ受ケタルコトナキニ至ル迄亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ市ノ公務ニ參與スルコトヲ得ス其ノ他ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時又ハ事變ニ際シ召集セラレタルトキ亦同シ

第二款 市條例及市規則

第十二條 市ハ市住民ノ權利義務又ハ市ノ事務ニ關シ市條例ヲ設ケルコトヲ得

市ハ市ノ營造物ニ關シ市條例ヲ以テ規定スルモノノ外市規則ヲ設ケルコトヲ得

市條例及市規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

ノ限ニ在ラス

帝國臣民ニシテ直接市稅ヲ納ムル者其ノ額市公民ノ最多ク納稅スル者三人中ノ一人ヨリモ多キトキハ第九條第一項ノ要件ニ當ラスト雖選舉權ヲ有ス但シ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者及第十一條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

法人ニ關シテモ亦前項ノ例ニ依ル

直接市稅ヲ賦課セサル市ニ於テハ其ノ市内ニ於テ納ムル直接國稅額ニ依リ前二項ノ規定ヲ適用ス

前三項ノ直接市稅及直接國稅ノ納額ハ選舉人名簿調製期日ノ屬スル會計年度ノ前年度ノ賦課額ニ依ルヘシ

第十五條 選舉人ハ分チテ三級トス

選舉人中直接市稅ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ一級トス但シ一級選舉人ノ數議員定數ノ三分ノ一ヨリ少キトキハ納額最多キ者議員定數ノ三分ノ一ト同數ヲ以テ一級トス

一級選舉人ヲ除クノ外直接市稅ノ納額最多キ者ヲ

第二章 市會

第一款 組織及選舉

第十三條 市會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス

議員ノ定數左ノ如シ

一 人口五萬未満ノ市 三十人

二 人口五萬以上十五萬未満ノ市 三十六人

三 人口十五萬以上二十萬未満ノ市 三十九人

四 人口二十萬以上三十萬未満ノ市 四十二人

五 人口三十萬以上ノ市 四十五人

人口三十萬ヲ超ユル市ニ於テハ人口十萬、人口五十萬ヲ超ユル市ニ於テハ人口二十萬ヲ加フル毎ニ

議員三人ヲ増加ス

議員ノ定數ハ市條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得

議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス但シ著シク人口ノ増減アリタル場合ニ於テ

内務大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 市公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第十一條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此

合セテ選舉人全員ノ納ムル直接市稅ノ總額中一級選舉人ノ納ムル額ヲ除キ其ノ殘額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ二級トシ其ノ他ノ選舉人ヲ三級トス但シ二級選舉人ノ場合ニハ前項但書ノ規定ヲ準用ス

各級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二人以上アルトキハ其ノ市内ニ住所ヲ有スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル住所ヲ有スル年數同シキトキハ年長者ヲ以テシ年齢ニ依リ難キトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

選舉人ハ每級各別ニ議員定數ノ三分ノ一ヲ選舉ス但シ選舉區アル場合ニ於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十六條ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

被選舉人ハ各級ニ通シテ選舉セララルコトヲ得直接市稅ヲ賦課セサル市ニ於テハ第二項乃至第四項ノ納稅額ハ選舉人ノ市内ニ於テ納ムル直接國稅額ニ依ルヘシ

第二項乃至第四項及前項ノ直接市稅及直接國稅ノ納額ニ關シテハ前條第五項ノ規定ヲ適用ス

第二類 地方制度 第三章 市制町村制

五二



第十六條 市ハ市條例ヲ以テ選舉區ヲ設クルコトヲ得二級又ハ三級選舉ノ爲ノミニ付亦同シ  
 選舉區ノ數及其ノ區域並各選舉區ヨリ選舉スル議員數ハ前項ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ  
 第六條ノ市ニ於テハ區ヲ以テ選舉區トス其ノ各選舉區ヨリ選出スル議員數ハ市條例ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

選舉人ハ住所ニ依リ所屬ノ選舉區ヲ定ム市内ニ住所ナキ者ハ直接市稅若ハ直接國稅ノ賦課ヲ受ケタル物件又ハ營業所ノ所在ニ依リ物件又ハ營業所ニシテ數選舉區ニ在ル場合ニハ之ニ對スル課稅ノ最多キ所ニ依リ難キ場合ニハ本人ノ申出ニ依リ其ノ申出ナキトキハ市長其ノ選舉區ヲ定ムヘシ  
 選舉區ニ於テハ前條ノ規定ニ準シ選舉人ノ等級ヲ分ツヘシ但シ一級選舉人ノ數其ノ選出スヘキ議員配當數ヨリ少キトキハ納額最多キ者議員配當數ト同數ヲ以テ一級トス二級選舉人ニ付亦同シ  
 被選舉人ハ各選舉區ニ通シテ選舉セララルコトヲ得

第十七條 特別ノ事情アルトキハ市ハ府縣知事ノ許

議員ト爲リタル後前項ノ緣故ヲ生シタル場合ニ於テハ年少者其ノ職ヲ失フ

市長市參與又ハ助役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ市會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス

第十九條 市會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ第一日ヨリ之ヲ起算ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ每級各別ニ市長抽籤シテ之ヲ定ム選舉區アル場合ニ於テハ第十六條ノ市條例中ニ其ノ解任ヲ要スル者ノ選舉區及等級ヲ規定シ市長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ但シ解任ヲ要スル選舉區及等級ニ關員アルトキハ其ノ關員ヲ以テ之ニ充ツヘシ  
 議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

選舉區又ハ其ノ配當議員數ノ變更アリタル場合ニ於テ之ニ關シ必要ナル事項ハ第十六條ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

第二十條 市會議員中關員ヲ生シ其ノ關員議員定數

可ヲ得區劃ヲ定メテ選舉分會ヲ設クルコトヲ得二級又ハ三級選舉ノ爲ノミニ付亦同シ

第十八條 選舉權ヲ有スル市公民ハ被選舉權ヲ有スル後一月ヲ經過セサル者亦同シ

一 所屬府縣ノ官吏及有給吏員

二 其ノ市ノ有給吏員

三 檢事警察官吏及收稅官吏

四 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師

五 小學校教員

市ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、重役及支配人ハ其ノ市ニ於テ被選舉權ヲ有セス

父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ市會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス其ノ同時ニ選舉セラレタルトキハ

同級ニ在リテハ得票ノ數ニ依リ其ノ多キ者一人ヲ當選者トシ同數ナルトキ又ハ等級若ハ選舉區ヲ異

ニシテ選舉セラレタルトキハ年長者ヲ當選者トス

其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ後ニ選舉

セラレタル者議員タルコトヲ得ス

ノ三分ノ一以上ニ至リタルトキ又ハ府縣知事市長若ハ市會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

補闕議員ハ前任者ノ選舉セラレタル等級及選舉區ニ於テ之ヲ選舉スヘシ

第二十一條 市長ハ選舉期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉區アルトキハ選舉區毎ニ

名簿ヲ調製スヘシ

第六條ノ市ニ於テハ市長ハ區長ヲシテ前項ノ名簿ヲ調製セシムヘシ

市長ハ選舉期日前四十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日

間毎日午前八時ヨリ午後四時迄市役所第六條ノ市ニ於テハ區役所

又ハ告示シタル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ

縱覽ニ供スヘシ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽

期間内ニ之ヲ市長第六條ノ市ニ於テハ區長ヲ經テニ申立ツルコトヲ

得此ノ場合ニ於テハ市長ハ縱覽期間滿了後三日以

内ニ市會ノ決定ニ付スヘシ市會ハ其ノ送付ヲ受ケ

タル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ



前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第五項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ市長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前四項ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ市長ハ其ノ確定期日前ニ修正ヲ加ヘ第六條ノ市ニ於テハ市長ヲシテ修正セシムヘシ

選舉人名簿ニ選舉期日前三日ヲ以テ確定ス

確定名簿ハ第三條又ハ第四條ノ處分アリタル場合ニ於テ府縣知事ノ指定スルモノヲ除クノ外其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用キ選舉區アル場合ニ於テハ各選舉區ニ涉リ同時ニ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用キ一部ノ選舉區限リ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年以内ニ該選舉區ニ於テノミ行フ選舉ニ之ヲ用ウ但シ名簿確定後裁決

正スル限ニ在ラス

第三項乃至第六項ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ其ノ名簿ノ調製、縦覽修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期日及期間ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル名簿ノ喪失シタルトキ亦同シ

選舉人名簿調製後ニ於テ選舉期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用キ縦覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期日及期間ハ前選舉期日ニ依リ之ヲ算定ス

第二十二條 市長ハ選舉期日前少クトモ七日間選舉會場、投票ノ日時及各級ヨリ選舉スヘキ議員數ヲ告示スヘシ選舉區アル場合ニ於テハ各級ヨリ選舉スヘキ議員數ヲ選舉區毎ニ選舉分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ等級及區劃ヲ告示スヘシ各選舉區ノ選舉ハ同日時ニ之ヲ行ヒ選舉分會ノ選舉ハ本會ト同日時ニ之ヲ行フヘシ天災事變等ニ依リ同日時ニ選舉ヲ行フコト能ハサルトキハ市長ハ其ノ選舉ヲ終ラサル選舉會又ハ選舉分會ノミニ關

確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ發スルトキハ選舉ヲ終リタル後ニ於テ次ノ選舉期日前四日迄ニ之ヲ修正スヘシ

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ市長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示シ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ告示セシムヘシ

選舉分會ヲ設クルトキハ市長ハ確定名簿ニ依リ分會區劃毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スヘシ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ調製セシムヘシ

確定名簿ニ登録セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セラルヘキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ選舉人ハ等級ノ標準タル直接市稅又ハ直稅國稅ニ依リ其ノ者ノ納稅ニシテ名簿ニ登録セラレタル一級選舉人中ノ最少額ヨリ多キトキハ一級ニ於テ其ノ他ハ三級ニ於テ選舉ヲ行フヘシ

確定名簿ニ登録セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修

シ更ニ選舉會場又投票ノ日時ヲ告示シ選舉ヲ行フヘシ

選舉ヲ行フ順序ハ先ツ三級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ天災事變等ニ依リ選舉ヲ行フコト能ハサルニ至リタルトキハ市長ハ其ノ選舉ヲ終ラサル等級ノミニ關シ更ニ選舉會場及投票ノ日時ヲ告示シ選舉ヲ行フヘシ

第二十三條 市長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

各選舉區ノ選舉會ハ市長又ハ其ノ指名シタル吏員第六條ノ市ニ於テハ區長ニ選舉長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

選舉分會ハ市長ノ指名シタル吏員選舉分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

市長第六條ノ市ニ於テハ區長ニハ選舉人中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ但シ選舉區アルトキ又ハ選舉分會ヲ設ケタルトキハ各別ニ選舉立會人ヲ設ケヘシ

選舉立會人ハ名譽職トス

第二十四條 選舉人ニ非サル者ハ選舉會場ニ入ルコ



トヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者、選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長又ハ分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムヘシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ分會長會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第二十五條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ

投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得  
選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人

代人ハ帝國臣民ニシテ年齢二十五年以上ノ男子ニ限ル

第九條第一項但書ニ當ル者、第十條第二項ノ規定ニ依ル公民權停止中ノ者及第十一條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ代人タルコトヲ得ス又一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス

代人ハ委任狀其ノ他代理ヲ證スル書面ヲ選舉長又ハ分會長ニ示スヘシ

第二十八條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ
- 二 現ニ市會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

- 四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ
  - 五 被選舉權ナキ者ノ人名ヲ記載シタルモノ
  - 六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ
- 但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ但シ確定名簿ニ登錄セラレタル毎級選舉人ノ數其ノ選舉スヘキ議員數ノ三倍ヨリ少キ場合ニ於テハ連名投票ノ法ヲ用ウヘシ

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス  
投票用紙ハ市長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

選舉區アル場合ニ於テ選舉人名簿ノ調製後選舉人ノ所屬ニ異動ヲ生スルコトアルモ其ノ選舉人ハ前所屬ノ選舉區ニ於テ投票ヲ爲スヘシ

選舉分會ニ於テ爲シタル投票ハ分會長少クトモ一人ノ選舉立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ本會ニ送致スヘシ

第二十六條 増員選舉及補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第二十七條 第十四條第二項又ハ第三項ノ規定ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得但シ年齢二十五年以上ノ男子ニ非サル者、禁治產及準禁治產者ハ必ス代人ヲ以テスヘシ

連名投票ノ法ヲ用キタル場合ニ於テハ前項第一號及第六號ニ該當スルモノ並其ノ記載ノ人員選舉スヘキ定數ニ過キタルモノハ之ヲ無効トシ前項第二號第四號及第五號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

第二十九條 投票ノ拒否及效力ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

選舉分會ニ於ケル投票ノ拒否ハ其ノ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ分會長之ヲ決スヘシ  
第三十條 市會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ各級ニ於テ選舉スヘキ議員數ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル各級ノ人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

第三十一條 選舉長又ハ分會長ハ選舉錄ヲ調製シテ選舉又ハ投票ノ顛末ヲ記載シ選舉又ハ投票ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二人以上ト共ニ之ヲ



署名スヘシ

各選舉區ノ選舉長ハ選舉錄第六條ノ市ニ於テハ其ノ附本ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ市長ニ報告スヘシ

選舉分會長ハ投票函ト同時ニ選舉錄ヲ本會ニ送致スヘシ

選舉錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ選舉及當選ノ效力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ

第三十二條 當選者定マリタルトキハ市長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ告知セシムヘシ

當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ市長ニ申立ツヘシ一人ニシテ數級又ハ數選舉區ニ於テ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ當選ニ應スヘキカヲ市長ニ申立ツヘシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テサルトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ム

第十八條第二項ニ掲ケサル官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受ケタルニ非サレハ之ニ應ス

アルトキ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第三十四條第二項ノ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市長ハ七日以内ニ市會ノ決定ニ付スヘシ市會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

府縣知事ハ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ第三十四條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ當選ニ關シテハ同條第十項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

前項ノ決定アリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申立及市會ノ決定ハ無効トス

第二項若ハ第六項ノ裁決又ハ第三項ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定ニ付テハ市長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第二項若ハ前項ノ裁決又ハ第三項ノ決定ニ付テハ

ルコトヲ得ス

前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ニ應スヘキ旨ヲ市長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス第三項ノ場合ニ於テ何レノ當選ニ應スヘキカヲ申立テサルトキハ總テ之ヲ辭シタルモノト看做ス

第三十三條 市會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ市長ハ直ニ之ヲ補フヘキ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十條ノ規定ヲ準用ス

第三十四條 選舉ヲ終リタルトキハ市長ハ直ニ選舉錄ノ附本ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第三十二條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ、同條第三項若ハ第五項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキ市長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第三十五條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス

第三十六條 選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議

府縣知事又ハ市長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得市會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十七條 當選無効ト確定シタルトキハ市長ハ直ニ第三十條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ムヘシ

選舉無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

第三十八條 市會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ヲ除クノ外其ノ被選舉權ノ有無ハ市會之ヲ決定ス

市長ハ市會議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ市會ノ決定ニ付スヘシ  
第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁判又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
第一項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ市長ヨリモ訴



願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起  
スルコトヲ得

第三十六條第八項ノ規定ハ第一項及前三項ノ場合  
ニ之ヲ準用ス

第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附  
シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第三十九條 第二十一條及第三十六條ノ場合ニ於テ  
府縣參事會ノ決定及裁決ハ府縣知事市會ノ決定ハ  
市長直ニ之ヲ告示スヘシ

第四十條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ  
設置スル議會ノ議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選  
舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

前項ノ罰則中選舉人ニ關スル規定ハ第二十七條ノ  
代人ニ之ヲ準用ス

第二款 職務權限

第四十一條 市會ハ市ニ關スル事件及法律勅令ニ依  
リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

第四十二條 市會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ  
一 市條例及市規則ヲ設ケ又ハ改廢スル事

ル選舉ヲ行フヘシ

第四十五條 市會ハ市ノ事務ニ關スル書類及計算書  
ヲ檢閲シ市長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決  
ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得

市會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ市長又ハ其ノ指名  
シタル吏員立會ノ上實地ニ就キ前項市會ノ權限ニ  
屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十六條 市會ハ市ノ公益ニ關スル事件ニ付意見  
書ヲ市長又ハ監督官廳ニ提出スルコトヲ得

第四十七條 市會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ  
答申スヘシ

市會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ市  
會成立セス、招集ニ應セス若ハ意見ヲ提出セス又  
ハ市會ヲ招集スルコト能ハサルトキハ當該行政廳

ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得  
第四十八條 市會ハ議員中ヨリ議長及副議長一人ヲ  
選舉スヘシ

議長及副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル  
第四十九條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代ハリ  
議長及副議長共ニ故障アルトキハ年長ノ議員議長

二 市費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關スル事但シ第  
九十三條ノ事務及法律勅令ニ規定アルモノハ  
此ノ限ニ在ラス

三 歳入出豫算ヲ定ムル事  
四 決算報告ヲ認定スル事

五 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、  
加入金、市税又ハ夫役現品ノ賦課徵收ニ關ス  
ル事

六 不動産ノ管理處分及取得ニ關スル事

七 基本財産及積立金穀等ノ設置管理及處分ニ關  
スル事

八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ  
義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事

九 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律  
勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

十 市吏員ノ身元保證ニ關スル事

十一 市ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

第四十三條 市會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ヲ  
市參事會ニ委任スルコトヲ得

第四十四條 市會ハ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬ス  
ル職務ヲ代理ス同齡同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ  
定ム

第五十條 市長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ  
會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決  
ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ  
許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコ  
トヲ得ス

第五十一條 市會ハ市長之ヲ招集ス議員定數三分ノ  
一以上ノ請求アルトキハ市長ハ之ヲ招集スヘシ  
市長ハ必要アル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ市會ヲ  
招集スルコトヲ得

招集及會議ノ事件ハ開會ノ日ヨリ少クトモ三日前  
ニ之ヲ告知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限  
ニ在ラス

市會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ市長ハ直  
ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得三日前迄ニ告知  
ヲ爲シタル事件ニ付亦同シ

市會ハ市長之ヲ開閉ス  
第五十二條 市會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ



非サレハ議會ヲ開クコトヲ得ス但シ第五十四條ノ除外ノ爲半數ニ滿タサルトキ、同一ノ事件ニ付召集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タサルトキ、又ハ召集ニ應スルモ出席議員定數ヲ關キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラス

第五十三條 市會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十四條 議長及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻子孫、姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ市會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十五條 法律勅令ニ依リ市會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外一人特ニ無記名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二人ヲ取リ之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二人ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取リ年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス同數ナルトキハ年長者ヲ取リ年齡同シ

キトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム  
前項ノ場合ニ於テハ第二十五條及第二十八條ノ規定ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ市會之ヲ決定ス

第一項ノ選舉ニ付テハ市會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選又ハ連名投票ノ法ヲ用ウルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テハ前二項ノ例ニ依ル

第五十六條 市會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 市長ヨリ傍聴禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ  
二 議長又ハ議員三人以上ノ發議ニ依リ傍聴禁止ヲ可決シタルトキ  
前項議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須キス其ノ可否ヲ決スヘシ

第五十七條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十八條 議員ハ選舉人ノ指示又ハ委囑ヲ受ケヘカラス

議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用キ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第五十九條 會議中本法又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第六十條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第六十一條 市會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス  
第六十二條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ調製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ

會議録ハ議長及議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ市會ニ於テ之ヲ定ムヘシ  
議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ市長ニ報告スヘシ

第六十三條 市會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ

會議規則ニハ本法及會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ市會ノ議決ニ依リ三日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三章 市參事會

第一款 組織及選舉

第六十四條 市ニ市參事會ヲ置キ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

- 一 市長
- 二 助役
- 三 名譽職參事會員

前項ノ外市參與ヲ置ク市ニ於テハ市參與ハ參事會員トシテ其ノ擔任事業ニ關スル場合ニ限り會議ニ列席シ議事ニ參與ス

第六十五條 名譽職參事會員ノ定數ハ六人トス但シ



第六條ノ市ニ在リテハ市條例ヲ以テ十二人迄之ヲ増加スルコトヲ得

名譽職參事會員ハ市會ニ於テ其ノ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ其ノ選舉ニ關シテハ第二十五條第二十條及第三十條ノ規定ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ市會之ヲ決定ス

名譽職參事會員中關員アルトキハ直ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

名譽職參事會員ノ任期ハ市會議員ノ任期ニ依ル但シ市會議員ノ任期滿了ノ場合ニ於テハ後任名譽職參事會員選舉ノ日迄在任ス

第六十六條 市參事會ハ市長ヲ以テ議長トス市長故障アルトキハ市長代理者之ヲ代理ス

第二款 職務權限

第六十七條 市參事會ノ職務權限左ノ如シ

- 一 市會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事
- 二 市長ヨリ市會ニ提出スル議案ニ付市長ニ對シ意見ヲ述フル事
- 三 其ノ他法令ニ依リ市參事會ノ權限ニ屬スル事

第六十八條 市參事會ハ市長之ヲ招集ス名譽職參事會員定數ノ半數以上ノ請求アルトキハ市長ハ之ヲ招集スヘシ

第六十九條 市參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第七十條 市參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ第二項ノ除外ノ爲名譽職參事會員其ノ半數ニ滿タサルトキ、同一ノ事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍名譽職參事會員ノ半數ニ滿タサルトキ又ハ招集ニ應スルモ出席名譽職參事會員定數ヲ關キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

議長及參事會員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ市參事會ノ同意得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

議長其ノ代理者共ニ前項ノ場合ニ當ルトキハ年長ノ名譽職參事會員議長ノ職務ヲ代理ス

第七十一條 第四十六條第四十七條第五十條第五十

一條第二項及第五項第五十三條第五十五條第五十七條乃至第五十九條第六十一條並第六十二條第一項及第二項ノ規定ハ市參事會ニ之ヲ準用ス

第四章 市吏員

第一款 組織選舉及任免

第七十二條 市ニ市長及助役一人ヲ置ク但シ第六條ノ市ノ助役ノ定數ハ內務大臣之ヲ定ム

助役ノ定數ハ市條例ヲ以テ之ヲ増加スルコトヲ得特別ノ必要アル市ニ於テハ市條例ヲ以テ市參與ヲ置クコトヲ得其ノ定數ヲ其ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

第七十三條 市長ハ有給吏員トシ其ノ任期ヲ四年トス

內務大臣ハ市會ヲシテ市長候補者三人ヲ選舉推薦セシメ上奏裁可ヲ請フヘシ

市長ハ內務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得ス

第七十四條 市參與ハ名譽職トス但シ定數ノ全部又ハ一部ヲ有給吏員ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第七十二條第三項ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

件

市參與ハ市會ニ於テ之ヲ選舉シ內務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七十五條 助役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

助役ハ市長ノ推薦ニ依リ市會之ヲ定メ市長職ニ在ラサルトキハ市會ニ於テ之ヲ選舉シ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ府縣知事ノ認可ニ對シ市長又ハ市會ニ於テ不服アルトキハ內務大臣ニ具狀シテ認可ヲ請フコトヲ得

助役ハ府縣知事ノ認可ヲ受クルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得ス

第七十六條 市長有給市參與及助役ハ第九條第一項ノ規定ニ拘ラス在職ノ間其ノ市ノ公民トス

第七十七條 市長市參與及助役ハ第十八條第二項ニ掲ケタル職ヲ兼タルコトヲ得ス又其ノ市ニ對シ請負ヲ爲スコトヲ得ス  
市長ト父子兄弟タル緣故アル者ハ市參與又ハ助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス



參與ト父子兄弟タル縁故アル者ハ助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス

父子兄弟タル縁故アル者ハ同時ニ市參與又ハ助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス第十八條第五項ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十八條 市長有給市參與及助役ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ報償アル業務ニ從事スルコトヲ得ス

市長有給市參與及助役ハ會社ノ重役又ハ支配人其ノ他ノ事務員タルコトヲ得ス

第七十九條 市ニ收入役一人ヲ置ク但シ市條例ヲ以テ副收入役ヲ置クコトヲ得

第七十五條第一項乃至第三項第七十七條第一項及第四項並前條ノ規定ハ收入役及副收入役ニ第七十六條ノ規定ハ收入役ニ之ヲ準用ス

市長市參與又ハ助役ト父子兄弟タル縁故アル者ハ收入役又ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス收入役ト父子兄弟タル縁故アル者ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス

第八十條 第六條ノ市ノ區ニ區長一人ヲ置キ市有給

吏員トシ市長之ヲ任免ス

第七十七條第一項及第七十八條ノ規定ハ區長ニ之ヲ準用ス

第八十一條 第六條ノ市ノ區收入役一人又ハ區收入役及區副收入役各一人ヲ置ク

區收入役及區副收入役ハ第八十六條ノ吏員中市長助役市收入役市副收入役又ハ區長トノ間及其ノ相互ノ間ニ父子兄弟タル縁故アラサル者ニ就キ市長之ヲ命ス

區收入役又ハ區副收入役ト爲リタル後市長、助役、市收入役、市副收入役又ハ區長トノ間ニ父子兄弟タル縁故生シタルトキハ區收入役又ハ區副收入役ハ其ノ職ヲ失フ

前項ノ規定ハ區收入役相互ノ間ニ於テ區副收入役ニ之ヲ準用ス

第八十二條 第六條ノ市ヲ除キ其ノ他ノ市ハ處務便宜ノ爲區ヲ劃シ區長及其ノ代理者一人ヲ置クコトヲ得

前項ノ區長及其ノ代理者ハ名譽職トス市會ニ於テ市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス

内務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラス區長ヲ有給吏員ト爲スヘキ市ヲ指定スルコトヲ得

前項ノ區ニ付テハ第八十條第八十一條第九十四條第二項第九十七條第四項第九十八條及第九十九條ノ規定ヲ準用スルノ外必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十三條 市ハ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クヲ得委員ハ名譽職トス市會ニ於テ市會議員、名譽參事會員又ハ市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス但シ委員長ハ市長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル市參與若ハ助役ヲ以テ之ヲ充ツ

常設委員ノ組織ニ關シテハ市條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第八十四條 市公民ニ限リテ擔任スヘキ職務ニ在ル吏員ニシテ市公民權ヲ喪失シ若ハ停止セラレタルトキ又ハ第十一條第三項ノ場合ニ當ルトキハ其ノ職ヲ失フ職ニ就キタルカ爲市公民タル者ニシテ禁治產者ハ準禁治產ノ宣告ヲ受ケタルトキ又ハ第十一條第二項若ハ第三項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ前項ノ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルト

キ罪ノ爲豫審又ハ公判ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停止期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

第八十五條 前數條ニ定ムル者ノ外市ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ市長之ヲ任免ス

前項吏員ノ定數ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第八十六條 前數條ニ定ムル者ノ外第六條及第八十二條第三項ノ市ノ區ニ必要ノ市有給吏員ヲ置キ區長ノ申請ニ依リ市長之ヲ任免ス

前項吏員ノ定數ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二款 職務權限

第八十七條 市長ハ市ヲ統轄シ市ヲ代表ス

市長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 市會及市參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スル事
- 二 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理若キ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事
- 三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事
- 四 證書及公文書類ヲ保管スル事



五 法令又ハ市會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、加入金、市税又ハ夫役現品ヲ賦課徴收スル事  
六 其ノ他法令ニ依リ市長ノ職權ニ屬スル事項  
第八十八條 市長ハ議案ヲ市會ニ提出スル前之ヲ市參事會ノ審査ニ付シ其ノ意見ヲ議案ニ添ヘ市會ニ提出スヘシ

第八十九條 市長ハ市吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責及十圓以下ノ過怠金トス

第九十條 市會又ハ市參事會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ市長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムヘシ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ停止スヘシ

前項ノ場合ニ於テ市會又ハ市參事會其ノ議決ヲ改メサルトキハ市長ハ府縣參事會ノ議決ヲ請フヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ再議ニ付セスシテ直ニ裁決ヲ請フコトヲ得  
監督官廳ハ第一項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得但シ裁決ノ申請アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ市參事會ニ於テ議決ヲ爲ストキハ市長ハ參與及助役ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

市參事會成立セサルトキハ又第七十條第一項但書ノ場合ニ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキハ市長ハ其ノ議決スヘキ事件ニ付府縣參事會ノ議決ヲ請フコトヲ得

市會又ハ市參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

市會又ハ市參事會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前四項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル市參事會又ハ府縣參事會ノ決定ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一項及前三項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ市會又ハ市參事會ニ報告スヘシ

第九十二條 市參事會ニ於テ議決又ハ決定スヘキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ市參事會成立セサルトキ又ハ市長ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ市長ハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ市參事會ニ報告スヘシ

第二項ノ裁決又ハ前項ノ處分ニ不服アル市長市會又ハ市參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
市會又ハ市參事會ノ議決公益ヲ害シ又ハ市ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ市長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ停止スヘシ

前項ノ場合ニ於テ市會又ハ市參事會其ノ議決ヲ改メサルトキハ市長ハ府縣參事會ノ議決ヲ請フヘシ前項ノ裁決ニ不服アル市長市會又ハ市參事會ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第六項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第九十一條 市會成立セサルトキ、第五十二條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキ又ハ市長ニ於テ市會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ市長ハ市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ市參事會ノ議決ニ付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十三條 市長其ノ他市吏員ハ法令ノ定ムル所ニ依リ國府縣其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル

前項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ市ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第九十四條 市長ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ其ノ事務ノ一部ヲ助役ニ分掌セシムルコトヲ得但シ市ノ事務ニ付テハ豫メ市會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス  
第六條市ノ市長ハ前項ノ例ニ依リ其ノ事務ノ一部ヲ區長ニ分掌セシムルコトヲ得

市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第九十五條 市參與ハ市長ノ指揮監督ヲ承ケ市ノ經營ニ屬スル特別ノ事業ヲ擔任ス

第九十六條 助役ハ市長ノ事務ヲ補助ス  
助役ハ市長故障アルトキハ之ヲ代理ス助役數人アルトキハ豫メ市長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理



ス

第九十七條 收入役ハ市ノ出納其ノ他ノ會計事務及  
第九十三條ノ事務ニ關スル國府縣其ノ他公共團體  
ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ  
規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

副收入役ハ收入役ノ事務ヲ補助シ收入役故障アル  
トキハ之ヲ代理ス副收入役數人アルトキハ豫メ市  
長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

市長ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ收入役ノ事務ノ一部  
ヲ副收入役ニ分掌セシムルコトヲ得但シ市ノ出納  
其ノ他ノ會計事務ニ付テハ豫メ市會ノ同意ヲ得ル  
コトヲ要ス

第六條ノ市ノ市長ハ前項ノ例ニ依リ收入役ノ事務  
ノ一部ヲ區收入役ニ分掌セシムルコトヲ得  
副收入役ヲ置カサル場合ニ於テハ市ハ收入役故障  
アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定メ府縣知事ノ認  
可ヲ受クヘシ

第九十八條 第六條ノ市ノ區長ハ市長ノ命ヲ承ケ又  
ハ法令ノ定ムル所ニ依リ區内ニ關スル市ノ事務及  
區ノ事務ヲ掌ル

役故障アルトキハ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定ムヘシ  
區收入役及區副收入役ノ職務權限ニ關シテハ前四  
項ニ規定スルモノノ外市收入役及市副收入役ニ關  
スル規定ヲ準用ス

第一百條 名譽職區長ハ市長ノ命ヲ承ケ市長ノ事務ニ  
シテ區内ニ關スルモノヲ補助ス

名譽職區長代理者ハ區長ノ事務ヲ補助シ區長故障  
アルトキ之ヲ代理ス  
第一百一條 委員ハ市長ノ指揮監督ヲ承ケ財產又ハ營  
造物ヲ管理シ其ノ他委託ヲ受ケタル市ノ事務ヲ調  
査シ又ハ之ヲ處辨ス

第一百二條 第八十五條ノ吏員ハ市長ノ命ヲ承ケ事務  
ニ從事ス

第一百三條 第八十六條ノ吏員ハ區長ノ命ヲ承ケ事務  
ニ從事ス  
區長ハ前項ノ吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代  
理セシムルコトヲ得

第五章 給料及給與

第一百四條 名譽職市參與、市會議員、名譽職參事會  
員其ノ他ノ名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償

七〇

區長其ノ他所屬ノ吏員ハ市長ノ命ヲ承ケ又ハ法令  
ノ定ムル所ニ依リ國府縣其ノ他公共團體ノ事務ヲ  
掌ル

區長故障アルトキハ區收入役及區副收入役ニ非サ  
ル區所屬ノ吏員中上席者ヨリ順次之ヲ代理ス

第一項及第二項ノ事務區ヲ執行スル爲要スル費用  
ハ市ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ  
此ノ限ニ在ラス

第九十九條 第六條ノ市ノ區收入役ハ市收入役ノ命  
ヲ承ケ又ハ法令ノ定ムル所ニ依リ市及區ノ出納其  
ノ他ノ會計並國府縣其ノ他公共團體ノ出納其ノ他  
ノ會計事務ヲ掌ル

區長ハ市長ノ許可ヲ得テ區收入役ノ事務ノ一部ヲ  
區副收入役ニ分掌セシムルコトヲ得但シ區ノ出納  
其ノ他ノ會計事務ニ付テハ豫メ區會ノ同意ヲ得ル  
コトヲ要ス

市長區市ノ出納ハ其他ノ會計事務ニ付前項ノ許可  
ヲ爲ス場合ニ於テハ豫メ市會ノ同意ヲ得ルコトヲ  
要ス

區副收入役ヲ置カサル場合ニ於テハ市長ハ區收入

ヲ受クルコトヲ得

名譽職市參與、名譽區長、名譽職區長代理者及委  
員ニハ費用辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ給スル  
コトヲ得

費用辨償、報酬額及其ノ支給方法ハ市會ノ決議ヲ  
經テ之ヲ定ム

第一百五條 市長、有給市參與、助役其ノ他ノ有給吏  
員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ市會ノ議決  
ヲ經テ之ヲ定ム

第一百六條 有給吏員ニハ市條例ノ定ムル所ニ依リ退  
隱料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ  
給スルコトヲ得

第一百七條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、  
退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ノ給與ニ  
付關係者ニ於テ異議アルトキハ之ヲ市長ニ申立ツ  
ルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ市參事會ノ決定ニ付スヘシ關係  
者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ  
其ノ裁決又ハ第三項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政  
裁判所ニ出訴スルコトヲ得



前項ノ決定及裁決ニ付テハ市長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
第八條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料其ノ他ノ給與ハ市ノ負擔トス

第六章 市ノ財務

第一款 財産營造物及市税

第九條 收益ノ爲ニスル市ノ財産ハ基本財産トシテ之ヲ維持スヘシ  
市ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ金穀等ヲ積立ツルコトヲ得  
第十條 舊來ノ慣行ニ依リ市住民中特ニ財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ舊價ニ依ル舊價ヲ變更又ハ廢止セムトスルトキハ市會ノ議決ヲ經ヘシ  
前項ノ財産又ハ營造物ヲ新ニ使用セムトスル者アルトキハ市ハ之ヲ許可スルコトヲ得  
第十一條 市ハ前條ニ規定スル財産ノ使用方法ニ

關シ市規則ヲ設ケルコトヲ得

第十二條 市ハ第一百十條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵收シ同條第二項ノ使用ニ關シテハ使用料若ハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料及加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得  
第十三條 市ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

市ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第十四條 財産ノ賣却貸與、工事ノ請負及物件勞力其ノ他ノ供給ハ競争入札ニ付スヘシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ、入札ノ賣價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ市會ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス  
第十五條 市ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第十六條 市ハ其ノ必要ナル費用及從來法令ニ依リ又ハ將來法律勅令ニ依リ市ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ  
市ハ其ノ財産ヨリ生スル收入、使用料、手数料、

過怠金其ノ他法令ニ依リ市ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ市税及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第十七條 市税トシテ賦課スルコトヲ得ヘキモノ左ノ如シ  
一 國稅府縣稅ノ附加稅  
二 特別稅

直接國稅又ハ直接府縣稅ノ附加稅ハ均一ノ稅率ヲ以テ之ヲ徵收スヘシ但シ第六十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
國稅ノ附加稅タル府縣稅ニ對シテハ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得ス  
特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルノ必要アルトキ賦課徵收スルモノトス

第十八條 三月以上市内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ遡リ市税ヲ納ムル義務ヲ負フ

第十九條 市内ニ住所ヲ有セス又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖市内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ、市内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ市内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ

土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル市税ヲ納ムル義務ヲ負フ

第二十條 納稅者ノ市外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ市外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ市税ヲ賦課スルコトヲ得ス  
市ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メサルモノニ對シ附加稅ヲ賦課スル場合及住所滞在市内ノ内外ニ渉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生スル收入ニ非サルモノニ對シ市税ヲ賦課スル場合ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條 所得稅法第五條ニ掲ケル所得ニ對シテハ市税ヲ賦課スルコトヲ得ス  
神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並教會所說教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ市税ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス



國府縣市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用ニ供スル家屋物件及營造物ニ對シテハ市稅ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地家屋物件ニ對シテハ國ニ市稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

前四項ノ外市稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別ニ法律勅令ノ定ムル所ニ依ル

第二百二十二條 數人ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

市ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ部内ニ於テ市稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ營造物ヨリ生スル收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ一部ノ收入アルトキ亦同シ數人又ハ市ノ一部ヲ利スル財產ニ付テハ前三項ノ例ニ依ル

第二百二十三條 市稅及其ノ賦課徵收ニ關シテハ本法

ヲ補償スヘシ

前項ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲必要アルトキハ市長、警察官吏又ハ監督官廳ハ市内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項但書ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ決定ス決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第二百二十七條 市稅ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該吏員ハ日出ヨリ日沒迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間内家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テハ當該吏員ハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帯スヘシ

其ノ他ノ法律ニ規定アルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第二百二十四條 數人又ハ市ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ市ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ市ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコトヲ得

第二百二十五條 夫役又ハ現品ハ直接市稅ヲ準率ト爲シ直接市稅ヲ賦課セサル市ニ於テハ直接國稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ

但シ第六十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

學藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ス

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第一項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ之ヲ適用セス

第二百二十六條 非常災害ノ爲必要アルトキハ市ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失

第二百二十八條 市長ニ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ハ市參事會ノ議決ヲ經ヘシ

市ハ特別ノ事情アル者ニ限り市稅ヲ減免スルコトヲ得

第二百二十九條 使用料手數料及特別稅ニ關スル事項ニ付テハ市條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ條例中ニハ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

財產又ハ營造物ノ使用ニ關シテハ市條例ヲ以テ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得  
過料ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
第二百三十條 市稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ市長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得



財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得

前二項ノ異議ハ之ヲ市參事會ノ決定ニ付スヘシ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣會參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第五項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項及前項ノ規定ハ使用料手数料及加入金ノ徵收並夫役現品ノ賦課ニ關シ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ依ル決定及裁決ニ付テハ市長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三百一十一條 市税、使用料、手数料、加入金、過料、過怠金其ノ他ノ市ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ市長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サス又ハ夫役現品ニ代フル現金ヲ納メサルトキハ市長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ市條例ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

滯納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

第一項乃至第三項ノ徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

前三項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第三百二十二條 市ハ其ノ負債ヲ償還スル爲市ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り市債ヲ起スコトヲ得  
市債ヲ起スニ付市會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經

ヘシ

市長ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲市參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第二款 歳入出豫算及決算

第三百二十三條 市長ハ每會計年度歳入出豫算ヲ調製シ遅クトモ年度開始ノ一月前ニ市會ノ議決ヲ經ヘシ

市ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル豫算ヲ市會ニ提出スルトキハ市長ハ併セテ事務報告及財産表ヲ提出スヘシ

第三百二十四條 市長ハ市會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第三百二十五條 市費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ市會ノ議決ヲ經テ其ノ年各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第三百三十六條 市ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ

豫備費ハ市會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第三百二十七條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第三百二十八條 市ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第三百二十九條 市會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ市長ヨリ其ノ賸本ヲ收入役ニ交付スヘシ

收入役ハ市長又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出、費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依リ支出ヲ爲スコトヲ得サルトキ亦同シ

第三百四十條 市ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第三百四十一條 市ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ之ヲ檢査シ且每會計年度少クトモ二回臨時檢査ヲ爲スヘシ

檢査ハ市長之ヲ爲シ臨時檢査ニハ名譽職參事會員ニ於テ互選シタル參事會員二人以上ノ立會ヲ要ス

第三百四十二條 市ノ出納ハ翌年度六月三十日ヲ以テ閉鎖ス



決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ市長ニ提出スヘシ市長ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ市會ノ認定ニ付スヘシ

決算ハ其ノ認定ニ關スル市會ノ議決ト共ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

決算ヲ市參事會ノ會議ニ付スル場合ニ於テハ市長參與及助役ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

第四百十三條 豫算調製ノ式、費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第七章 市ノ一部ノ事務

第四百十四條 市ノ一部ニシテ財産ヲ有シ又ハ營造物ヲ設ケタルモノアルトキハ其ノ財産又ハ營造物ノ管理及處分ニ付テハ本法中市ノ財産又ハ營造物ニ關スル規定ニ依ル但シ法律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ財産又ハ營造物ニ關シ特ニ要スル費用ハ其ノ財産又ハ營造物ノ屬スル市ノ一部ノ負擔トス  
前二項ノ場合ニ於テハ市ノ一部ハ其ノ會計ヲ分別スヘシ

第八章 市町村組合

第四百十九條 市町村ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ市町村組合ヲ設ケルコトヲ得

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ前項ノ市町村組合ヲ設ケルコトヲ得

市町村組合ハ法人トス

第四百十條 市町村組合ニシテ其ノ組合市町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ組合市町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲナスコトヲ得

第四百十一條 市町村組合ヲ設ケルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ定メ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ組合規約ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第四百十五條 前條ノ財産又ハ營造物ニ關シ必要アリト認ムルトキハ府縣知事ハ市會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ市條例ヲ設定シ區會ヲ設ケテ市會ノ議決スヘキ事項ヲ議決セシムルコトヲ得

第四百十六條 區會議員ハ市ノ名譽職トス其ノ定數任期、選舉權及被選舉權ニ關スル事項ハ前條ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

區會議員ノ選舉ニ付テハ市會議員ニ關スル規定ヲ準用ス但シ選舉人名簿又ハ選舉若ハ當選ノ效力ニ關ハル異議ノ決定及被選舉權ノ有無ノ決定ハ市會ニ於テ之ヲ爲スヘシ

區會議員ノ選舉ニ付テハ前條ノ市條例ヲ以テ選舉人ノ等級ヲ設ケサルコトヲ得

第四百十七條 第四百十四條ノ場合ニ於テ市ノ一部府縣知事ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第四百十八條 第四百十四條ノ市ノ一部ノ事務ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ組合規約ヲ定メ又ハ變更スルトヲ得

第四百十二條 組合規約ニハ組合ノ名稱、組合ヲ組織スル市町村、組合ノ共同事務、組合役場ノ位置組合會ノ組織及組合會議員ノ選舉、組合吏員ノ組織及選任並組合費用ノ支辨方法ニ付規定ヲ設ケヘシ

第四百十三條 市町村組合ヲ解カムトスルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ  
公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ市町村組合ヲ解クコトヲ得

第四百十四條 第四百十條第一項及前條第一項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係市町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第四百十五條 第二項及前條第二項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム



第一百五十五條 第四百十九條第一項第五百十條第一項第五百一十一條第一項第五百三條第一項及前條第一項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アル市町村又ハ市町村組合ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

組合費ノ分賦ニ關シ違法又ハ錯誤アリト認ムル市町村ハ其ノ告知アリタル日ヨリ三月以内ニ組合ノ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ組合會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル市町村ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ付テハ組合ノ管理者ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一百五十六條 市町村組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外市ニ關スル規定ヲ準用ス

第九章 市ノ監督

異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第六十一條 監督官廳ハ市ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシメ、書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

監督官廳ハ市ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ市ノ監督ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第六十二條 内務大臣ハ市會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

市會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第六十三條 市ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命スル費用ヲ豫算ニ載セザルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

第一百五十七條 市ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第一百五十八條 本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外市ノ監督ニ關スル府縣知事ノ處分ニ不服アル市ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第一百五十九條 本法中行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第六十條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分決定又ハ裁決アリタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

行政訴訟ノ提起ハ處分決定又ハ裁決アリタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得

異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

市長其ノ他ノ吏員其ノ執行スヘキ事件ヲ執行セザルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ市ノ負擔トス

前二項ノ處分ニ不服アル市又ハ市長其ノ他ノ吏員ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六十四條 市長、助役、收入役又ハ副收入役ニ故障アルトキハ監督官廳ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ其ノ職務ヲ管掌セシムルコトヲ得但シ官吏ヲ派遣シタル場合ニ於テハ其ノ旅費ハ市費ヲ以テ辨償セシムヘシ

臨時代理者ハ有給ノ市吏員トシ其ノ給料額旅費額等ハ監督官廳之ヲ定ム

第六十五條 左ニ掲グル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 市條例ヲ設ケ又ハ改廢スル事
- 二 學藝美術又ハ歴史上貴重ナル物件ヲ處分シ又ハ之ニ大ナル變更ヲ加フル事

第六十六條 左ニ掲グル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ



一 市債ヲ起シ並起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スル事但シ第三百三十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

二 特別稅ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

三 間接國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

四 使用料手数料及加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

第六十七條 左ニ掲グル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 基本財産ノ管理及處分ニ關スル事
- 二 特別基本財産及積立金穀等ノ管理及處分ニ關スル事
- 三 第一百十條ノ規定ニ依リ舊債ヲ變更又ハ廢止スル事
- 四 寄附又ハ補助ヲ爲ス事
- 五 不動産ノ管理及處分ニ關スル事
- 六 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅又ハ府縣稅ノ附加稅ヲ賦課スル事
- 七 第二百二十二條第一項第二項及第四項ノ規定ニ依リ數人又ハ市ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事

事

八 第二百二十四條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ市ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲ス事

九 第二百五條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課スル事但シ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事

第六十八條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第六十九條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委任シ又ハ輕易ナル事件ニ限り許可ヲ受ケシメサルコトヲ得

第七十條 府縣知事ハ市長、市參與、助役、收入役、區長、區長代理者、委員其ノ他ノ市吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス但シ市長、市參與、助役、收入役、副收入役及第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ノ區長ニ對スル解職ハ懲戒審査會ノ議決ヲ經市

長ニ付テハ勅裁ヲ經ルコトヲ要ス

懲戒審査會ハ內務大臣ノ命シタル府縣高等官三人及府縣名譽職參事會員ニ於テ互選シタル者三人ヲ以テ其ノ會員トシ府縣知事ヲ以テ會長トス知事故障アルトキハ其代理者會長ノ職務ヲ行フ

府縣名譽職參事會員ノ互選スヘキ會員ノ選舉補闕及任期並懲戒審査會ノ招集及會議ニ付テハ府縣制中名譽職參事會員及府縣參事會ニ關スル規定ヲ準用ス但シ補充員ハ之ヲ設クルノ限ニ在ラス

解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得但シ市長ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

府縣知事ハ市長、市參與、助役、收入役、副收入役及第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ノ區長ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停職期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間市町村ノ公職ニ選舉セラレ又ハ任命セラレルコトヲ得ス

第七十一條 市吏員ノ服務紀律、賠償責任、身元保

證及事務引繼ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ命令ニハ事務引繼ヲ拒ミタル者ニ對シ二十五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第十章 雜則

第七十二條 府縣知事又ハ府縣參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ內務大臣ハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事又ハ府縣參事會ヲ指定スヘシ

第七十三條 本法ニ規定スルモノノ外第六條ノ市ノ有給吏員ノ組織任用分限及其ノ區ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十四條 第十三條ノ人口ハ內務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第七十五條 本法ニ於ケル直接稅及間接稅ノ種類ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

第七十六條 市又ハ市町村組合ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ市ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十七條 本法ハ町村制第五十七條ノ地域ニ



之ヲ施行セス

附則

第七十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十九條 本法施行ノ際更ニ市會議員又ハ區會議員ノ職ニ在ル者ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ總テ其ノ職ヲ失フ

本法施行ノ際現ニ市長助役又ハ收入役ノ職ニ在ル者ハ從前ノ規定ニ依ル任期滿了ノ日ニ於テ其ノ職ヲ失フ

第八十條 舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス但シ復權ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

舊刑法ノ禁錮以上ノ刑ハ本法ノ適用ニ付テハ禁錮以上ノ刑ト看做ス

第八十一條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

●町村制

第七章 町村組合

第八章 町村ノ監督

第九章 雜則

町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第一條 町村ハ從來ノ區域ニ依ル

第二條 町村ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍

内ニ於テ其ノ公共事務並從來法令又ハ慣例ニ依リ

及將來法律勅令ニ依リ町村ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 町村ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ爲サムトス

ルトキハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵

シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之

ヲ定ム所屬未定地ヲ町村ノ區域ニ編入セムトスル

トキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ニ關シ

テハ前項ノ例ニ依ル

第一項ノ場合ニ於テ市ノ廢置分合ヲ伴フトキハ市

制第三條ノ規定ニ依ル

第四條 町村ノ境界ニ關スル爭論ハ府縣參事會之ヲ

明治四十四年四月法律第六九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル町村制改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三章 町村吏員

第一款 組織選舉及任免

第二款 職務權限

第四章 給料及給與

第五章 町村ノ財務

第一款 財產營造物及町村稅

第二款 歲入出豫算及決算

第六章 町村ノ一部ノ事務

裁定ス其ノ裁定ニ不服アル町村ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

町村ノ境界判明ナラサル場合ニ於テ前項ノ爭論ナ

キトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ

其ノ決定ニ不服アル町村ハ行政裁判所ニ出訴スル

コトヲ得

第一項ノ裁定及前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ

其ノ理由ヲ附シ之ヲ關係町村ニ交付スヘシ

第一項ノ裁定及第二項ノ決定ニ付テハ府縣知事ヨ

リモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五條 町村ノ名稱ヲ變更シ又ハ村ヲ町ト爲シ若ハ

町ヲ村ト爲サムトスルトキハ町村ハ内務大臣ノ許

可ヲ受クヘシ

町村役場ノ位置ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルト

キハ町村ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第六條 町村内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ町村住民ト

ス

町村住民ハ本法ニ從ヒ町村ノ財產及營造物ヲ共用

スル權利ヲ有シ町村ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ



第七條 帝國臣民ニシテ獨立ノ生計ヲ營ム年齡二十五年以上ノ男子二年以來町村ノ住民ト爲リ其ノ町村ノ負擔ヲ分任シ且其ノ町村内ニ於テ地租ヲ納メ若ハ直接國稅年額二圓以上ヲ納ムルトキハ其ノ町村公民トス但シ貧困ノ爲公費ノ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者、禁治產者、準禁治產者及六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

町村ハ前項二年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得  
家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ニ付テハ其ノ財產ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス

町村公民ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セラレタルコトナシ

町村稅ヲ賦課セサル町村ニ於テハ町村公民ノ要件中町村ノ負擔分任ニ關スル規定ヲ適用セス

町村公民ノ數町村會議員定數ノ三倍ヨリ少キ場合ニ於テハ町村ハ町村公民ノ要件ニ關シ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第三項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九條 町村公民第七條第一項ニ掲ケタル要件ノ一ヲ闕キ又ハ同項但書ニ當ルニ至リタルトキハ其ノ公民權ヲ失フ

町村公民租稅滯納處分中ハ其ノ公民權ヲ停止ス家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄又ハ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ執行ヲ終リ若ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄亦同シ  
陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與スルコトヲ得ス其ノ他ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時又ハ事變ニ際シ召集セラレタルトキ亦同シ

第三款 町村條例及町村規則

第十條 町村ハ町村住民ノ權利義務又ハ町村ノ事務ニ關シ町村條例ヲ設クルコトヲ得

町村ハ町村ノ營造物ニ關シ町村條例ヲ以テ規定スルモノノ外町村規則ヲ設クルコトヲ得

第八條 町村公民ハ町村ノ選舉ニ參與シ町村ノ名譽職ニ選舉セラレル權利ヲ有シ町村ノ名譽職ヲ擔任スル義務ヲ負フ

左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ町村ハ一年以上四年以下其ノ町村公民權ヲ停止シ場合ニ依リ其ノ者ノ負擔スヘキ町村稅ノ十分ノ一以上四分ノ一以下ヲ増課スルコトヲ得

一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者

二 業務ノ爲常ニ町村内ニ居ルコトヲ得サル者

三 年齡六十一年以上ノ者

四 官公職ノ爲町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五 四年以上名譽職町村吏員、町村會議員又ハ區會議員ノ職ニ任シ爾後同一ノ期間ヲ經過セサル者

六 其ノ他町村會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ

町村條例及町村規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第十一條 町村會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人ノ之ヲ選舉ス

議員ノ定數左ノ如シ

一 人口千五百未滿ノ町村 八 人

二 人口千五百以上五千未滿ノ町村 十二 人

三 人口五千以上一萬未滿ノ町村 十八 人

四 人口一萬以上二萬未滿ノ町村 二十四 人

五 人口二萬以上ノ町村 三十 人

議員ノ定數ハ町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得

議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス但シ著シク人口ノ増減アリタル場合ニ於テ內務大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 町村公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第九條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス



帝國臣民ニシテ直接町村税ヲ納ムル者其ノ額町村公民ノ最多ク納税スル者三人中ノ一人ヨリモ多キトキハ第七條第一項ノ要件ニ當ラスト雖選舉權ヲ有ス但シ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者及第九條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

法人ニ關シテモ亦前項ノ例ニ依ル  
直接町村税ヲ賦課セサル町村ニ於テハ其ノ町村内ニ於テ納ムル直接國稅額ニ依リ前二項ノ規定ヲ適用ス

前三項ノ直接町村税及直接國稅ノ納額ハ選舉人名簿調製期日ノ屬スル會計年度ノ前年度ノ賦課額ニ依ルヘシ

第十三條 選舉人ヲ分チテ二級トス  
選舉人中直接町村税ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル總額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ其ノ他ノ選舉人ヲ二級トス但シ一級選舉人ノ數議員定數ノ二分ノ一ヨリ少キトキハ納額最多キ者議員定數ノ二分ノ一ト同數ヲ以テ一級トス  
一級二級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ一級

- ル後一月ヲ經過セサル者亦同シ
- 一 所屬府縣郡ノ官吏及有給吏員
- 二 其ノ町村ノ有給吏員
- 三 檢事警察官吏及收稅官吏
- 四 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師
- 五 小學校教員

町村ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、重役及支配人ハ其ノ町村ニ於テ被選舉權ヲ有セス  
父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ町村會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス其ノ同時ニ選舉セラレタルトキハ同級ニ在リテハ得票ノ數ニ依リ其ノ多キ者一人ヲ當選者トシ同數ナルトキ又ハ等級ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ年長者ヲ當選者トス其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ後ニ選舉セラレタル者議員タルコトヲ得ス  
議員ト爲リタル後前項ノ緣故ヲ生シタル場合ニ於テハ年少者其ノ職ヲ失フ  
町村長又ハ助役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ町村會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス

ニ入ルヘシ兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二人以上アルトキハ其ノ町村内ニ住所ヲ有スル年數ノ多キ者ヲ以テ一級ニ入ル住所ヲ有スル年數同シキトキハ年長者ヲ以テシ年數ニ依リ難キトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

選舉人ハ每級各別ニ議員定數ノ半數ヲ選舉ス  
被選舉人ハ各級ニ通シテ選舉セララルコトヲ得  
直接町村税ヲ賦課セサル町村ニ於テハ第二項及第三項ノ納稅額ハ選舉人ノ町村内ニ於テ納ムル直接國稅額ニ依ルヘシ

第二項第三項及前項ノ直接町村税及直接國稅ノ納額ニ關シテハ前條第五項ノ規定ヲ適用ス

特別ノ事情アリテ前七項ノ例ニ依リ難キ町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ特別ヲ設クルコトヲ得

第十四條 特別ノ事情アルトキハ町村ハ郡長ノ許可ヲ得區劃ヲ定メテ選舉分會ヲ設クルコトヲ得二級選舉ノ爲ノミニ付亦同シ

第十五條 選舉權ヲ有スル町村公民ハ被選舉權ヲ有ス  
左ニ掲グル者ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタ

第十六條 町村會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ第一日ヨリ之ヲ起算ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ每級各別ニ町村長抽籤シテ之ヲ定ム但シ解任ヲ要スル等級ニ關員アルトキハ其ノ關員ヲ以テ之ニ充ツヘシ  
議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第十七條 町村會議員中關員ヲ生シ其ノ關員議員定數ノ三分ノ一以上ニ至リタルトキ又ハ郡長町村長若ハ町村會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス  
補闕議員ハ前任者ノ選舉セラレタル等級ニ於テ之ヲ選舉スヘシ

第十八條 町村長ハ選舉期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉人名簿ヲ調製スヘシ



町村長ハ選舉期日前四十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間毎日午前八時ヨリ午後四時迄町村役場又ハ告示シタル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ縱覽期間満了後三日以内ニ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前四項ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ町村長ハ其ノ確定期日前ニ修正ヲ加フヘシ

選舉人名簿ハ選舉期日前三日ヲ以テ確定ス  
確定名簿ハ第三條ノ處分アリタル場合ニ於テ府縣

知事ノ指定スルモノヲ除クノ外其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用ウ但シ名簿確定後裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ヲ終リタル後ニ於テ次ノ選舉期日前四日迄ニ之ヲ修正スヘシ

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ

選舉分會ヲ設ケルトキハ町村長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スヘシ

確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登錄セラレヘキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ選舉人ハ等級ノ標準タル直接町村稅又ハ直接國稅ニ依リ其ノ者ノ納額ニシテ名簿ニ登錄セラレタル一級選舉人中ノ最少額ヨリ多キトキハ一級ニ於テ其ノ他ハ二級ニ於テ選舉ヲ行フヘシ但シ直接町村稅又ハ直接國稅ヲ以テ等級ノ標準ト爲ササル町村ニ於テハ選舉長ノ定ムル所ニ依ル

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉權ヲ有セサルト

示シ選舉ヲ行フヘシ

選舉ヲ行フ順序ハ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ天災事變等ニ依リ選舉ヲ行フコト能ハサルニ至リタルトキハ町村長ハ其ノ選舉ヲ終ラサル等級ノミニ關シ更ニ選舉會場及投票ノ日時ヲ告示シ選舉ヲ行フヘシ

第二十條 町村長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

選舉分會ハ町村長ノ指名シタル吏員選舉分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

町村長ハ選舉人中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ但シ選舉分會ヲ設ケタルトキハ各別ニ選舉立會人ヲ設ケヘシ

選舉立會人ハ名譽職トス

第二十一條 選舉人ニ非サル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者、選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場

キハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

第二項乃至第五項ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ其ノ名簿ノ調製、縱覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ハ郡長ノ定ムル所ニ依ル名簿ノ喪失シタルトキ亦同シ

選舉人名簿調製後ニ於テ選舉期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用キ縱覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ハ前選舉期日ニ依リ之ヲ算定ス

第十九條 町村長ハ選舉期日前少クトモ七日間選舉會場、投票ノ日時及各級ヨリ選舉スヘキ議員數ヲ告示スヘシ選舉分會ヲ設ケル場合ニ於テハ併セテ其ノ等級及區劃ヲ告示スヘシ

選舉分會ノ選舉ハ本會ト同日時ニ之ヲ行フヘシ天災事變等ニ依リ同日時ニ選舉ヲ行フコト能ハサルトキハ町村長ハ其ノ選舉ヲ終ラサル選舉會又ハ選舉分會ノミニ關シ更ニ選舉會場及投票ノ日時ヲ告



ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長又ハ分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムヘシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ分會長會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第二十二條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ  
投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ

投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過タルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ但シ確定名簿ニ登錄セラレタル毎級選舉人ノ數其ノ選舉スヘキ議員數ノ三倍ヨリ少キ場合ニ於テハ連名投票ノ法ヲ用ウヘシ

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ關

票ヲ爲スコトヲ得ス

投票用紙ハ町村長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

選舉分會ニ於テ爲シタル投票ハ分會長少クトモ一人ノ選舉立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ本會ニ送致スヘシ

第二十三條 增員選舉及補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第二十四條 第十二條第二項又ハ第三項ノ規定ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得但シ年齡二十五年以上ノ男子ニ非サル者、禁治產者及準禁治產者ハ必ス代人ヲ以テスヘシ  
代人ハ帝國臣民ニシテ年齡二十五年以上ノ男子ニ限ル

第七條第一項但書ニ當ル者、第八條第二項ノ規定ニ依ル公民權停止中ノ者及第九條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ代人タルコトヲ得ス又一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス  
代人ハ委任狀其ノ他代理ヲ證スル書面ヲ選舉長又

ハ分會長ニ示スヘシ

第二十五條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ

二 現ニ町村會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ  
但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

連名投票ノ法ヲ用キタル場合ニ於テハ前項第一號及第六號ニ該當スルモノ並其ノ記載ノ人員選舉スヘキ定數ニ過キタルモノハ之ヲ無効トシ前項第二號第四號及第五號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

第二十六條 投票ノ拒否及效力ノ選舉立會人ノ之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ  
選舉分會ニ於ケル投票ノ拒否ハ其ノ選舉立會人之

ヲ決定ス可否同數ナルトキハ分會長之ヲ決スヘシ

第二十七條 町村會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ各級ニ於テ選舉スヘキ議員數ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル各級ノ人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

第二十八條 選舉長又ハ分會長ハ選舉錄ヲ調製シテ選舉又ハ投票ノ顛末ヲ記載シ選舉又ハ投票ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二人以上ト共ニ之ニ署名スヘシ

選舉分會長ハ投票函ト同時ニ選舉錄ヲ本會ニ送致スヘシ  
選舉錄ハ投票ノ選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ選舉及當選ノ效力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ

第二十九條 當選者定マリタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ



當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツヘシ一人ニシテ兩級ニ於テ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ當選ニ應スヘキカラ町村長ニ申立ツヘシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テサルトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム第十五條第二項ニ掲ケサル官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ之ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ニ應スヘキ旨ヲ町村長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス第三項ノ場合ニ於テ何レノ當選ニ應スヘキカラ申立テサルトキハ總テ之ヲ辭シタルモノト看做ス

第三十條 町村會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ町村長ハ直ニ之ヲ補フヘキ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十七條ノ規定ヲ準用ス

第三十一條 選舉ヲ終リタルトキハ町村長ハ直ニ選舉録ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第二十九條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ、同條

ヲ處分スルコトヲ得

前項ノ處分アリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申立及町村會ノ決定ハ無効トス

第三項ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第二項若ハ第六項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定及第二項又ハ前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二項第五項又ハ前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

町村會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル處分、決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十四條 當選無効ト確定シタルトキハ町村長ハ直ニ第二十七條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ムヘシ選舉無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十七條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

第三項若ハ第五項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第二項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第三十二條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス

第三十三條 選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第三十一條第二項ノ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ七日以内ニ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

縣長ハ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣知事ノ指揮ヲ受ケ選舉ニ關シテハ第三十一條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ當選ニ關シテハ同條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之

第三十五條 町村會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ禁錮以上ノ刑ニ處セザレタル者ヲ除クノ外其ノ被選舉權ノ有無ハ町村會之ヲ決定ス

町村長ハ町村會議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ

第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アル時ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得第一項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十三條第八項ノ規定ハ第一項及第三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第三十六條 第十八條及第三十三條ノ場合ニ於テ府縣參事會ノ決定及裁決ハ府縣知事、郡長ノ處分ハ郡長町村會ノ決定ハ町村長直ニ之ヲ告示スヘシ



第三十七條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ設置スル議會ノ議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

前項ノ罰則中選舉人ニ關スル規定ハ第二十四條ノ代人ニ之ヲ準用ス

第三十八條 特別ノ事情アル町村ニ於テハ郡長ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ其ノ町村ヲシテ町村會ヲ設ケス選舉權ヲ有スル町村公民ノ總會ヲ以テ之ニ充テシムルコトヲ得

町村總會ニ關シテハ町村會ニ關スル規定ヲ準用ス

第二款 職務權限

第三十九條 町村會ハ町村ニ關スル事件及法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

第四十條 町村會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ  
一 町村條例及町村規則ヲ設ケ又ハ改廢スル事  
二 町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關スル事但シ第七十七條ノ事務及法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

三 歳入出豫算ヲ定ムル事  
四 決算報告ヲ認定スル事

第四十三條 町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ町村長又ハ監督官廳ニ提出スルコトヲ得

第四十四條 町村會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

町村會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ町村會成立セス、招集ニ應セス若ハ意見ヲ提出セス又ハ町村會ヲ招集スルコト能ハサルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十五條 町村會ハ町村長ヲ以テ議長トス町村長故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス町村長及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第四十六條 町村長其ノ委任又ハ屬託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

五 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、加入金、町村税又ハ夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事

六 不動産ノ管理處分取得ニ關スル事

七 基本財産及積立金穀等ノ設置管理及處分ニ關スル事

八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事

九 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

十 町村吏員ノ身元保證ニ關スル事

十一 町村ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

第四十一條 町村會ハ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フヘシ

第四十二條 町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得

町村會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ町村長又ハ其ノ指名シタル吏員立會ノ上實地ニ就キ前項町村會ノ權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十七條 町村會ハ町村長之ヲ招集ス議員定數三分ノ一以上ノ請求アルトキハ町村長ハ之ヲ招集スヘシ

町村長ハ必要アル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ町村會ヲ招集スルコトヲ得

招集及會議ノ事件ハ開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ告知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

町村會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ町村長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得三日前迄ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同シ

町村會ハ町村長之ヲ開閉ス

第四十八條 町村會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得但シ第五十條ノ除外ノ爲半數ニ滿タサルトキ、同一ノ事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タサルトキ又ハ招集ニ應スルモ出席議員定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條 町村會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル



第五十條 議長及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但町村會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十一條 法律勅令ニ依リ町村會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一人毎ニ無記名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二人ヲ取リ之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二人ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取リ年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス同數ナルトキハ年長者ヲ取リ年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム  
前項ノ場合ニ於テハ第二十二條及第二十五條ノ規定ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ町村會之ヲ決定ス  
第一項ノ選舉ニ付テハ町村會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選又ハ連名投票ノ法ヲ用ウルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テハ前二項ノ例ニ依ル

第五十二條 町村會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス  
一 議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁止シタルトキ  
二 議員二人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議員ノ發議ハ討論ヲ須キス其ノ可否ヲ決スヘシ  
第五十三條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス  
第五十四條 議員ハ選舉人ノ指示又ハ委囑ヲ受クヘカラス  
議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用キ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス  
第五十五條 會議中本法又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス議員アル時ハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサル時ハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムル事ヲ得  
議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第五十六條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得  
傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條 町村會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第五十八條 議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ調製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ  
會議錄ハ議長及議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ町村會ニ於テ之ヲ定ムヘシ  
第五十九條 町村會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ

會議規則ニハ本法及會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ三日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規定ヲ設タルコトヲ得

第三章 町村吏員

第一款 組織選舉及任免

第六十條 町村ニ町村長及助役一人ヲ置ク但シ町村條例ヲ以テ助役ノ定數ヲ増加スルコトヲ得

第六十一條 町村長及助役ハ名譽職トス  
町村ハ町村條例ヲ以テ町村長又ハ助役ヲ有給ト爲スコトヲ得

第六十二條 町村長及助役ノ任期ハ四年トス  
第六十三條 町村長ハ町村會ニ於テ之ヲ選舉ス  
助役ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定ム町長職ニ在ラサルトキハ前項ノ例ニ依ル

名譽職町村長及名譽職助役ハ其ノ町村公民中選舉權ヲ有スル者ニ限ル  
有給町村長及有給助役ハ第七條第一項ノ規定ニ拘ラス在職ノ間其ノ町村ノ公民トス

第六十四條 町村長ヲ選舉シ又ハ助役ヲ定メ若ハ選舉シタルトキハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ  
前項ノ場合ニ於テ府縣知事ノ不認可ニ對シ町村長又ハ町村會ニ於テ不服アルトキハ内務大臣ニ具狀シテ認可ヲ請フコトヲ得

有給町村長及有給助役ハ三月前ニ申立ツルトキハ任意退職スルコトヲ得



第六十五條 町村長及助役ハ第十五條第二項ニ掲ケタル職ヲ兼ヌルコトヲ得ス又其ノ町村ニ對シ請負ヲ爲シ及同一ノ行爲ヲ爲ス者ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員重役及支配人タルコトヲ得ス

町村長ト父子兄弟タル縁故アル者ハ助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス  
父子兄弟タル縁故アル者ハ同時ニ助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス第十五條第五項ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十六條 有給町村長及有給助役ハ郡長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ報償アル業務ニ從事スルコトヲ得ス  
有給町村長有給助役ハ會社ノ重役又ハ支配人其ノ他ノ事務員タルコトヲ得ス

第六十七條 町村ニ收入役一人ヲ置ク但シ特別ノ事情アル町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ副收入役一人ヲ置クコトヲ得  
收入役及副收入役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

ヲ得

委員ハ名譽職トス町村會ニ於テ町村會議員又ハ町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス但シ委員長ハ町村長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル助役ヲ以テ之ニ充ツ

常設委員ノ組織ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第七十條 名譽職町村長及名譽職助役其ノ他町村公民ニ限リテ擔任スヘキ職務ニ在ル吏員ニシテ町村公民權ヲ喪失シ若ハ停止セラレタルトキ又ハ第九條第三項ノ場合ニ當ルトキハ其ノ職ヲ失フ職ニ就キタルカ爲町村民タル者ニシテ禁治産若ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタルトキ又ハ第九條第二項若ハ第三項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ

前項ノ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲豫審又ハ公判ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停止期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

第七十一條 前數條ニ定ムル者ノ外町村ニ必要ノ有

收入役及副收入役ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定メ郡長ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ郡長ノ不認可ニ對シ町村長又ハ町村會ニ於テ不服アルトキハ府縣知事ニ具狀シテ認可ヲ請フコトヲ得

第六十三條第四項ノ規定ハ收入役ニ第六十五條第一項及前條ノ規定ハ收入役及副收入役ニ之ヲ準用ス

町村長又ハ助役ト父子兄弟タル縁故アル者ハ收入役又ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス收入役ト父子兄弟タル縁故アル者ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス

特別ノ事情アル町村ニ於テハ郡長ノ許可ヲ得テ町村長又ハ助役ヲシテ收入役ノ事務ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十八條 町村ハ處務便宜ノ爲區ヲ劃シ區長及其ノ代理者一人ヲ置クコトヲ得  
區長及其ノ代理者ハ名譽職トス町村會ニ於テ町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス  
第六十九條 町村ハ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコト

給吏員ヲ置キ町村長之ヲ任免ス

前項吏員ノ定數ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二款 職務權限

第七十二條 町村長ハ町村ヲ統轄シ町村ヲ代表ス町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 町村會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スル事
- 二 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事
- 三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事
- 四 證書及公文書類ヲ保管スル事
- 五 法令又ハ町村會ノ議決ニ依リ使用料、手数料加入金、町村税又ハ夫役既品ヲ賦課徵收スル事

六 其ノ他法令ニ依リ町村長ノ職權ニ屬スル事項  
第七十三條 町村長ハ町村吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責及五圓以下ノ過怠金トス

第七十四條 町村會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ町村



長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムヘシ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ停止スヘシ

前項ノ場合ニ於テ町村會其ノ議決ヲ改メサルトキハ町村長ハ府縣參事會ノ裁決ヲ請フヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ再議ニ付セスシテ直ニ裁決ヲ請フコトヲ得

監督官廳ハ第一項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得但シ裁決ノ申請アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス前項ノ規定ニ依ル郡長ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得其ノ裁決、第二項ノ裁決又ハ前項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

町村會ノ議決公益ヲ害シ又ハ町村ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ停止スヘシ

第七十六條 町村會ニ於テ議決又ハ決定スヘキ事件

ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ町村會成立セサルトキ又ハ町村會ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ町村長ハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ  
前項ノ規定ニ依リ町村長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十七條 町村長其ノ他町村吏員ハ法令ノ定ムル

所ニ依リ國府縣其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル前項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ町村ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條 町村長ハ郡長ノ許可ヲ得テ其ノ事務ノ

一部ヲ助役又ハ區長ニ分掌セシムルコトヲ得但シ町村事務ニ付テハ豫メ町村會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

町村長ハ町村吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第七十九條 助役ハ町村長ノ事務ヲ補助ス

前項ノ場合ニ於テ町村會其ノ議決ヲ改メサルトキハ町村長ハ郡長ノ處分ヲ請フヘシ

前項ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項府縣參事會ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴願スルコトヲ得

第二項及第四項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十五條 町村會成立セサルトキ又ハ第四十八條

但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキハ町村長ハ郡長ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ町村會ノ議決スヘキ事件ヲ處置スルコトヲ得

町村會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

町村會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル町村長ノ處置ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得前二項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

助役ハ町村長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數人アルトキハ豫メ町村長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

第八十條 收入役ハ町村ノ出納其ノ他ノ會計事務及第七十七條ノ事務ニ關スル國府縣其ノ他公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

町村ハ收入役故障アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定メ郡長ノ認可ヲ受クヘシ但シ副收入役ヲ置キタル町村ハ此ノ限ニ在ラス

副收入役ノ事務ヲ補助シ收入役故障アルトキ之ヲ代理ス

町村長ハ郡長ノ許可ヲ得テ收入役ノ事務ノ一部ヲ副收入ニ分掌セシムルコトヲ得但シ町村ノ出納其ノ他會計事務ニ付テハ町村會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八十一條 區長ハ町村長ノ命ヲ承ケ町村長ノ事務ニシテ區内ニ關スルモノヲ補助ス

區長代理者ハ區長ノ事務ヲ補助シ區長故障アルトキ之ヲ代理ス



第八十二條 委員ハ町村長ノ指揮監督ヲ承ケ財産又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他委託ヲ受ケタル町村ノ事務ヲ調査シ又ハ之ヲ處辨ス  
第八十三條 第七十一條ノ吏員ハ町村長ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス

第四章 給料及給與

第八十四條 名譽職町村長、名譽職助役、町村會議員其ノ他ノ名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得  
名譽職町村長、名譽職助役、區長、區長代理者及委員ニハ費用辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得  
費用辨償、報酬額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第八十五條 有給町村長、有給助役其ノ他ノ有給吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム  
第八十六條 有給吏員ニハ町村條例ノ定ムル所ニ依リ退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

金穀等ヲ積立ツルコトヲ得

第九十條 舊來ノ慣行ニ依リ町村住民中特ニ財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ舊慣ニ依ル舊慣ヲ變更又ハ廢止セムトスルトキハ町村會ノ議決ヲ經ヘシ  
前項ノ財産又ハ營造物ヲ新ニ使用セムトスル者アルトキハ町村ハ之ヲ許可スルコトヲ得

第九十一條 町村ハ前條ニ規定スル財産ノ使用方法ニ關シ町村規則ヲ設グルコトヲ得

第九十一條 町村ハ第九十條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵收シ同條第二項ノ使用ニ關シテハ使用料若ハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料及加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得

第九十三條 町村ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

町村ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十四條 財産ノ賣却貸與、工事ノ請負及物件勞力其ノ他ノ供給ハ競争入札ニ付スヘシ臨時急施ヲ要スルトキ入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償

第八十七條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ關係者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第三項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十八條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料其ノ他ノ給與ハ町村ノ負擔トス

第五章 町村ノ財務

第一款 財産營造物及町村稅

第八十九條 收益ノ爲ニスル町村ノ財産ハ基本財産トシ之ヲ維持スヘシ

町村ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ

ハサルトキ又ハ町村會ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十五條 町村ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第九十六條 町村ハ其ノ必要ナル費用及從來法令ニ依リ又ハ將來法律勅令ニ依リ町村ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

町村ハ其ノ財産ヨリ生スル收入、使用料、手数料、過料、過怠金其ノ他法令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第九十七條 町村稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキモノ左ノ如シ

- 一 國稅府縣稅ノ附加稅
- 二 特別稅

直接國稅又ハ直接府縣稅ノ附加稅ハ均一ノ稅率ヲ以テ之ヲ徵收スヘシ但シ第四百七十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
國稅ノ附加稅タル府縣稅ニ對シテハ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得ス



特別税ハ別ニ税目ヲ起シテ課税スルノ必要アルトキ賦課徴收スルモノトス

第九十八條 三月以上町村内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ遡リ町村税ヲ納ムル義務ヲ負フ

第九十九條 町村内ニ住所ヲ有セス又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖町村内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ、町村内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ町村内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル町村税ヲ納ムル義務ヲ負フ

第一百條 納税者ノ町村外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ町村外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ町村税ヲ賦課スルコトヲ得ス

町村ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本税ヲ分別シテ納メサルモノニ對シ附加税ヲ賦課スル場合及住所滞在町村ノ内外ニ渉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生スル收入ニ非サル

町村ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ部内ニ於テ町村税ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ營造物ヨリ生スル收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ前項ノ場合ニ於テ其ノ一部ノ收入アルトキ亦同シ數人又ハ町村ノ一部ヲ利スル財産ニ付テハ前三項ノ例ニ依ル

第一百三條 町村税及其ノ賦課徴收ニ關シテハ本法其ノ他ノ法律ニ規定アルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第一百四條 數人又ハ町村ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ町村ノ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコトヲ得

第一百五條 夫役又ハ現品ハ直接町村税ヲ準率ト爲シ直接町村税ヲ賦課セサル町村ニ於テハ直接國稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ但シ第一百四十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

魯藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課

モノニ對シ町村税ヲ賦課スル場合ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百條 所得税法第五條ニ掲ケル所得ニ對シテハ町村税ヲ賦課スルコトヲ得ス

神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並教會所說教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ町村税ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

國府縣市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用ニ供スル家屋物件及營造物ニ對シテハ町村税ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地家屋物件ニ對シテハ國ニ町村税ヲ賦課スルコトヲ得ス

前四項ノ外町村税ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別ニ法律勅令ノ定ムル所ニ依ル

第一百二條 數人ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

スルコトヲ得ス

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得第一項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ之ヲ適用セス

第一百六條 非常災害ノ爲必要アルトキハ町村ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スヘシ

前項ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲必要アルトキハ町村長、警察官又ハ監督官廳ハ町村内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項但書ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ決定ス決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ本人ニ交付スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケ



ルタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ郡長ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル時ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七七條 町村税ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間内家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該吏員ハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帯スヘシ

第八八條 町村長ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ハ町村會ヲ經ヘシ

町村ハ特別ノ事情アル者ニ限り町村税ヲ減免スルコトヲ得

第九九條 使用料手數料及特別税ニ關スル事項ニ付テハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ條例中ニハ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

財產又ハ營造物ノ使用ニ關シテハ町村條例ヲ以テ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

過料ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキ

ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十條 町村税ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ町村長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

財產又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

前二項ノ異議ハ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第五項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項及前項ノ規定ハ使用料手數料及加入金ノ徵收並夫役現品ノ賦課ニ關シ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ依ル決定及裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一百一條 町村税、使用料、手數料、加金、過料、遺金其ノ他ノ町村ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ町村長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サス又ハ夫役現品ニ代フル金錢ヲ納メサルトキハ町村長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ町村條例ノ定ムル所ニ依リ手數料ヲ徵收スルコトヲ得

滞納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

第一項乃至第三項ノ徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

前三項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第十二條 町村ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、町村ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り町村債ヲ起スコトヲ得

町村債ヲ起スニ付町村會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

町村ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第二款 歲入歲出豫算及決算

第十三條 町村長ハ每會計年度歲入出豫算ヲ調製シ遅クトモ年度開始ノ一月前ニ町村會ノ議決ヲ經ヘシ

町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

豫算ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併せて事



務報告書及財産表ヲ提出スヘシ

第百十四條 町村長ハ町村會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第百十五條 町村費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ町村會ノ議決ヲ經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第百十六條 町村ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ  
豫備費ハ町村會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第百十七條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ郡長ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第百十八條 町村ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第百十九條 町村會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ町村長ヨリ其ノ賸本ヲ收入役ニ交付スヘシ  
收入役ハ町村長又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依リ支出ヲ爲スコトヲ得サルトキ亦同シ

決算ノ認定ニ關スル會議ニ於テハ町村長及助役共ニ議長ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第百二十三條 豫算調製ノ式、費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第六章 町村ノ一部ノ事務

第百二十四條 町村ノ一部ニシテ財産ヲ有シ又ハ營造物ヲ設ケタルモノアルトキハ其ノ財産又ハ營造物ノ管理及處分ニ付テハ本法中町村ノ財産又ハ營造物ニ關スル規定ニ依ル但シ法律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ財産又ハ營造物ニ關シ特ニ要スル費用ハ其ノ財産又ハ營造物ノ屬スル町村ノ一部ヲ負擔トス前二項ノ場合ニ於テハ町村ノ一部ハ其ノ會計ヲ分別スヘシ

第百二十五條 前條ノ財産又ハ營造物ニ關シ必要アリト認ムルトキハ郡長ハ町村會ノ意見ヲ徵シテ町村條例ヲ設定シ區會又ハ區總會ヲ設ケテ町村會ノ議決スヘキ事項ヲ議決セシムルコトヲ得

第百二十六條 區會議員ハ町村ノ名譽職トス其ノ定數、任期、選舉權及被選舉權ニ關スル事項ハ前條

前二項ノ規定ハ收入役ノ事務ヲ兼掌シタル町村長又ハ助役ニ之ヲ準用ス

第百二十條 町村ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第百二十一條 町村ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ之ヲ検査シ且毎會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲スヘシ

検査ハ町村長之ヲ爲シ臨時検査ニハ町村會ニ於テ選舉シタル議員二人以上ノ立會ヲ要ス

第百二十二條 町村ノ出納ハ翌年度六月三十日ヲ以テ閉鎖ス

決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出スヘシ町村長ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ町村會ノ認定ニ付スヘシ

第六十七條第八項ノ場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル但シ町村長ニ於テ兼掌シタルトキハ直ニ町村會ノ認定ニ付スヘシ

決算ハ其ノ認定ニ關スル町村會ノ議決ト共ニ之ヲ郡長ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

ノ町村條例中ニ之ヲ規定スヘシ區總會ノ組織ニ關スル事項ニ付亦同シ

區會議員ノ選舉ニ付テハ町村會議員ニ關スル規定ヲ準用ス但シ選舉人名簿又ハ選舉若ハ當選ノ效力ニ關スル異議ノ決定及被選舉權ノ有無ノ決定ハ町村會ニ於テ之ヲ爲スヘシ

區會又ハ區總會ニ關シテハ町村會ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十七條 第百二十四條ノ場合ニ於テ町村ノ一部郡長ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願スルコトヲ得

第百二十八條 第百二十四條ノ町村ノ一部ノ事務ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七章 町村組合

第百二十九條 町村ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テ組合内各町村ノ町村會又ハ町村吏員ノ職務ニ屬スル事項ナキニ至リタルトキハ其ノ町村會又ハ町村吏員ハ組合成



立ト同時ニ消滅ス

町村ハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ其ノ事務ノ全部ヲ共同處理スル爲メ町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ組合内各町村ノ町村會及町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅ス

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ前二項ノ町村組合ヲ設クルコトヲ得

町村組合ハ法人トス

第三十條 前條第一項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

前條第二項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ減少セムトスルトキハ組合會ノ議決ニ依リ其ノ組合町村ノ數ヲ増加セムトスルトキハ其ノ町村組合ト新ニ加ハラムトスル町村トノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

組織及選任並組合費用ノ支辨方法ニ付規定ヲ設クヘシ

第三十三條 町村組合ヲ解カムトスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合ニ於テハ關係町村ノ協議ニ依リ全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ於テハ組合會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ解クコトヲ得

第三十四條 第三十條第一項第二項及前條第一項ノ場合ニ於テ財產ノ處分ニ關スル事項ハ關係町村ノ協議關係町村ト組合トノ協議又ハ組合會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第三十條第三項及前條第二項ノ場合ニ於テ財產ノ處分ニ關スル事項ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第三十五條 第二十九條第一項及第二項第三十條第一項及第二項第三十一條第一項及第二項

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ一部事務ノ爲メ設クル組合ノ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 町村組合ヲ設クルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ定メ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

組合規約ヲ變更セムトスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ關係町村ノ協議ニ依リ全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ組合會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ組合規約ヲ定メ又ハ變更スルコトヲ得

第三十二條 組合規約ニハ組合ノ名稱、組合ヲ組織スル町村、組合ノ共同事務及組合役場ノ位置ヲ定ムヘシ  
一部事務ノ爲ニ設クル組合ノ組合規約ニハ前項ノ外組合會ノ組織及組合會議員ノ選舉、組合吏員ノ

第三十三條第一項並前條第一項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村組合ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

組合費ノ分賦ニ關シ違法又ハ錯誤アリト認ムル町村ハ其ノ告知アリタル日ヨリ三月以内ニ組合ノ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ組合會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル町村ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ議決又ハ第四項ノ議決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及議決ニ付テハ組合ノ管理者ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
第二項ノ議決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十六條 町村組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外町村ニ關スル規定ヲ準用ス

第八章 町村ノ監督

第三十七條 町村ハ第一次ニ於テ郡長之ヲ監督シ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第三次ニ於テ内



務大臣之ヲ監督ス

第三百二十八條 本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外町村ノ監督ニ關スル郡長ノ處分ニ不服アル町村ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第三百二十九條 本法中行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第四百十條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分決定又ハ裁決アリタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

行政訴訟ノ提起ハ處分決定又ハ裁決アリタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ  
異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得  
異議ノ決定ハ文書ヲ以テ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

町村長其ノ他ノ吏員其ノ執行スヘキ事件ヲ執行セサルトキハ郡長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ町村ノ負擔トス

前二項ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村長其ノ他ノ吏員ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第四百十四條 町村長、助役、收入役又ハ副收入役ニ故障アルトキハ監督官廳ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ其ノ職務ヲ管掌セシムルコトヲ得但シ官吏ハ派遣シタル場合ニ於テハ其ノ旅費ハ町村費ヲ以テ辨償セシムヘシ

臨時代理者ハ有給ノ町村吏員トシ其ノ給料額旅費額等ハ監督官廳之ヲ定ム  
第四百十五條 左ニ掲グル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 町村條例ヲ設ケ又ハ改廢スル事
  - 二 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ又ハ之ニ大ナル變更ヲ加フル事
- 第四百十六條 左ニ掲グル事件ハ内務大臣及大藏大

異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第四百十一條 監督官廳ハ町村ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシメ、書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

監督官廳ハ町村ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ町村ノ監督ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第四百十二條 内務大臣ハ町村會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

町村會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第四百十三條 町村ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命スル費用ヲ豫算ニ載セサルトキハ郡長ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

臣ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 町村債ヲ起シ並起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スル事但シ第一百十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス
- 二 特別稅ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
- 三 間接稅ノ附加稅ヲ賦課スル事
- 四 使用料手數料及加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

第四百十七條 左ニ掲グル事件ハ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 基本財産ノ管理及處分ニ關スル事
- 二 特別基本財産及積立金穀等ノ管理及處分ニ關スル事
- 三 第九十條ノ規定ニ依リ舊慣ヲ變更又ハ廢止スル事
- 四 寄附又ハ補助ヲ爲ス事
- 五 不動産ノ管理及處分ニ關スル事
- 六 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅又ハ府縣稅ノ附加稅ヲ賦課スル事
- 七 第二百二條第一項第二項及第四項ノ規定ニ依リ



八 數人又ハ町村ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事  
 第四百四條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又  
 ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲ス事  
 九 第五百五條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課  
 スル事但シ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テ  
 ハ此ノ限ニ在ラス  
 十 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事  
 第四百四十八條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テ  
 ハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範  
 圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得  
 第四百四十九條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テ  
 ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ下級監  
 督官廳ニ委任シ又ハ輕易ナル事件ニ限り許可ヲ受  
 ケシメサルコトヲ得  
 第五百十條 府縣知事又ハ郡長ハ町村長、助役、收  
 入役、副收入役、區長、區長代理者、委員其ノ他  
 ノ町村吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處  
 分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス但シ  
 町村長、助役、收入役及副收入役ニ對スル解職ハ  
 懲戒審査會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ行フ

懲戒審査會ハ内務大臣ノ命シタル府縣高等官三人  
 及府縣名譽職參事會員ニ於テ互選シタル者二人ヲ  
 以テ其ノ會員トシ府縣知事ヲ以テ會長トス知事故  
 障アルトキハ其ノ代理者會長ノ職務ヲ行フ  
 府縣名譽職參事會員ノ互選スヘキ會員ノ選舉補闕  
 及任期並懲戒審査會ノ招集及會議ニ付テハ府縣制  
 中名譽職參事會員及府縣參事會ニ關スル規定ヲ準  
 用ス但シ補充員ハ之ヲ設クルノ限ニ在ラス  
 解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキ  
 ハ郡長ノ處分ニ付テハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決  
 ニ不服アルトキ又ハ府縣知事ノ處分ニ付テハ内務  
 大臣ニ訴願スルコトヲ得  
 府縣知事ハ町村長、助役、收入役及副收入役ノ解  
 職ヲ行ハムトスル前其ノ停止ヲ命スルコトヲ得此  
 ノ場合ニ於テハ其ノ停止期間報酬又ハ給料ヲ支給  
 スルコトヲ得ス  
 懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間市町村ノ公  
 職ニ選舉セラレ又ハ任命セララルコトヲ得ス  
 第五百一十一條 町村吏員ノ服務紀律、賠償責任、身  
 元保證及事務引繼ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ

定ム

前項ノ命令ニハ事務引繼ヲ拒ミタル者ニ對シ二十  
 五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第九章 雜 則

第五百十二條 郡長ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數郡  
 ニ涉ルモノアルトキハ府縣知事ハ關係郡長ノ具狀  
 ニ依リ其ノ事件ヲ管理スヘキ郡長ヲ指定スヘシ其  
 ノ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ内務大臣ハ關係府  
 縣知事ノ具狀ニ依リ其ノ事件ヲ管理スヘキ郡長ヲ  
 指定スヘシ  
 第五百十三條 府縣知事又ハ府縣參事會ノ職權ニ屬  
 スル事件ニシテ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ内務  
 大臣ハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ其ノ事件ヲ管理  
 スヘキ府縣知事又ハ府縣參事會ヲ指定スヘシ  
 第五百十四條 第十一條ノ人口ハ内務大臣ノ定ムル  
 所ニ依ル  
 第五百十五條 本法ニ於ケル直接税及間接税ノ種類  
 ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム  
 第五百十六條 町村又ハ町村組合ノ廢置分合又ハ境  
 界變更アリタル場合ニ於テ町村ノ事務ニ必要ナル

事項ハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定  
 ム

第五百十七條 本法ハ北海道沖繩縣其ノ他勅令ヲ以  
 テ指定スル島嶼ニ之ヲ施行セス  
 前項ノ地域ニ付テハ勅令ヲ以テ別ニ本法ニ代ハル  
 ヘキ制ヲ定ムルコトヲ得

附 則

第五百十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定  
 ム  
 第五百十九條 本法施行ノ際現ニ町村會議員、區會  
 議員又ハ全部職務ノ爲ニ設クル町村組合會議員ノ  
 職ニ在ル者ハ從前ノ規定ニ依リ最近ノ定期改選期  
 ニ於テ總テ其ノ職ヲ失フ  
 第六十條 舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ  
 本法ノ適用ニ付テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑  
 ニ處セラレタル者ト看做ス但シ復權ヲ得タル者ハ  
 此ノ限ニ在ラス  
 舊刑法ノ禁錮以上ノ刑ハ本法ノ適用ニ付テハ禁錮  
 以上ノ刑ト看做ス  
 第六十一條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ



以テ之ヲ定ム

●市制及町村制施行期日ノ件

明治四四年九月勅令第二三八號

朕市制及町村制施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セムシ

市制及町村制ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●市制町村制ノ施行ニ關スル件

明治四四年九月勅令二四三號

朕市制町村制ノ施行ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 市制町村制施行前舊市制町村制ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外之ヲ市制町村制ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第二條 町村ノ境界ニ關スル爭論ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ノ裁定ヲ請フコトヲ得

郡參事會ノ裁決ニ不服アルカ爲府縣參事會ニ爲シタル訴願ハ之カ其ノ裁定ヲ請ヒタルモノト看做ス市町村ノ境界ニ關スル爭論ニ付府縣參事會ノ爲シタル裁決ハ之ヲ裁定ト看做ス

第三條 町村名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルカ爲受ケタル町村公民權停止及町村費増課ノ處分ニ關スル訴願ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得市制町村制施行前市町村ニ於テ爲シタル市町村公民權停止及市町村費増課ノ處分ニ對スル訴願ノ期間ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第四條 市町村營造物ニ關スル從前ノ市町村規則中

市町村條例ヲ以テ規定スヘキ事項ニ關スル規定ハ市町村條例ト同一ノ效力ヲ有ス

第五條 市會議員ノ定數市制第十三條ノ議員ノ定數ニ滿タサルニ依リ其ノ不足ヲ補フカ爲選舉シタル議員ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ其ノ職ヲ失フ

第六條 市町村會議員、區會議員又ハ全部事務ノ爲ニ設ケタル町村組合會議員ノ補闕又ハ増員ニ付從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期前ニ於テ其ノ選舉ヲ行ヒタルトキハ其ノ補闕議員又ハ増員議員ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ其ノ職ヲ失フ當選ヲ辭シ又ハ選舉若ハ當選無効ト爲リタルカ爲選舉セラレタル議員ニ付亦同シ

第七條 市町村制施行前ノ選舉ニ關スル選舉人名簿又ハ選舉若ハ當選ノ效力ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

選舉人名簿又ハ選舉若ハ當選ノ效力ニ關スル訴願ニシテ市制町村制施行前市町村長ニ於テ受理シタル者又ハ市町村會ニ付議シタル者ハ之ヲ市町村會ノ決定ニ付シタルモノト看做ス其ノ決定及市町村

會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ異議ノ決定ト看做シ其ノ市制町村制施行前ニ爲シタル裁決ニ對スル訴願ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ提起スヘシ市制町村制施行前ニ於ケル選舉又ハ當選ノ效力ニ關スル異議ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ申立ツヘシ

第二項ノ裁決ニ不服アル者ノ提起シタル訴願ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

第八條 市制町村制施行前家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ又ハ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲公判ニ付セラレタル者ノ選舉權及被選舉權ノ有無ニ關シテハ前條ノ規定ヲ準用ス

第九條 選舉又ハ當選ノ效力ニ關スル府縣知事ノ異議ニシテ市制施行前府縣參事會ニ付議シタルモノハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付シタルモノト看做シ其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ決定ト看做ス



選舉又ハ當選ノ效力ニ關スル郡長ノ異議ニシテ町村制施行前郡參事會ニ付議シタルモノアルトキハ郡長ニ於テ直ニ府縣知事ノ指揮ヲ受ケ之ヲ處分スヘシ其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ郡長ノ處分ト看做シ之ニ對スル訴願ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ提起スヘシ

第十條 市制施行ノ際現ニ市會議長及其ノ代理者タル者ノ任期ハ從前ノ規定ニ依ル

前項ノ議長代理ハ之ヲ副議長ト看做ス

第十一條 從前ノ規定ニ依ル市町村助役ノ選舉及收入役ノ選任ニ付テハ市町村長ノ推薦ニ依リ市町村會ニ於テ定メタルモノト看做ス

第十二條 町村長ニ於テ町村會ノ議決其ノ權限ヲ超エ又ハ法令ニ背クト認メ裁決ノ申請ヲ爲シ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

町村長ニ於テ町村會ノ議決公衆ノ利益ヲ害スト認メ裁決ノ申請ヲ爲シ郡參事會ニ於テ受理シタルモノ

ノハ之ヲ郡長ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ郡長ノ處分ト看做シ之ニ對スル訴願ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ提起スヘシ

前項ノ事件ニ付町村制施行前府縣參事會ノ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

市參事會ニ於テ市會ノ議決公衆ノ利益ヲ害スト認メ府縣參事會ニ爲シタル裁決ノ申請ハ之ヲ市長ノ申請ト看做ス市制施行前其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第十三條 市制施行前市ノ有給吏員ノ給料若ハ退職料又ハ名譽職員ノ實費辨償若ハ報酬ノ給與ニ關シ府縣參事會ニ於テ受理シタル異議ハ之ヲ訴願ト看做シ其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル異議ノ裁決ハ之ヲ訴願ノ裁決ト看做ス

町村ノ有給吏員ノ給料若ハ退職料、名譽職員ノ實費辨償若ハ報酬又ハ町村長ノ書記料ノ給與ニ關スル異議ノ申立ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノ

規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ事件ニ關スル訴願ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做シ其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

市制町村制施行前市町村ノ營造物、市町村財産又ハ其ノ所得ヲ使用スル權利ニ付爲シタル處分ニ對スル異議ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ申立ツヘシ

第十六條 手数料ノ徵收及市町村税ノ滯納處分ニ關スル訴願ニシテ郡長又ハ府縣知事ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ内務大臣ノ受理シタルモノニ付テハ從前ノ規定ニ依ル市制町村制施行前ノ手数料ノ徵收ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

市制町村制施行前ノ手数料ノ徵收ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ市町村長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得其ノ郡長ニ於テ爲シタル訴願ノ裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府

ノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

町村長ノ書記料ノ給與ニ關スル異議、訴願及訴訟ニ付テハ給料ニ關スル規定ヲ準用ス

市制町村制施行前前三項ノ給與ニ關シ爲シタル處分ニ對スル異議ノ申立期間ハ市制町村制施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第十四條 從前ノ使用料、手数料及特別税ニシテ市町村條例ニ依ラサルモノハ之ヲ市町村條例ヲ以テ規定シタルモノト看做ス

使用料、手数料及特別税ニ關シ從前市町村條例ニ規定シタル料率ハ之ヲ過料ト看做ス但シ市制町村制施行前料率ノ處分ヲ受ケタル者ノ出訴ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第十五條 市制町村制施行前市町村税ノ賦課又ハ市町村ノ營造物、市町村有財産若ハ其ノ所得ヲ使用スル權利ニ關シ市參事會又ハ町村長ニ申立テタル訴願ハ之ヲ市長又ハ町村長ニ爲シタル異議ノ申立ト看做シ其ノ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ



縣參事會ニ訴願スルコトヲ得其ノ府縣知事ニ於テ爲シタル裁決ハ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ト看做ス

市制町村制施行ノ市町村税ノ滯納處分又ハ町村税ノ滯納處分ニ關スル郡長ノ裁決ニ不服アル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第十七條 市町村ノ一部ニ屬スル財産又ハ營造物ニ關シ區會又ハ區總會ヲ設クルカ爲市町村條例ノ設定ニ付府縣參事會又ハ郡參事會ヨリ内務大臣ニ提出シタル申請ハ之ヲ府縣知事又ハ郡長ノ申請ト看做ス

第十八條 町村組合ヲ解カムトスルノ申請ニシテ郡長ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣知事ニ於テ受理シタルモノト看做ス

第十九條 舊市制第百十六條第一項ノ府縣參事會ノ處分又ハ裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

舊町村制第百二十條第一項ノ郡參事會ノ處分又ハ裁決ニ對スル訴願ニシテ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノハ府縣知事ニ於テ受理シタルモノト看做

ス其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

前項郡參事會ノ處分又ハ裁決ハ郡長ニ於テ爲シタル處分ト看做シ之ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣知事ニ訴願スルコトヲ得

舊市制第百十六條第一項又ハ舊町村制第百二十條第一項ノ郡長又ハ府縣知事ノ處分又ハ裁決ニ不服アルカ爲提起スル訴願ノ期間ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

舊市制第百十六條第五項又ハ舊町村制第百二十條第五項ノ執行ノ停止ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第二十條 舊町村制第百二十二條ノ規定ニ依リ郡長ノ爲シタル處分ニ對スル訴願ニシテ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノハ府縣知事ニ於テ受理シタルモノト看做シ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ府縣知事ノ裁決ト看做ス

前項郡長ノ處分ニ不服アル者ノ提起スル訴願ノ期間ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第二十一條 市町村會ノ議決ニ付許可ヲ要スル事件中府縣參事會又ハ郡參事會ニ申請シタルモノニシ

市町村會議員選舉罰則

第一條 凡テ選舉資格ニ必要ナル事項ヲ詐稱シテ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

議員タルコトヲ得サルノ實ヲ告ケスシテ議員トナリタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若クハ他人ノ爲ニ投票ヲ爲スコトヲ抑止スルノ目的ヲ以テ直接又ハ間接ニ金錢物品手形若クハ公私ノ職務ヲ選舉人ニ授與シ又ハ授與スルコトヲ約束シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

其授與又ハ約束ヲ受ケタル者亦同シ

第三條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉會場ノ近傍若クハ選舉人往來ノ途中ニ於テ選舉人ニ酒食ヲ供シ又ハ選舉會場ニ往復スル爲車馬ノ類ヲ給シタル者ハ第二條物品授與ノ例ニ依リ處斷ス其供給ヲ受ケタル者亦同シ

第四條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ノ爲ニ選舉會場ニ往復スル車馬賃又ハ路費若クハ沐浴料ノ類ヲ代辨シ又ハ代辨スルコトヲ約束シタル者

テ府縣知事又ハ郡長ノ職權ト爲リタルモノハ之ヲ府縣知事又ハ郡長ニ申請シタルモノト看做ス

第二十二條 市制町村制施行前ニ爲シタル市町村吏員ノ解職ニ付テハ總テ從前ノ規定ニ依ル

第二十三條 第三條第七條第四項第十二條第一項第十三條第二項第十五條第一項若ハ第二項又ハ第十六條第二項若ハ第三項ノ規定ニ依リ府縣參事會ニ提起シタル訴願ハ之ヲ市制又ハ町村制ニ依リタルモノト看做ス

第二十四條 市制町村制施行前ノ處分決定裁定又ハ裁決ニ對スル行政訴訟ノ提起期間ハ從前ノ規定ニ依ル

附則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市町村會議員選舉罰則

明治三三年五月法律第三九號

限市町村會議員選舉罰則ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム



ハ第二條金錢授與ノ例ニ依リ處斷ス

其代辨又ハ約束ヲ受ケタル者亦同シ

第五條 第二條第三條及第四條ニ記載シタル所業ヲ爲シテ第二條ニ記載シタル目的ヲ達シタル者ハ刑法第二百二十四條ノ例ヲ以テ論ス

第六條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ニ暴行ヲ加ヘタル者ハ十五日以上三月以下ノ【輕禁錮ニ處ス】

第七條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ヲ脅迫シ拐引シ若クハ其往來ノ便ヲ妨ケ若クハ詐偽ノ手段ヲ以テ其選舉權ノ施行ヲ妨害シタル者ハ第六條暴行ノ例ニ依リ處斷ス

第八條 第六條及第七條ニ記載シタル所業ヲ爲シテ第二條ニ記載シタル目的ヲ達シタル者ハ二月以上二年以下ノ【輕禁錮】ニ處ス

第九條 選舉人ヲ脅迫シ若クハ選舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ抑留毀壞若クハ劫奪スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者ハ二月以上二年以下ノ【輕禁錮】ニ處ス

其情ヲ知り嘯聚ニ應シタル者ハ十五日以上二月以下ノ【輕禁錮】又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

ス

第十條 選舉ノ際選舉ニ關スル吏員若クハ選舉掛ニ暴行ヲ加ヘ又ハ暴行ヲ以テ選舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ抑留毀壞若クハ劫奪シタル者ハ三月以上三年以下ノ【輕禁錮】ニ處ス

第十一條 多衆ヲ嘯聚シテ第十條ノ罪ヲ犯シタル者ハ一年以上五年以下ノ【輕禁錮】ニ處ス

其情ヲ知り嘯聚ニ應シタル者ハ十五日以上六月以下ノ【輕禁錮】又ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 第九條第十條第十一條ノ場合ニ於ケル犯罪者戎器又ハ兇器ヲ携帯シタルトキハ各本刑ニ一等ヲ加フ

第十三條 選舉會場所在ノ郡市内ニ於テ選舉ノ氣勢ヲ張ル爲多衆集合シ若クハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ篝火松明ヲ焚キ若クハ鐘鼓法螺喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其他ノ標章ヲ用キル等ノ所業ヲ爲シ警察官ノ制止ヲ受ルモ仍其命ニ從ハサル者ハ十五日以上二月以下ノ【輕禁錮】ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

種ノ議員選舉ニモ適用ス

### ●市町村吏員ノ賠償責任並身元

#### 保證ニ關スル件

明治四四年九月勅令第二四五號

設市町村吏員ノ賠償責任並身元保證ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 市町村吏員其ノ管掌ニ屬スル現金、證券其ノ他ノ財産ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ市町村ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムヘシ但シ避クヘカラサル事故ニ原因シタルトキ又ハ他ノ者ノ使用ニ供シタル場合ニ於テ合規ノ監督ヲ怠ラサリシトキハ市町村ハ其ノ賠償ノ責任ヲ免除スヘシ

第二條 收入役、副收入役若ハ收入役代理者又ハ收入役ノ事務ヲ兼掌スル町村長若ハ助役ハ市制第三百三十九條第二項町村制第一百九十九條第二項ノ規定ニ違反シテ支出ヲ爲シタル時ハ市町村ハ期間ヲ指定シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償セシムヘシ區收入役、區副收入役又ハ區收入役代理者ニ付亦同シ

第十四條 被選舉人タルコトヲ得ル者ヲ指シテ被選舉人タルコトヲ得ス又ハ當選ヲ承諾スルノ意ナシトノ虚報ヲ流傳セシメタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 戎器又ハ兇器ヲ携帯シテ選舉會場ニ入りタル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ張札ノ類ヲ公然揭示シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 他人ノ姓名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シ又ハ選舉人タルコトヲ得スシテ投票ヲ爲シタル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 當選人第二條乃至第十六條ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ其當選ハ無効トス

第十九條 本法ニ規定シタルモノノ外刑法ニ正條アルモノハ各其條ニ依リ重キニ從テ處斷ス

第二十條 本法ニ關スル犯罪ハ六箇月ヲ以テ滿期免除トス

第二十一條 本法ハ市町村會ノ外市制町村制【並ニ明治二十二年法律第十一號】ニ據リテ開設スル各



第三條 市町村吏員其ノ職務上必要ナル物品ノ交付ヲ受ケ故意又ハ怠慢ニ因リ之ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ市町村ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムヘシ

第四條 前三條ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市町村ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ訴訟ノ提起期間ハ市制第六十條町村制第四百十條ノ例ニ依ル

第五條 賠償金ノ徵收ニ關シテハ市制第三百十一條町村制第一百一條ノ例ニ依ル

第六條 市町村吏員ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認メタルトキハ市町村ハ第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ其ノ種類、價格、程度其ノ他必要ナル事項ヲ定ムヘシ

第七條 本令中市町村ニ關スル規定ハ市制第六條ノ市ノ區並市制第四百十四條ノ市ノ一部及町村制第二百二十四條ノ町村ノ一部ニ之ヲ準用ス

ノ祕密ニ就キ訊問ヲ受クルトキハ指揮監督者ノ許可ヲ得タル件ニ限り供述スルコトヲ得事實參考ノ爲メ訊問ヲ受ケタル者ニ付テモ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ市町村吏員ノ掌ル國府縣其ノ他公共團體ノ事務ニ付テハ國府縣其ノ他公共團體ノ代表者ノ許可又ハ承認ヲ得ルコトヲ要ス

第四條 市町村吏員ハ其ノ職務ニ關シ直接ト間接トヲ問ハス自己若ハ其ノ他ノ者ノ爲ニ贈與其ノ他ノ利益ヲ供給セシムルノ約束ヲ爲スコトヲ得ス

市町村吏員ハ指揮監督ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ職務ニ關シ直接ト間接トヲ問ハス自己若ハ其ノ他ノ者ノ爲ニ贈與其ノ他ノ利益ヲ受クルコトヲ得ス

第五條 左ニ掲グル者ト直接ニ關係ノ職務ニ在ル市町村吏員ハ其ノ者又ハ其ノ者ノ爲ニスル者ノ饗燕ヲ受クルコトヲ得ス

一 市町村ニ對シ工事ノ請負又ハ物件勞力供給ノ契約ヲ爲ス者

二 市町村ニ屬スル金錢ノ出納保管ヲ擔任スル者  
三 市町村ヨリ補助金又ハ利益ノ保證ヲ受クル起

附則

本令ハ明治四十四年十月十日ヨリ之ヲ施行ス  
市制町村制施行前市町村吏員ノ賠償責任ニ付府縣參事會又ハ郡參事會又ハ郡參事會ノ爲シタル裁決ニ關シテハ從前ノ例ニ依ル

市町村吏員服務紀律

明治四十四年九月內務省令第一六號

市町村吏員服務紀律左ノ通定ム

市町村吏員服務紀律

第一條 市町村吏員ハ忠實勤勉ヲ旨トシ法令ニ從ヒ其ノ職務ニ盡スヘシ

第二條 市町村吏員ハ職務ノ内外ヲ問ハス廉恥ヲ破リ其ノ他品位ヲ傷フノ所爲アルヘカラス

市町村吏員ハ職務ノ内外ヲ問ハス職權ヲ濫用セス懇切公平ナルコトヲ務ムヘシ

第三條 市町村吏員ハ總テ公務ニ關スル機密ヲ私ニ漏示シ又ハ未發ノ事件若ハ文書ヲ私ニ漏示スルコトヲ得ス其ノ職ヲ退クノ後ニ於テモ亦同シ  
裁判所ノ召喚ニ依リ證人又ハ鑑定人ト爲リ職務上

業者

四 市町村ト土地物件ノ賣買贈與貸借又ハ交換ノ契約ヲ爲ス者

五 其ノ他市町村ヨリ現ニ利益ヲ得又ハ得ムトスル者

附則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市町村財務規程

明治四十四年九月內務省令第一五號

市町村財務規程左ノ通定ム

市町村財務規程

第一條 市町村稅其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歲出ハ豫算ニ編入スヘシ

第二條 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ歲出ニ充ツルコトヲ得ス

第三條 歲入ノ年度所屬ハ左ノ區分ニ依ル

一 市町村條例又ハ豫メ市町村會ノ議決ヲ以テ納期ヲ定メタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年



度

- 二 定期ニ賦課スルコトヲ得サルカ爲特ニ納期ヲ定メタル収入又ハ隨時ノ収入ニシテ徵稅令書又ハ納額告知書ヲ發スルモノハ徵稅令書又ハ納額告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度
- 三 隨書ノ收入ニシテ納額告知書等ヲ發セサルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度
- 第四條 歳出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル
  - 一 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料、其ノ他ノ給與、傭人料ノ類ハ其ノ支給スヘキ事實ノ生シタル時ノ屬スル年度但シ別ニ定マリタル支拂期日ノ屬スル年度但シ別ニ定マリタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
  - 二 通信運搬費、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル時ノ屬スル年度但シ契約ニ依リ定メタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
  - 三 缺損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

- 四 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外ハ總テ支拂命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度
- 第五條 各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歳入ニ編入スヘシ但シ市町村條例ノ規定又ハ市町村會ノ議決ニ依リ剩餘金ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ編入スル場合ニ於テハ繰越ヲ要セス之カ支出ヲ爲スコトヲ得
- 第六條 市町村稅ハ徵稅令書ニ依リ使用料、手数料及物件ノ賃貸料ハ納額告知書ニ依リ之ヲ徵收ス前項以外ノ事項ハ納付書ニ依リ徵收ス
- 第七條 歳出ハ債主ニ對スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス
- 第八條 左ノ經費ハ現金前渡ヲ爲スコトヲ得
  - 一 市町村債ノ元利支拂
  - 二 外國ニ於テ物品ヲ購入スル爲必要ナル經費
  - 三 市町村外遠隔ノ地ニ於テ支拂ヲ必要トスル經費
- 前項ノ現金前渡ハ市町村吏員以外ノ者ニ之ヲ爲スコトヲ得
- 第九條 左ノ經費ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

一 旅費

二 訴訟費用

- 第十條 官報其ノ他前金支拂ニ非サレハ購入又ハ借入ノ契約ヲ爲シ難キモノニ限り前金拂ヲ爲スコトヲ得
- 第十一條 前三條ニ掲グルモノノ外必要アルトキハ市町村ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ現金前渡、概算拂又ハ前金拂ヲ爲スコトヲ得
- 第十二條 歳入ノ誤納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歳入ヨリ支拂フヘシ  
歳出ノ誤拂過渡ト爲リタル金額、現金前渡、前金拂、概算拂及繰替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スヘシ
- 第十三條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歳入歳出ト爲スヘシ前條ノ拂戻金、戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同シ
- 第十四條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終リ迄遞次繰越使用スルコトヲ得
- 第十五條 歳入歳出豫算ハ必要アルトキハ經常臨時ノ二部ニ別ツヘシ

- 歳入歳出豫算ハ之ヲ款項ニ區分スヘシ
- 第十六條 歳入歳出豫算ニハ豫算説明ヲ付スヘシ
- 第十七條 特別會計ニ屬スル歳入歳出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調製スヘシ
- 第十八條 豫算ハ會計年度經過後ニ於テ更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ス
- 第十九條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼是流用スルコトヲ得ス豫算各項ノ金額ハ市町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得
- 第二十條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ付スヘシ
- 第二十一條 會計年度經過後ニ至リ歳入ヲ以テ歳出ニ充ツルニ足ラサルトキハ第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ翌年度ノ歳入ヲ繰上ケ之ヲ充用スルコトヲ得
- 第二十二條 市ハ其ノ歳入歳出ニ屬スル公金ノ受拂ニ付郵便振替貯金ノ法ニ依ルコトヲ得
- 第二十三條 市町村ハ現金ノ出納及保管ノ爲市町村金庫ヲ置クコトヲ得
- 第二十四條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムヘキ銀行ハ



市町村會之ヲ定ム

第二十五條 金庫ハ收入役ノ通知アルニ非サレハ現金ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ現金ノ出納保管ニ付市町村ニ對シテ責任ヲ有ス

第二十七條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ノ保管スル現金ハ市町村ノ歳入歳出ニ屬スルモノニ限リ支出ニ妨ケナキ限度ニ於テ市町村ハ其ノ運用ヲ許スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ市町村ノ定ムル所ニ依リ利子ヲ市町村ニ納付スヘシ

第二十八條 市町村ハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ヨリ擔保ヲ徵スヘシ其ノ種類、價格及程度ニ關シテハ第一次監督官廳ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第二十九條 收入役ハ定期及臨時ニ金庫ノ現金帳簿ヲ檢査スヘシ

第三十條 本令ニ規定スルモノノ外市町村ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市町村吏員事務引繼ニ關スル件

關スル件

明治四十四年九月内務省令第一七號

市町村吏員事務引繼ニ關スル件左ノ通定ム

市町村吏員事務引繼ニ關スル件

第一條 市町村長更迭ノ場合ニ於テハ前任者ハ退職ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ擔任スル事務ヲ後任者ニ引繼グヘシ後任者ニ引繼グコトヲ得サル事情アルトキハ助役ニ引繼グヘシ此ノ場合ニ於テハ助役ハ後任者ニ引繼グコトヲ得ルニ至リタルトキハ直ニ後任者ニ引繼グヘシ

前項引繼ノ場合ニハ書類帳簿及財産ノ目錄ヲ調製シ處分未濟若ハ未著手又ハ將來企畫スヘキ見込ノ事項ニ付テハ其ノ順序方法及意見ヲ記載スルコトヲ要ス

第一項ノ期間内ニ引繼ヲ了スルコトヲ得サルトキハ其ノ事由ヲ具シ第一次監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 助役退職ノ場合ニ於テ其ノ分掌事務アルト

キハ之ヲ市町村長ニ引繼グヘシ前條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三條 收入役更迭ノ場合ニ於テハ前任者ハ退職ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ擔任スル事務ヲ後任者ニ引繼グヘシ後任者ニ引繼グコトヲ得サル事情アルトキハ副收入役及ヒ收入役代理者ニ引繼グヘシ此ノ場合ニ於テハ副收入役又ハ收入役代理者ハ後任者ニ引繼グコトヲ得ルニ至リタルトキハ直ニ後任者ニ引繼グヘシ

前項引繼ノ場合ニハ現金書類帳簿其ノ他ノ物件ニ付テハ各目録ヲ調製シ仍現金ニ付テハ各帳簿ニ對照シタル明細書ヲ添付シ帳簿ニ付テハ事務引繼ノ日ニ於テ最終記帳ノ次ニ合計高及年月日ヲ記入シ且引繼ヲ爲ス者及引繼ヲ受クル者連署スヘシ

第四條 副收入役退職ノ場合ニ於テ其ノ分掌事務アルトキハ之ヲ收入役ニ引繼グヘシ前條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五條 第一條、第三條又ハ前條ノ規定ハ市制第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ノ區長若ハ區收入役ノ更迭又ハ分掌事務アル區副收入役ノ退職ノ場合

ニ第二條ノ規定ハ分掌事務アル町村區長ノ退職ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 市町村ノ廢置分合ニ依リ新ニ市町村ヲ置キタル場合ニ於テハ前市町村ノ吏員ノ擔任スル事務ハ之ヲ市町村長、收入役又ハ市町村長ノ臨時代理者若ハ内務管掌ノ官吏ニ引繼グヘシ第一條乃至第四條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス市町村ノ境界變更アリタルトキ亦同シ

第七條 前六條ノ場合ニ於テ引繼ヲ拒ミタル者ニ對シテハ市ニ在リテハ府縣知事町村ニ在リテハ郡長ハ二十五圓以下ノ過料ヲ科スルコトヲ得其ノ故ナク引繼ヲ遷延シタルカ爲市町村長ニ於テ期日ヲ指定シテ催告ヲ爲シ仍之ニ應セサル者ニ付亦同シ

附 則

第八條 本令ニ規定スルモノノ外必要ナル事項ハ府縣知事之ヲ定ム

第四章 府縣稅徵收

府縣稅徵收ニ關スル制

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス



明治三十三年三月勅令第八一號

改正三十五年第一七三號、四十四年第二七四號、  
大正七年第二四七號

府縣稅徵收ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
第一條 市町村ハ其ノ市町村内ノ府縣稅ヲ徵收シ之  
ヲ府縣ニ納入スルノ義務ヲ負フ

前項徵收ノ費用トシテ地租附加稅ニ對シテハ其ノ  
徵收金額ノ千分ノ七其ノ他ノ府縣稅ニ對シテハ其ノ  
徵收金額ノ百分ノ四ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ

第二條 市町村ハ避クヘカラサル災害ニ因リ既收ノ  
稅金ヲ失ヒタルトキハ其ノ稅金納入義務ノ免除ヲ  
府縣知事ニ申請スルコトヲ得

第三條 府縣知事前條ノ申請ヲ受ケタルトキハ之ヲ  
府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル  
者ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四  
日以内ニ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得  
前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴願ヲ提  
起スルコトヲ得

第四條 府縣稅ヲ徵收セムトスルトキハ府縣知事又  
ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ハ市町村ニ對シ徵  
稅令書ヲ發シ市町村長ハ徵稅令書ニ依リ徵稅傳令

第五條ノ二 第四條第二項ノ規定ニ依リ市町村吏員  
ヲシテ徵稅令書ヲ發セシメタル場合ニ於テハ府縣  
知事ノ定ムル所ニ依リ其ノ市町村ニ對シ取扱費ヲ  
交付スルコトヲ得

第六條 徵稅傳令書ヲ受ケタル納稅人納期內ニ稅金  
ヲ完納セサルトキハ市町村長ハ其ノ滯納ノ稅目、  
金額及滯納人ノ住所氏名其ノ他必要ナル事項ヲ記  
載シ之ヲ徵稅令書ヲ發シタル官吏吏員ニ報告スヘ  
シ

徵稅令書ヲ發シタル官吏吏員前項ノ報告ヲ受ケタ  
ルトキハ直ニ督促狀ヲ發スヘシ徵稅令書ヲ受ケタ  
ル納稅人納期內ニ稅金ヲ完納セサルトキ亦同シ  
督促狀ニハ府縣知事ノ定メタル期間內ニ於テ相當  
ノ期限ヲ指定スヘシ

第七條 督促狀ヲ發シタルトキハ手数料ヲ徵收ス  
手数料ノ額ハ府縣知事之ヲ定ム  
市町村吏員ヲシテ督促狀ヲ發セシメタル場合ニ於  
ケル手数料ハ其ノ市町村ノ收入トス  
第七條ノ二 督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ一日ニ付  
稅金額ノ萬分ノ四以内ニ於テ府縣知事ノ定ムル割

書ヲ調製シ之ヲ納稅人ニ交付スヘシ  
府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ハ直ニ  
納稅人ニ對シ徵稅令書ヲ發スルコトヲ得

府縣ハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ得タル場合ニ  
限リ前二項ノ例ニ依ラス其ノ府縣ニ於テ發行スル  
證紙ヲ以テ府縣稅ヲ納入セシムルコトヲ得

第五條 徵稅傳令書ヲ受ケタル納稅人ハ其ノ稅金ヲ  
市町村ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了  
ス

徵稅令書ヲ受ケタル納稅人ハ其ノ稅金ヲ府縣金庫  
ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ス但府  
縣知事ハ市町村吏員ヲシテ納稅人ニ對シ徵稅令書  
ヲ發セシムル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ラシムル  
コトヲ得

市町村ハ其ノ徵收シタル府縣稅ヲ府縣金庫ニ拂込  
ミ其ノ領收證ヲ得テ稅金納入ノ義務ヲ了ス  
稅金ノ拂込又ハ其ノ拂込金ノ納入ニ付郵便振替貯  
金ノ方法ニ依リタル場合ニ於テハ納稅人又ハ市町  
村ハ稅金ヲ郵便官署ニ拂込ミ又ハ納入スルニ依リ  
テ其ノ義務ヲ了ス

合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ稅金完納又ハ財產差押  
ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滯金ヲ徵  
收ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滯納ニ  
付酌量スヘキ情狀アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在  
ラス

一 令書一通ノ稅金額五圓未満ナルトキ  
二 納期ヲ繰上ケ徵收ヲ爲ストキ  
三 納稅者ノ住所、居所カ帝國內ニ在ラサル爲又  
ハ其ノ住所、居所共ニ不明ナル爲公示送達ノ  
方法ニ依リ納稅ノ命令又ハ督促ヲ爲シタルト  
キ

督促狀ノ指定期限迄ニ稅金及督促手数料ヲ完  
納シタルトキハ延滯金ハ之ヲ徵收セス

第八條 納稅人左ノ場合ニ該當スルトキハ徵稅令書  
又ハ徵稅傳令書ヲ交付シタル府縣稅 限リ納期前  
ト雖之ヲ徵收スルコトヲ得

- 一 國稅徵收法ニ依ル滯納處分ヲ受クルトキ
- 二 強制執行ヲ受クルトキ
- 三 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
- 四 競賣ノ開始アリタルトキ



五 法人カ解散ヲ爲シタルトキ

六 納税人脱税又ハ逋税ヲ謀ルノ所爲アリト認ムルトキ

第九條 相續開始ノ場合ニ於テハ府縣稅、督促手数料延滞金及滯納處分費ハ相續財團又ハ相續人ヨリ之ヲ徵收ス但シ戶主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續ノ開始アリタルトキハ被相續人ヨリモ之ヲ徵收スルコトヲ得

第十條 共有物、共同事業又ハ共同事業ニ因リ生シタル物件ニ係ル府縣稅督促手数料延滞金及滯納處分費ハ納税者連帶シテ其ノ義務ヲ負擔ス

第十一條 同一年度ノ府縣稅ニシテ既納ノ税金過納ナルトキハ爾後ノ納期ニ於テ徵收スヘキ同一税目ノ税金ニ充ツルコトヲ得

第十二條 納稅義務者納稅地ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ納稅ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲メ

稅管理人ヲ定メ市長村長ニ申告スヘシ其ノ納稅管理人ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十三條 徵稅令書、徵稅傳令書、督促狀及滯納處分ニ關スル書類ハ名宛人ノ住所又ハ居所ニ送達ス名宛人カ相續財團ニシテ財產管理人アルトキハ財產管理人ノ住所又ハ居所ニ送達ス

第十四條 書類ニ限リ其ノ住所又ハ居所ニ送達ス

第十五條 府縣稅ノ徵收期ハ府縣知事之ヲ定ム

第十六條 市制町村制ヲ施行セサル地ニ於ケル府縣稅ノ徵收ニ關シテ本令ノ規定ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項ハ內務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第十七條 本令ニ關スル細則ハ府縣知事之ヲ定ム

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (大正二年勅令第二四七號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ本令中延滞金ニ關スル規定ハ本令施行後ニ於テ納期ノ開始スル府縣稅ヨリ之ヲ適用ス

府縣稅家屋稅賦課ニ關スル制

明治三十二年六月勅令第二七六號

正 大正元年第四七號

朕府縣稅家屋稅ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ其ノ府縣ノ全部若ハ一部ノ地ニ於ケル家屋ニ對シ家屋稅ヲ賦課スルコトヲ得但シ家屋稅賦課ノ地ニ於テハ戶數割ヲ賦課スルコトヲ得ス

前項ニ依リ新ニ家屋稅ヲ賦課セントスルトキハ府縣會ノ議決ヲ經內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

附則

本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス